

インターフェース仕様書
サービス事業所編
居宅介護支援事業所編

平成15年4月

改訂履歴

・平成14年11月6日「インタフェース仕様書 サービス事業所編」に対する改訂履歴

No.	ページ	項番	改訂前	改訂後
1	106	3	受給者異動事由の内容： 01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動（政令市における受給者の区間異動） 99:その他異動	受給者異動事由の内容： 01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動（政令市における受給者の区間異動） 04:合併による新規 99:その他異動
2	109	4 1	訪問看護の内容：（平成15年4月以降） 2:生活支援	訪問看護の内容：（平成15年4月以降） 2:生活援助
3	109	4 1		訪問リハビリテーションの内容：（平成15年4月以降） 1 病院または診療所 2 介護老人保健施設
4	109	4 1		通所リハビリテーション（平成15年4月以降） 1:通常の医療機関 2:小規模診療所 3:介護老人保健施設
5	109	4 1	短期入所生活介護の内容：（平成15年4月以降） 3:単独・居住福祉型 4:併設・空床・居住福祉型	短期入所生活介護の内容：（平成15年4月以降） 3:単独型小規模生活単位型 4:併設型・空床型小規模生活単位型
6	109	4 1	介護老人福祉施設の内容：（平成15年4月以降） 3:居住福祉型介護福祉施設 4:小規模居住福祉型介護福祉施設	介護老人福祉施設の内容：（平成15年4月以降） 3:小規模生活単位型介護福祉施設 4:小規模生活単位型小規模介護福祉施設
7	109-1	4 2	短期入所生活介護の内容：（施設等の区分が3、4の場合） 1: 型 2 型 3 型	削除
8	109-1	4 2	介護老人福祉施設の内容：（施設等の区分が3、4の場合） 1: 型 2 型 3 型	削除
9	109-1	4 2	短期入所療養介護病院療養型の内容：（平成15年4月以降） 2:A型 3:B型 4:C型	短期入所療養介護病院療養型の内容：（平成15年4月以降） 2: 型 3: 型 4: 型
10	109-1	4 2	介護療養型医療施設の内容：（平成15年4月以降） 2:A型 3:B型 4:C型	介護療養型医療施設の内容：（平成15年4月以降） 2: 型 3: 型 4: 型
11	110	5 6	内容：（平成15年4月以降） 1:基準型 2:加算型A 3:加算型B 5:加算型C 6:減算型	内容：（平成15年4月以降） 1:基準型 2:加算型 3:加算型 5:加算型 6:減算型
12	110	6 1 6 2 6 3 6 4 6 7	内容： 1:無し 2:有り	内容： 1:無し 2:有り 2

No.	ページ	項番	改訂前	改訂後
13	111	75	内容： 1:無し 2:有り	内容： 1:無し 2:有り 2
14	112-2	105	コード名称； 居住費低所得者対策の有無 内容： 1:無し 2:有り	コード名称； 居住費対策 内容： 1:対応不可 2:対応可
15	112-2	106	コード名称： 夜勤体制の有無	コード名称： 夜間ケアの有無
16	112-2	108 109		以下のコードを追加 個別リハビリテーション提供体制（総合リハビリテーション施設）の有無 個別リハビリテーション提供体制（理学療法）の有無
17	112-3	110 111 112 113 114 115		以下のコードを追加 個別リハビリテーション提供体制（理学療法）の有無 個別リハビリテーション提供体制（作業療法）の有無 個別リハビリ提供体制（言語聴覚療法）の有無 個別リハビリ提供体制（言語聴覚療法）の有無 リハビリテーション機能強化の有無 言語聴覚士の欠員による減算の状況の有無
18	112-3	脚注	3：平成15年4月以降の情報では設定不要とする。設定された場合、属性及び桁数等のシステムチェックは行なわず、省略されたものとみなす。	3：平成15年3月以前の情報では設定不要とする。設定された場合、属性及び桁数等のシステムチェックは行なわず、省略されたものとみなす。

目次

1 介護給付費の請求について.....	1
1.1 居宅サービスの基本的な流れ.....	1
1.2 施設サービスの基本的な流れ.....	3
1.3 返戻・査定.....	4
1.3.1 国保連合会における主な点検事項.....	4
1.4 再請求.....	5
1.5 過誤申し立ての依頼.....	5
1.6 給付管理票（修正）の提出の依頼.....	5
1.7 再審査申し立て.....	5
1.8 給付管理票と請求書の突合による支給限度額管理の審査例.....	7
2 インタフェース仕様.....	9
2.1 受け渡し概要図.....	9
2.1.1 介護給付費請求情報受け渡し概要.....	10
2.1.2 介護給付費再審査申立書情報受け渡し概要.....	12
2.1.3 介護給付費過誤情報受け渡し概要.....	14
2.2 インタフェース一覧.....	16
2.2.1 介護給付費請求情報（入力情報）.....	16
2.2.2 再審査・過誤申立情報（入力情報）.....	17
2.2.3 増減単位数返戻通知情報（出力情報）.....	18
2.2.4 支払通知情報（出力情報）.....	19
2.3 項目説明.....	20
2.3.1 介護給付費請求書情報.....	20
2.3.2 再審査・過誤申立情報.....	57
2.3.3 増減単位数返戻通知情報.....	58
2.3.4 支払通知情報.....	68
3 インタフェース規定.....	83
3.1 インタフェース方式概要.....	83
3.1.1 概要.....	83
3.1.2 データ交換の種類.....	86
3.2 インタフェース仕様.....	86
3.2.1 交換情報の仕様.....	86
3.2.2 磁気媒体作成上の留意事項.....	102
3.2.3 伝送使用上の留意事項.....	103
3.3 表記法.....	103
3.3.1 インタフェース一覧の表記について.....	103
3.3.2 項目説明の表記について.....	104
3.4 コード一覧.....	106

3.5 留意事項.....	113
3.5.1 項目設定共通事項.....	113
4 帳票イメージ.....	115

1 介護給付費の請求について

1.1 居宅サービスの基本的な流れ

居宅サービスの基本的な流れを以下に示す。

要介護者又は要支援者（以下、「要介護者等」という。）は、居宅介護支援事業所に居宅介護支援サービスの提供を依頼するとともに、居宅サービス計画作成の依頼の旨を市町村に届け出る。

居宅介護支援事業所は、要介護者等の同意を基に、居宅サービス事業所とサービスの提供について調整を行い、居宅サービス計画を作成する。また、作成した居宅サービス計画を基に、サービス提供票、サービス利用票を作成しそれぞれ居宅サービス事業所、要介護者等に交付する。

居宅サービス事業所は、サービス提供票に基づき要介護者等にサービスを提供する。

居宅サービス事業所は、提供したサービスの介護給付費請求書及び介護給付費請求明細書（以下、「請求書等」という。）を翌月初めに各都道府県の国民健康保険団体連合会（以下、「国保連合会」という。）に送付する。

居宅介護支援事業所は、要介護者等が受けたサービスに基づき（居宅サービス計画に変更があった場合はその内容を反映する）給付管理票を作成し、居宅介護サービス計画費等の請求書等とともに翌月初めに国保連合会に送付する。

国保連合会は、給付管理票を基に居宅サービス事業所の請求書等と突合し、支給限度額等の審査を行う。

国保連合会は、居宅介護支援事業所及び居宅サービス事業所からの請求について審査後、保険者に請求する。

保険者は、国保連合会に支払いを行う。

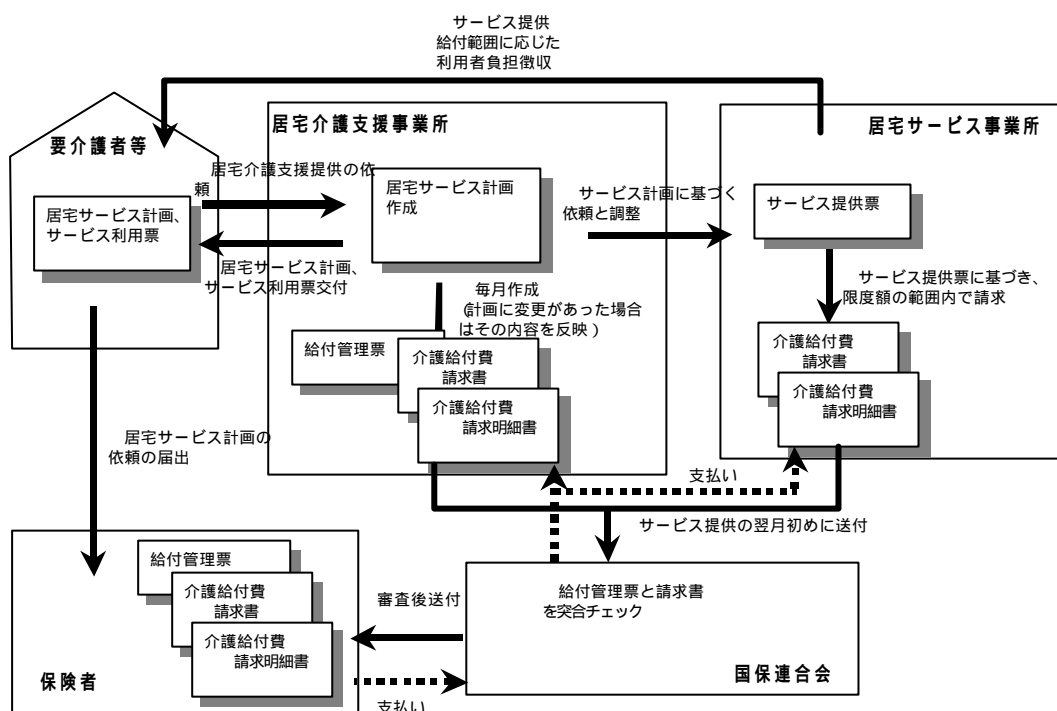
国保連合会は、居宅介護支援事業所及び居宅サービス事業所に支払いを行う。

請求書等は、居宅サービス事業所及び介護保険施設（以下「サービス事業所等」という。）が要介護者等に対し居宅サービス及び施設サービスを行ったとき、各サービスに要した費用について厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額を限度として、利用者に代わり市町村（保険者）から支払いを受ける（代理受領）ための書類である。この請求書等は、市町村から審査支払の事務の委託を受けている国保連合会に送付する。

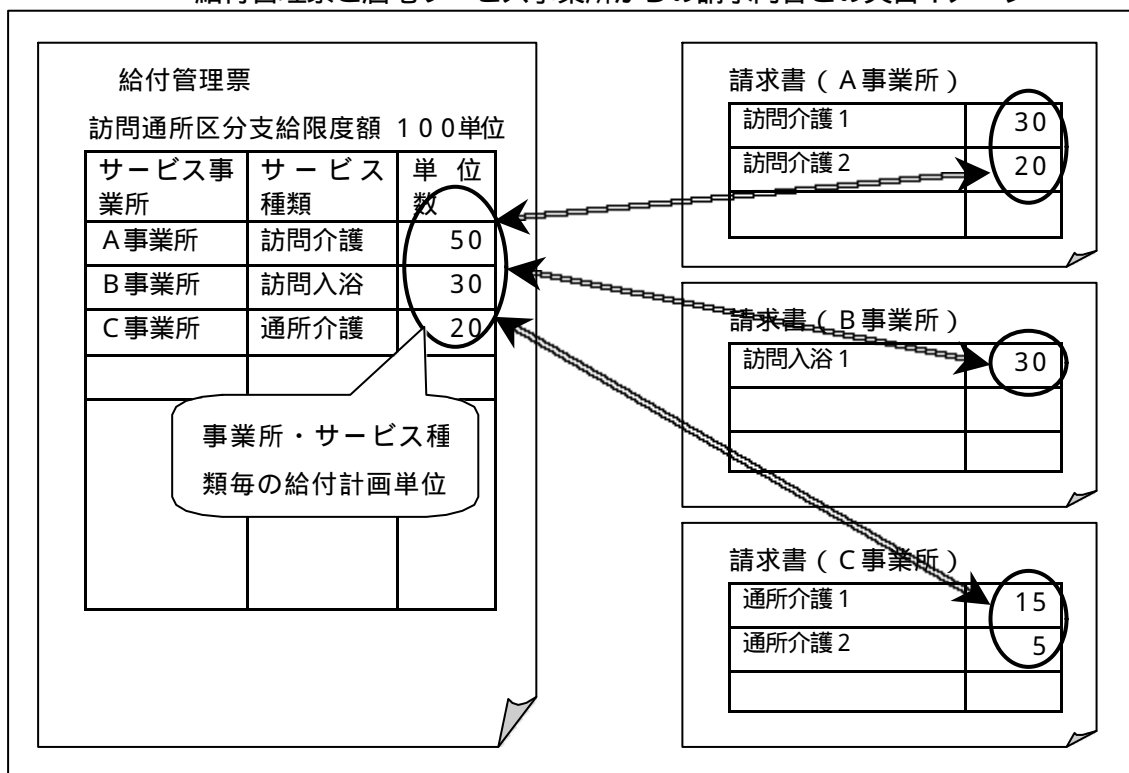
また、給付管理票は、居宅介護サービス費及び居宅支援サービス費の支給限度額管理を行うために、居宅介護支援事業所に対して法定代理受領サービスに係る報告として提出を義務づけられた文書である。具体的には、現物給付の審査支払において、居宅サービス事業所からの請求内容が要介護者等の居宅サービス計画に位置付けられたものであること及びその請求額が支給限度額の範囲内であること等を確認するために使用するものである。（居宅サービス計画を被保険者自身が作成した場合には、給付管理票は保険者が作成する。）

なお、居宅サービスのうち居宅療養管理指導、痴呆対応型共同生活介護及び特定施設入所者生活介護については、居宅サービス計画に位置付けられていない場合においても現物給付される。（有料老人ホームにおいては、受給者から代理受領について同意を得た旨等を国保連合会に提出した場合に限る。）

居宅介護サービスの基本的な流れ



給付管理票と居宅サービス事業所からの請求内容との突合イメージ



1.2 施設サービスの基本的な流れ

施設サービスの基本的な流れを以下に示す。

介護保険施設は、要介護者毎に施設サービス計画を作成し、その計画に基づき介護サービスを提供する。

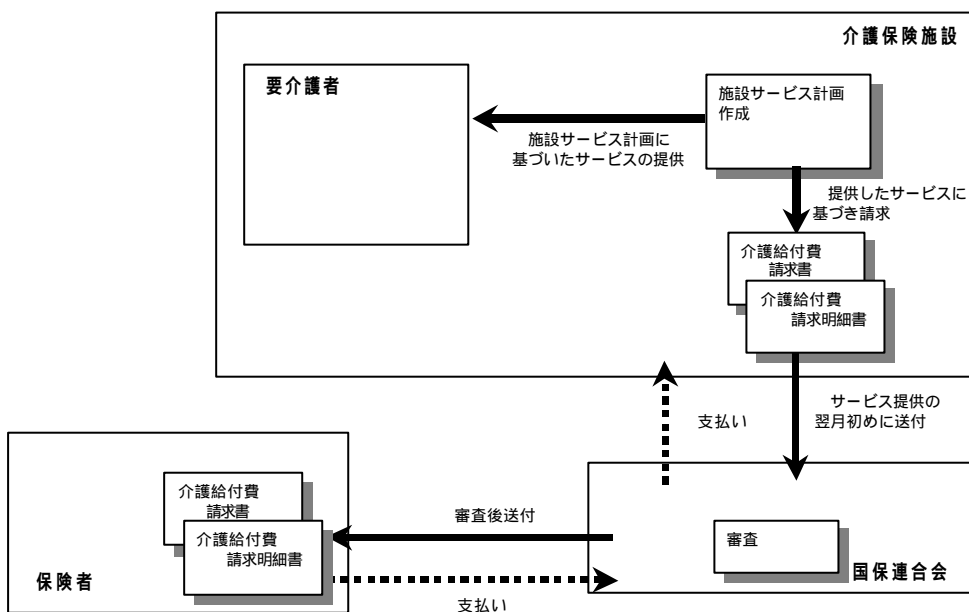
介護保険施設は、提供したサービスの請求書等を、翌月初めに国保連合会に送付する。

国保連合会は、請求書等について審査した後、保険者に請求する。

保険者は、国保連合会に支払いを行う。

国保連合会は、介護保険施設に支払いを行う。

施設介護サービスの基本的流れ



1.3 返戻・査定

国保連合会が行う審査において、請求書等の内容に誤りがあった場合、返戻または査定が行われる。サービス事業所等は、返戻・査定の内容を確認し、疑義がある場合には、再請求、再審査申し立てまたは保険者に過誤申し立ての依頼を行う。

1.3.1 国保連合会における主な点検事項

(1) 介護給付費請求書等

請求書等の点検

点検項目	点検内容	取扱い
サービス提供年月	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供年月の設定があるか。 月遅れ分である場合は、請求権の時効（サービス月の翌々月の1日が起算日）前であるか。 	返戻
サービス事業所等に係る設定事項	<ul style="list-style-type: none"> 事業所台帳と照合し、事業所番号が有効であるか。 <p>指定サービス事業所等であるときは、当該サービス提供年月において都道府県知事の指定が有効（業務停止等の処分を受けていない）である必要がある。</p> <p>基準該当居宅サービス事業所であるときは、当該サービス年月において市町村の基準該当等サービスの指定が有効である必要がある。</p>	返戻
請求先に係る設定事項	<ul style="list-style-type: none"> 保険者台帳と照合し、サービス提供年月において有効な保険者番号であるか。 	返戻
受給者に係る設定事項	<ul style="list-style-type: none"> 市町村（保険者）の要介護認定を受け、当該サービス月における介護給付又は予防給付の受給資格（受給者台帳の要介護状態区分と認定有効期間）を有しているか。 保険料滞納による保険給付制限を受けていないか。 	返戻
請求内容（明細）に係る設定事項	<ul style="list-style-type: none"> 給付費単位数表と照合し、サービス内容に合ったサービスコード、単位数であるか。 居宅介護（支援）サービスの場合、代理受領の要件を満たしているか。 介護保険施設の場合、食事提供費に係る請求が適正であるか。 介護老人保健施設、病院療養型病床群における短期入所、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設における施設サービスにおいて、緊急時施設療養費または特定診療費に係る請求が適正であるか。 	返戻 または 査定

居宅サービスにおける給付管理票との突合
 (居宅療養管理指導、痴呆対応型共同生活介護及び特定施設入所者生活介護を除く)

点検項目	点検内容	取扱い
給付管理票との突合	・介護給付費請求明細書と同一月、同一受給者の給付管理票が存在するか。	返戻
	・介護給付費請求明細書と同一月、同一事業所のサービス種類が存在するか。 ・介護給付費請求明細書のサービス種類ごとの合計請求単位数(日数)が、給付管理票の計画単位数(日数)以下であるか。	査定

1.4 再請求

サービス事業所等は、要介護者等に提供した介護サービスの請求書等について、国保連合会において審査を行った結果返戻となった場合、その内容について確認を行い、請求内容に誤りがあった場合、請求書等を修正し再度国保連合会に提出する。

また、返戻の理由が保険者から国保連合会に送る台帳による場合、保険者に対し台帳の修正を依頼し、国保連合会に再請求を行う。

1.5 過誤申し立ての依頼

サービス事業所等は、疑義のある査定について、その理由が保険者から国保連合会に送る台帳による場合、保険者に対し台帳の修正及び過誤申し立てを国保連合会に行うよう依頼する。

また、審査決定済みの請求について取下げを行う場合においても、保険者にその旨を連絡し、国保連合会に過誤申し立てを行うよう依頼する。

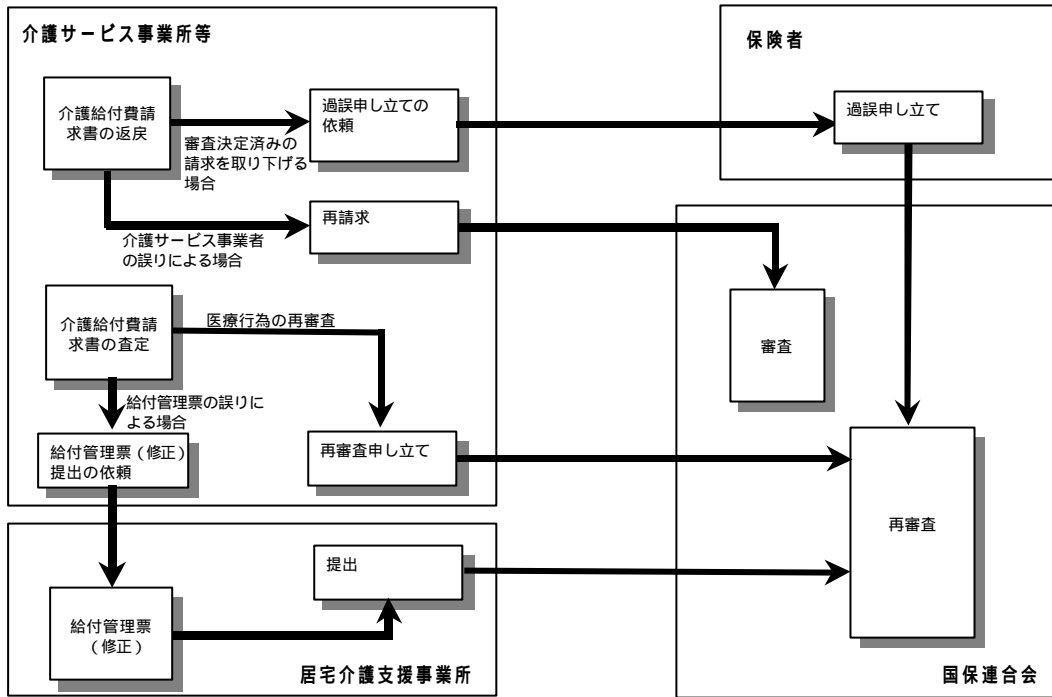
1.6 給付管理票(修正)の提出の依頼

サービス事業所等は、疑義のある査定について、その理由が給付管理票との不一致による場合、居宅介護支援事業所に給付管理票(修正)を国保連合会に提出することを依頼する。国保連合会は、給付管理票(修正)と給付実績を基に、再審査を行う。

1.7 再審査申し立て

サービス事業所等は、疑義のある査定について、国保連合会に再審査を依頼する場合、再審査申し立てを行う(緊急時施設療養費及び特定診療費等医療行為の査定に対する再審査)。

請求書等の再請求 再審査及び過誤



1.8 給付管理票と請求書の突合による支給限度額管理の審査例

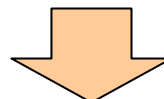
給付管理票

平成12年4月分

被保険者名	日本 太郎	
訪問通所区分支給限度額		
400単位/月		
事業所	サービス種類	単位数
A事業所	訪問介護	200
B事業所	訪問介護	100
B事業所	訪問入浴	100

(給付管理票の点検)

- ・サービス計画月の区分支給限度額として妥当であることを確認。
- ・各事業所に割り当てたサービスの給付単位数合計が各支給限度額の範囲内であることを確認。



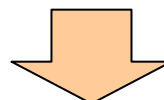
請求明細書

平成12年4月分

事業所名	A事業所	
被保険者名	日本 太郎	
サービス名	..	単位数
訪問介護		90
訪問介護		110
訪問入浴		60

(A事業所の請求明細書の審査)

- ・給付管理票に記載された事業所であることを確認。
- ・請求金額が割り当てられた訪問介護サービス200単位の範囲内であることを確認。
- ・A事業所に割り当てられたサービス以外の限度額管理対象の請求について60単位査定(減単位)する。



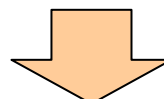
請求明細書

平成12年4月分

事業所名	B事業所	
被保険者名	日本 太郎	
サービス名	..	単位数
訪問介護		50
訪問介護		70
訪問入浴		100

(B事業所の請求明細書の審査)

- ・給付管理票に記載された事業所であることを確認。
- ・請求金額が割り当てられた訪問介護100単位を超えているため、20単位査定(減単位)する。
- ・B事業所に割り当てられたサービス以外の限度額管理対象の請求がないことを確認。



請求明細書

平成12年4月分

事業所名	C事業所	
被保険者名	日本 太郎	
サービス名	..	単位数
訪問介護		50

(他事業所の請求明細書の審査)

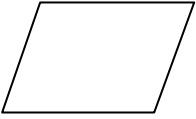


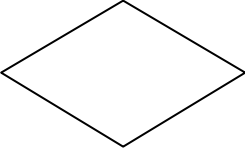


- ・給付管理票に記載されていない事業所からの請求はゼロ査定(0単位、0円で決定)とする。

このページは空白です

2 インタフェース仕様

2.1 受け渡し概要図

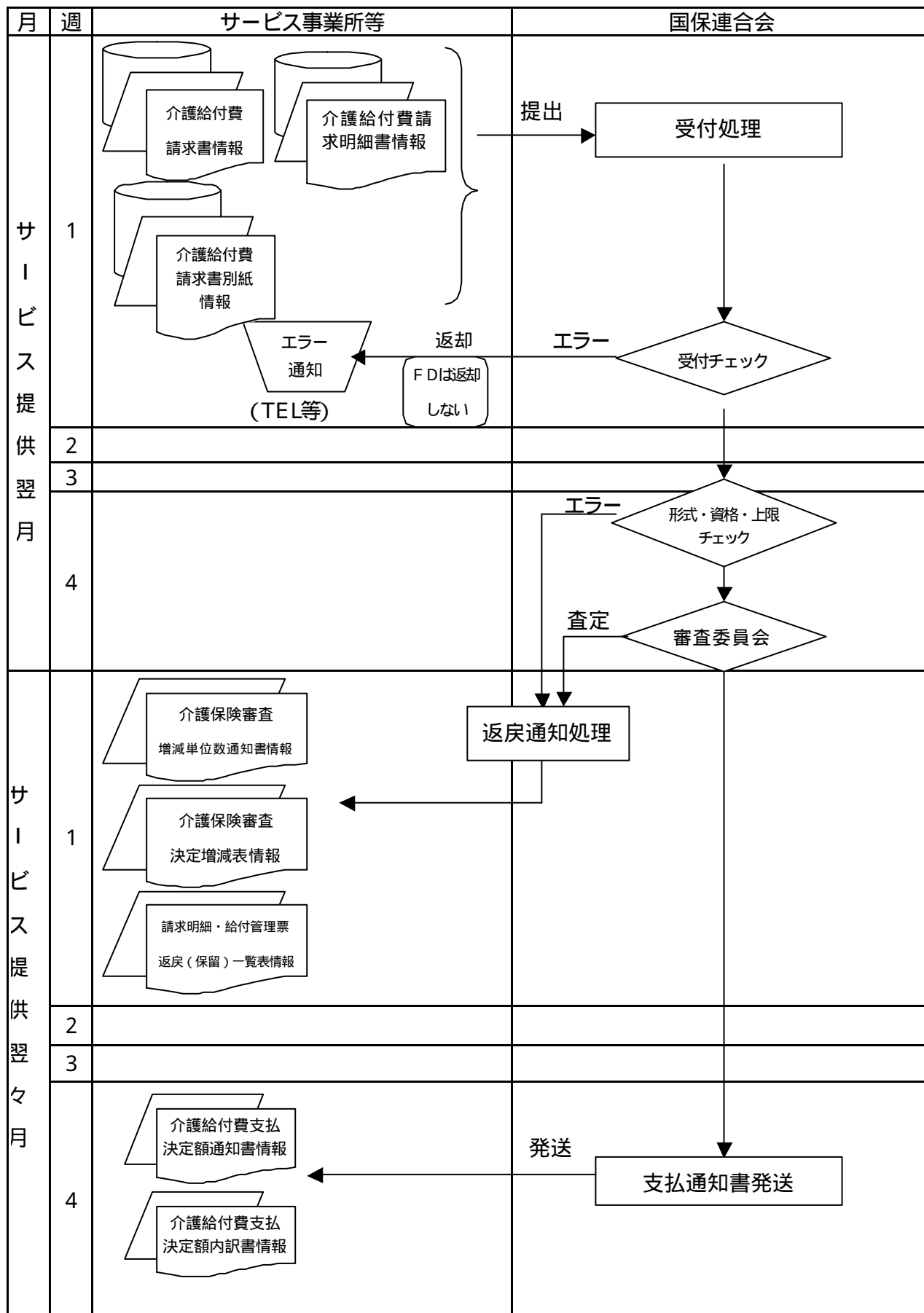
受け渡し概要図の中で用いている図の意味は、次の通り。

表示図	内容
	伝送であることを示す。
	磁気 (FD、MO、MT 等) 媒体であることを示す。
	帳票であることを示す。
	業務の流れの中で判断を行うことを示す。
	業務の流れの中で特定の処理を行うことを示す。
	伝送、磁気、および帳票のいずれでもない通知の方法を示す。

2.1.1 介護給付費請求情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会
<p>1. サービス事業所等は、被保険者に対してサービスを行った場合、国保連合会に介護給付費請求書情報、介護給付費請求明細情報を提出する。</p> <p>3. サービス事業所等は、受付チェックでエラーとなった媒体のチェックを行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p> <p>5. 提出した介護給付費請求明細書情報に記載された内容に誤りがある場合、査定が発生する。この場合、サービス事業所等はその査定の内容を確認後、再請求、再審査の申立、または保険者へ過誤申立の依頼等を行う。</p> <p>7. 国保連合会から介護給付費支払決定額通知書情報、介護給付費支払決定額内訳書情報を受け取る。</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた介護給付費請求書情報等(伝送、磁気、帳票のいずれかで受付)の受付チェックを実施し、エラーを発見した場合、サービス事業所等へエラーを通知する。 なお、受付エラーは、提出された介護給付費請求書情報、介護給付費請求明細書情報の記載内容の誤りではないため、返戻として扱われない。</p> <p>4. 形式・資格・上限チェックにおける返戻、審査委員会における査定が発生した場合、サービス事業所等へ介護保険審査増減単位数通知書情報、介護保険審査決定増減表情報、請求明細・給付管理票返戻(保留)一覧表情報を送付する。</p> <p>6. 審査委員会における審査結果に基づきサービス事業所等へ介護給付費支払決定額通知書情報、介護給付費支払決定額内訳書情報を発送する。</p>
<p>備考</p>	

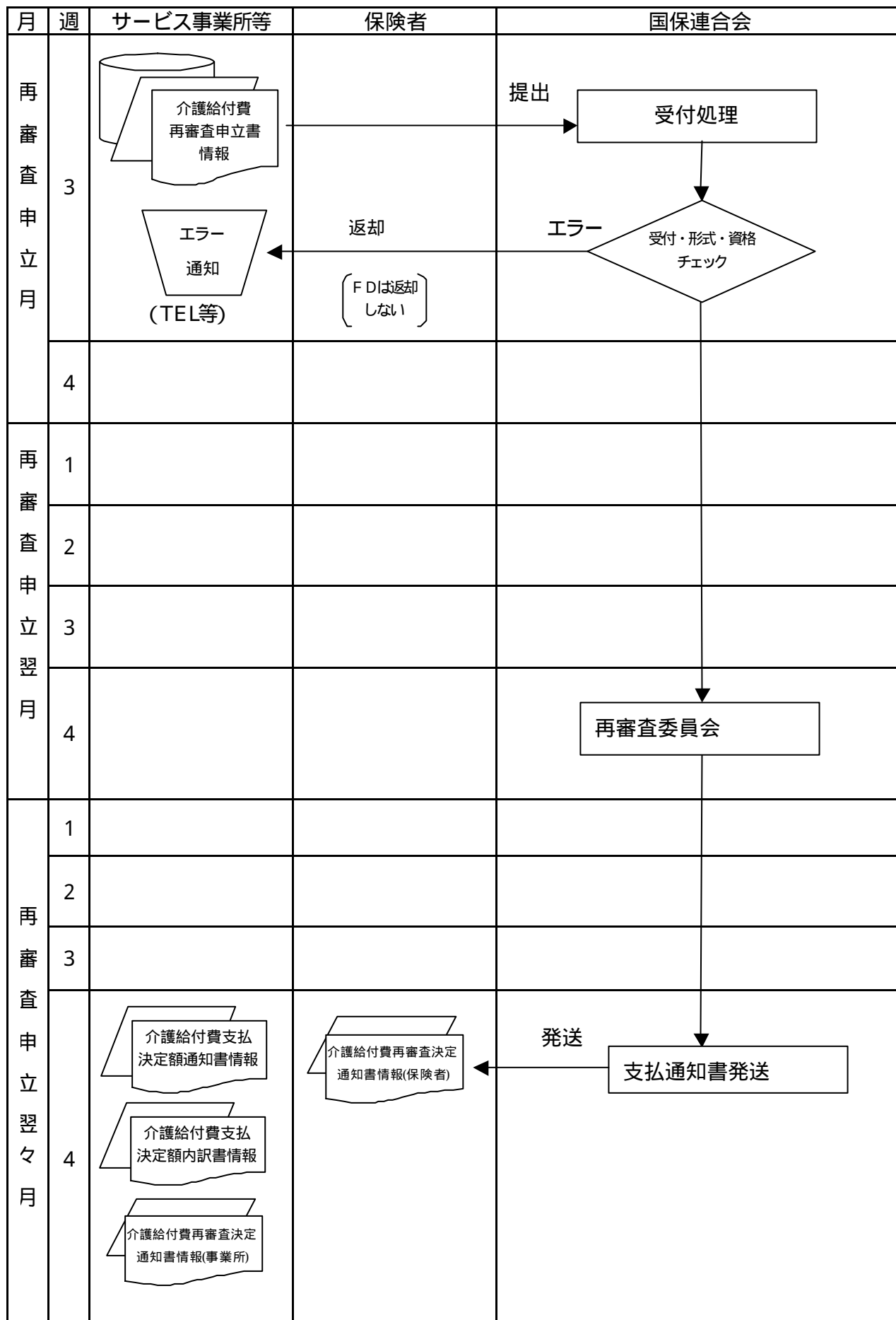
介護給付費請求情報受け渡し概要図



2.1.2 介護給付費再審査申立書情報受け渡し概要

サービス事業所等	保険者	国保連合会
<p>1. サービス事業所等は、国保連合会から通知された介護保険審査増減単位数通知書情報、介護保険審査決定増減表情報の内容を確認後、査定内容に疑義がある場合には、介護給付費再審査申立書情報を国保連合会へ提出する。</p> <p>3. サービス事業所等は、受付チェックでエラーとなった媒体のチェックを行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>		<p>2. 国保連合会は、受け付けた介護給付費再審査申立書情報（伝送、磁気、帳票のいずれかで受付）の受付・形式・資格チェックを実施し、エラーを発見した場合、サービス事業所等へエラーを通知する。 なお、介護給付費再審査エラーは、返戻として扱われない。</p> <p>4. 介護給付費再審査申立書情報の審査結果に基づきサービス事業所等へ介護給付費再審査決定通知書情報(事業所)を発送する。 備考参照</p>
<p>備考 提出された介護給付費再審査申立書情報を基にして、当該サービスの情報を給付実績から参照する。</p>		

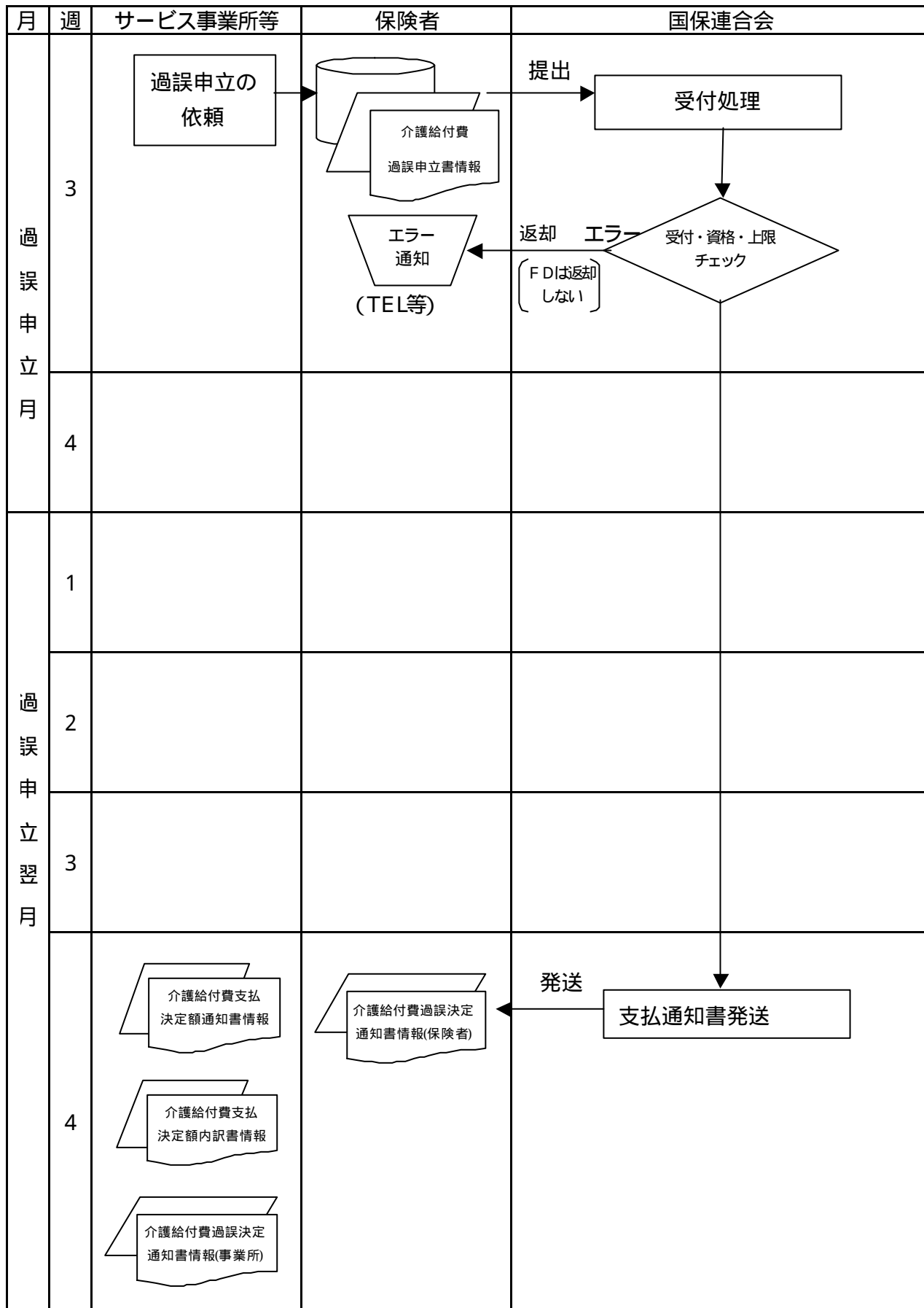
介護給付費再審査申立書情報受け渡し概要図



2.1.3 介護給付費過誤情報受け渡し概要

サービス事業所等	保険者	国保連合会
<p>1. サービス事業所等は、国保連合会から通知された介護保険審査増減単位数通知書情報、介護保険審査決定増減表情報の内容を確認後、査定の原因が保険者の台帳登録誤り等である場合、保険者に台帳修正および過誤申立を国保連合会に対して行うように依頼する。また、一度審査決定した請求に対して取り下げを行う場合、保険者と調整して実績の取り下げの過誤申立を依頼する</p>	<p>2. 保険者が介護給付費過誤申立書情報を提出する。</p> <p>4. 保険者は、受付チェックでエラーとなった媒体のチェックを行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>	<p>3. 国保連合会は、受け付けた介護給付費過誤申立書情報(伝送、磁気、帳票のいずれかで受付)の受付・形式・資格チェックを実施し、エラーを発見した場合、保険者へエラーを通知する。 なお、受付・形式・資格チェックエラーは、返戻として扱われない。</p> <p>5. 介護給付費過誤申立書情報の再審査結果に基づきサービス事業所等へ介護給付費過誤決定通知書情報(事業所)を発送する。 備考参照</p>
<p>備考 提出された介護給付費過誤申立書情報を基にして、当該サービスの情報を給付実績から参照する。</p>		

介護給付費過誤申立書情報受け渡し概要図



2.2 インタフェース一覧

2.2.1 介護給付費請求情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	7111	介護給付費請求書情報	サービス事業所等から介護給付費請求を行う際に提出するサービス事業所単位の集計情報	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(2)	7121	介護給付費請求書別紙情報 2	サービス事業所等から介護給付費請求を行う際に提出するサービス事業所のサービス情報	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(3)	7131	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・訪問通所区分介護サービス ・居宅療養管理指導	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(4)	7142 1	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・短期入所生活介護	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(5)	7152 1	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・老人保健施設における短期入所療養介護	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(6)	7163 1 3	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・病院・診療所における短期入所療養介護	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(7)	7171	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・痴呆対応型共同生活介護 ・特定施設入所者生活介護	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(8)	7182 3	施設介護給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・介護老人福祉施設	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(9)	7192 3	施設介護給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・介護老人保健施設	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票
(10)	71A2 3	施設介護給付費請求明細書情報	サービス事業所等から下記のサービスに対する介護給付費請求を行う際に提出する被保険者単位の明細情報 ・介護療養型医療施設	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票

1 サービス提供年月が平成13年12月以前の交換情報識別番号は、（4）の場合”7141”、（5）の場合”7151”、（6）の場合”7161”をそれぞれ設定する。

2 平成14年2月以降について、提出を不要とする。

- 3 サービス提供年月が平成15年3月以前の交換情報識別番号は、(6)の場合"7162"、(8)の場合"7181"、(9)の場合"7191"、(10)の場合"71A1"をそれぞれ設定する。

種別	帳票名	受付媒体種別		
		伝送	磁気	帳票
介護給付費請求書	介護給付費請求書			
	介護給付費請求書別紙	4	4	4
		× 5	× 5	× 5
	介護給付費明細書			

... 必須 × ... 不要 ... 必須かつ紙媒体受付の際の入力対象

4 平成14年1月以前の場合

5 平成14年2月以降の場合

2.2.2 再審査・過誤申立情報(入力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	71B2 1	介護給付費再審査申立書情報	再審査を申し立てるための理由と対象とする給付実績を特定するための情報を記載した帳票	サービス事業所等 国保連合会	月次	伝送 磁気 帳票

- 1 サービス提供年月が平成15年3月以前の交換情報識別番号は、"71B1"を設定する。

種別	帳票名	受付媒体種別		
		伝送	磁気	帳票
再審査・過誤申立書	介護給付費再審査申立書			

... 必須 × ... 不要 ... 必須かつ紙媒体受付の際の入力対象

2.2.3 増減単位数返戻通知情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体	出力形式	
							CSV	帳票形式
(1)	7211	介護保険審査決定増減表情報	保険者ごとの請求差、返戻、査定増減、保留、保留復活分の状況をサービス事業所等へ通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ
(2)	7311	介護保険審査増減単位数通知書情報	審査により増減単位された請求明細書の内容及び審査結果内容をサービス事業所等へ通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ
(3)	7411	請求明細・給付管理票返戻（保留）一覧表情報	返戻する介護給付費請求書を確認するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ

種別	帳票名	出力媒体種別		
		伝送受付分	磁気受付分	帳票受付分
増減単位数 返戻通知書	介護保険審査決定増減表情報	伝送返却		帳票返却
	介護保険審査増減単位数通知書情報			
	請求明細・給付管理票返戻（保留）一覧表情報			

2.2.4 支払通知情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体	出力形式	
							CSV	帳票形式
(1)	7511	介護給付費等支払決定額通知書情報	サービス事業所等への支払決定額を通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ
(2)	7521	介護給付費支払決定額内訳書情報	サービス事業所等へ支払決定額の内訳を通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ
(3)	7611	介護給付費過誤決定通知書情報（事業所）	サービス事業所等へ過誤申立の決定額を通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ
(4)	7621	介護給付費再審査決定通知書情報（事業所）	サービス事業所等へ再審査請求の決定額を通知するためのリスト	国保 連合会 サービス 事業所等	月次	伝送 帳票		汎用紙 A4ヨコ

種別	帳票名	出力媒体種別		
		伝送受付分	磁気受付分	帳票受付分
支払通知書	介護給付費等支払決定額通知書情報	伝送返却		帳票返却
	介護給付費支払決定額内訳書情報			
	介護給付費過誤決定通知書（事業所）情報			
	介護給付費再審査決定通知書（事業所）情報			

2.3 項目説明

本節では「3 インタフェース規定 (3)レコードフォーマット(P.88)」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各帳票ごとのインタフェースについて記載する。

2.3.1 介護給付費請求書情報

(1) 介護給付費請求書情報 (複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する		“7111”固定
2	サービス提供年月	数字	6	介護給付費請求書の該当するサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する		2
3	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する		1
4	保険・公費等区分コード	数字	1	保険・公費等区分コードを設定する		1
5	法別番号	数字	2	保険者請求分の場合は0、公費請求分の場合は法別番号を設定する。		1
6	請求情報区分コード	数字	2	請求情報区分コードを設定する		1
7	サービス費用	件数	6	サービス費用の件数を設定する		S
8		単位数	11	サービス費用の単位数を設定する		S
9		費用合計	12	サービス費用の合計を設定する		S
10		保険請求額	12	サービス費用の保険請求額を設定する		S
11		公費請求額	12	サービス費用の公費請求額を設定する		S
12		利用者負担	12	サービス費用の利用者負担額を設定する		S
13	食事提供費用	件数	6	食事提供費用の件数を設定する		S
14		延べ日数	8	食事提供費用の延べ日数を設定する		S
15		金額	12	食事提供費用の合計金額を設定する		S
16		標準負担月額	12	食事提供費用の標準負担額を設定する		S
17		公費請求額	12	食事提供費用の公費負担額を設定する		S
18		保険請求額	12	食事提供費用の保険請求金額を設定する		S

1 「34 コード一覧」参照。(P.106)

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

- S 固定長形式で表現する場合の「符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式項目〔以下:符号付き形式項目〕」
 なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なしアンパック(ゾーン)10進数形式項目〔以下:符号なし形式項目〕」である。

(2) 介護給付費請求書別紙情報(複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する		"7121"固定
2	サービス提供年月	数字	6	介護給付費請求書の該当するサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する		2
3	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する		1
4	指定/基準該当等事業所区分コード	数字	1	サービス事業所の指定/基準該当等事業所区分コードを設定する。		1
5	地域区分	数字	1	サービス事業所の所在する地域の地域区分を設定する。		1
6	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを設定する		1
7	施設等の区分コード	数字	1	施設等の区分をコードで設定する		
8	人員配置区分コード	数字	1	人員配置区分をコードで設定する		
9	特別地域加算の有無	数字	1	特別地域加算の有無をコードで設定する		
10	緊急時訪問看護加算の有無	数字	1	緊急時訪問看護加算の有無をコードで設定する		
11	特別管理体制	数字	1	特別管理体制の対応をコードで設定する		
12	機能訓練体制の有無	数字	1	機能訓練体制の有無をコードで設定する		
13	食事提供体制の有無	数字	1	食事提供体制の有無をコードで設定する		
14	入浴介助加算の有無	数字	1	入浴介助加算の有無をコードで設定する		
15	特別入浴介助加算の有無	数字	1	特別入浴介助の有無をコードで設定する		
16	リハビリテーション体制の有無	数字	1	リハビリテーション体制の有無をコードで設定する		
17	基準省令附則	数字	1	基準省令附則をコードで設定する		
18	常勤専従医師配置の有無	数字	1	常勤専従医師配置の有無をコードで設定する		
19	看護職員等勤務条件基準	数字	1	看護職員等勤務条件基準をコードで設定する		

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力	備考
20	平成10年省令	数字	1	平成10年省令をコードで設定する		
21	医師の配置	数字	1	医師の配置をコードで設定する		
22	精神科医師定期診療の有無	数字	1	精神科医師定期診療の有無をコードで設定する		
23	夜間勤務条件	数字	1	夜間勤務条件をコードで設定する		
24	痴呆専門棟の有無	数字	1	痴呆専門棟の有無をコードで設定する		
25	食事管理の状況	数字	1	食事管理の状況をコードで設定する		
26	特別食の提供の有無	数字	1	特別食の提供の有無をコードで設定する		
27	送迎体制	数字	1	送迎体制の対応をコードで設定する		
28	職員の欠員の状況	数字	1	職員の欠員の状況をコードで設定する		設定不要
29	生活保護法による指定の有無	数字	1	生活保護法第54条の2による介護機関の指定等の有無を設定する		

1 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

2 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

(3) 介護給付費請求明細書情報

介護給付費請求明細書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

保険者、被保険者および請求サービス事業所等に関する情報等の明細書上の基本情報を格納する。

2 : 明細情報レコード (複数レコード)

実施したサービス単位でサービスコード・請求単位数等を格納する

3 : 緊急時施設療養情報レコード (複数レコード)

緊急時施設療養を行った場合に緊急時施設療養に関する情報を格納する

4 : 特定診療費情報レコード (複数レコード)

特定診療を行った場合に特定診療に関する情報を格納する

5 : 食事費用情報レコード

施設の介護給付費請求において食事費用の請求を行う場合にその情報を格納する

6 : 集計情報レコード (複数レコード)

介護給付費請求においてサービス種類ごとの集計情報を格納する

格納が必要なレコードと様式の対応は以下の通りである。

- 様式第二 ... 居宅サービス介護給付費明細書
(訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・
居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与)
- 様式第三 ... 居宅サービス介護給付費明細書
(短期入所生活介護)
- 様式第四 ... 居宅サービス介護給付費明細書
(介護老人保健施設における短期入所療養介護)
- 様式第五 ... 居宅サービス介護給付費明細書
(病院または診療所における短期入所療養介護)
- 様式第六 ... 居宅サービス介護給付費明細書
(痴呆対応型共同生活介護・特定施設入所者生活介護)
- 様式第八 ... 施設介護給付費請求明細書
(介護老人福祉施設)
- 様式第九 ... 施設介護給付費請求明細書
(介護老人保健施設)
- 様式第十 ... 施設介護給付費請求明細書
(介護療養型医療施設)

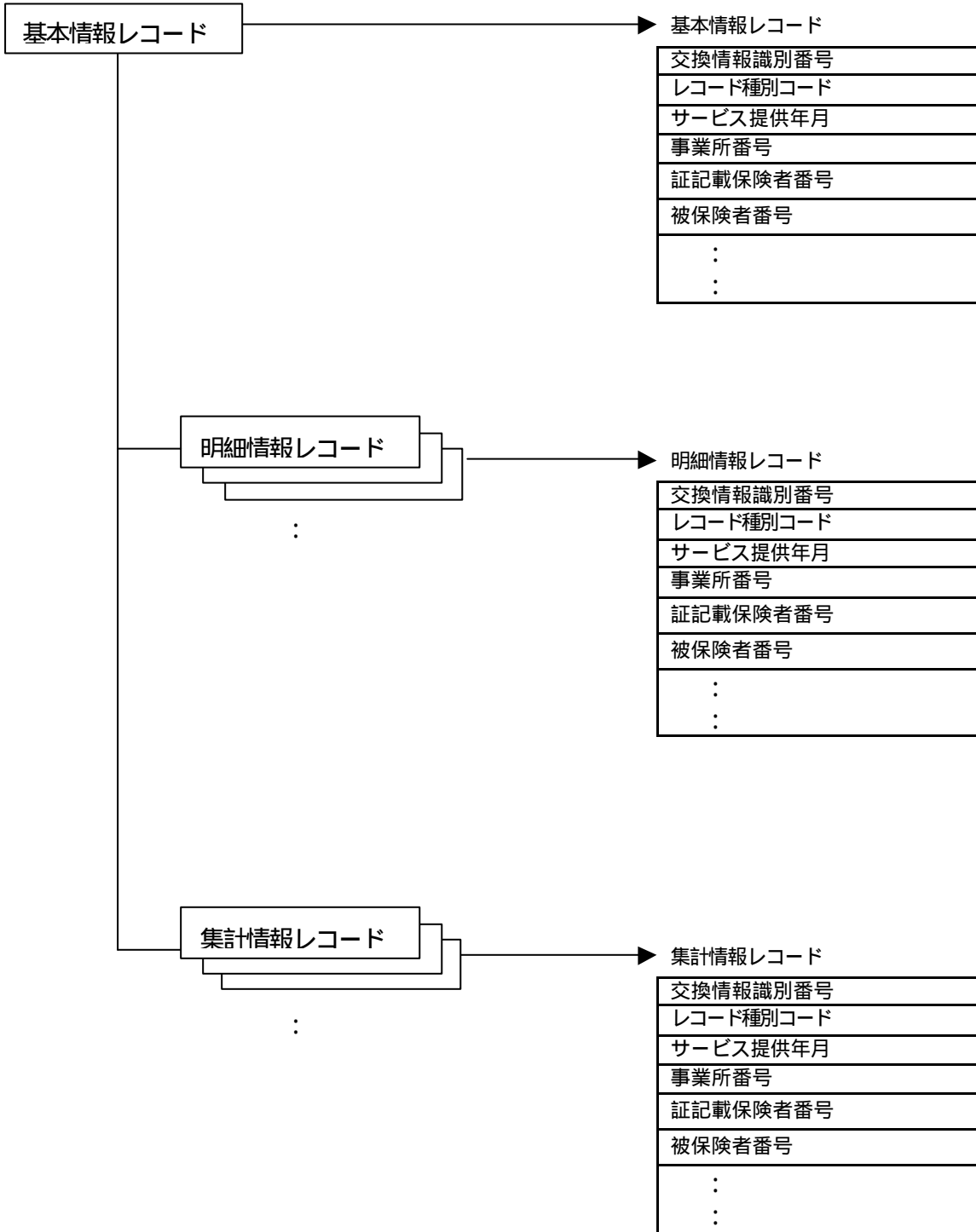
	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十
基本情報レコード								
明細情報レコード(複数レコード)								
緊急時施設療養情報レコード(複数レコード)			1				1	
特定診療費情報レコード(複数レコード)				2				2
食事費用情報レコード						3	3	3
集計情報レコード(複数レコード)								

凡例: ...必須レコード ...請求内容により必要となるレコード 空白...不要なレコード

- 1... 緊急時施設療養費の請求がある場合のみ
- 2... 特定診療費の請求がある場合のみ
- 3... 食事費用の請求がある場合のみ

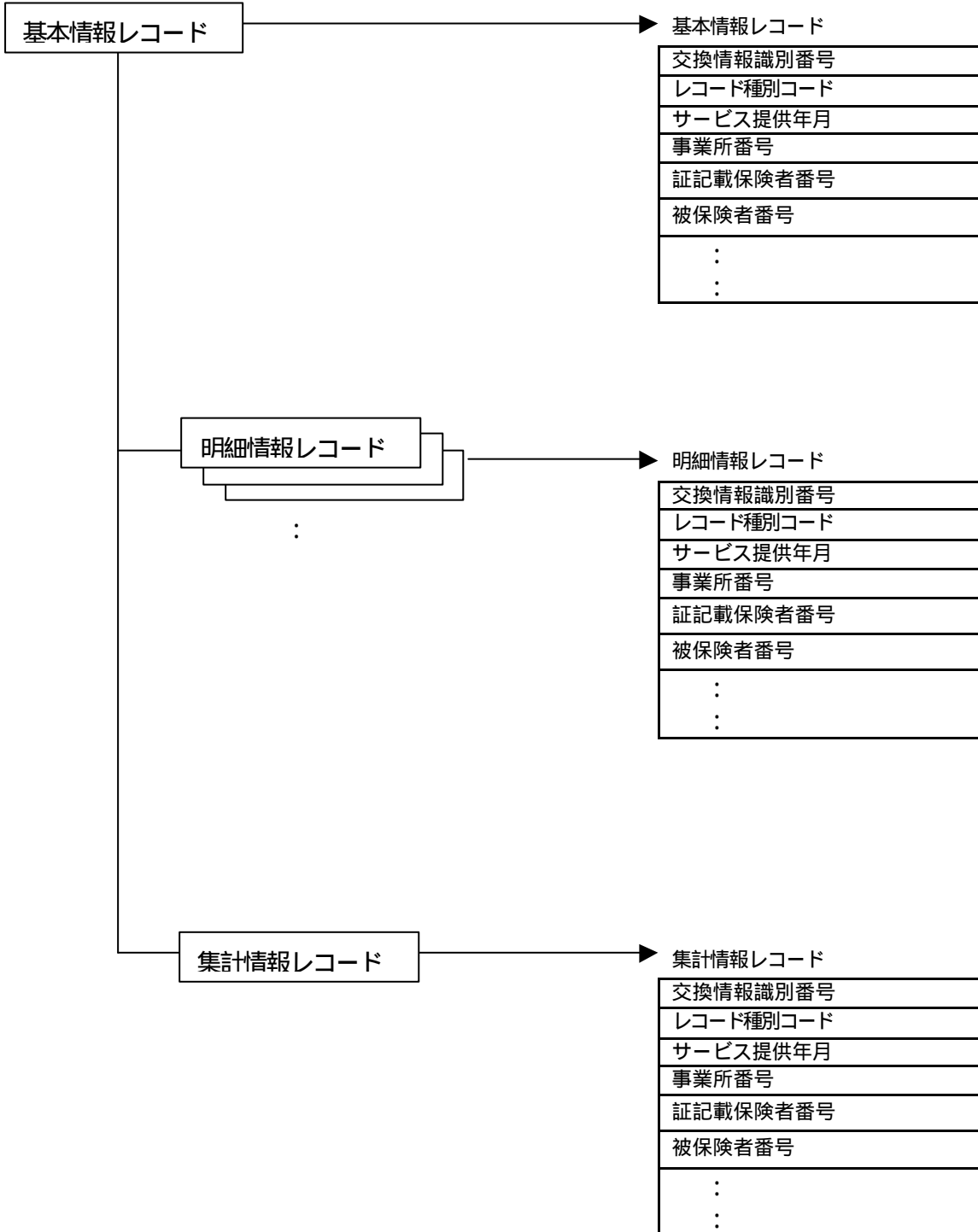
レコード構成図

様式第二：居宅サービス介護給付費明細書情報（訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与）



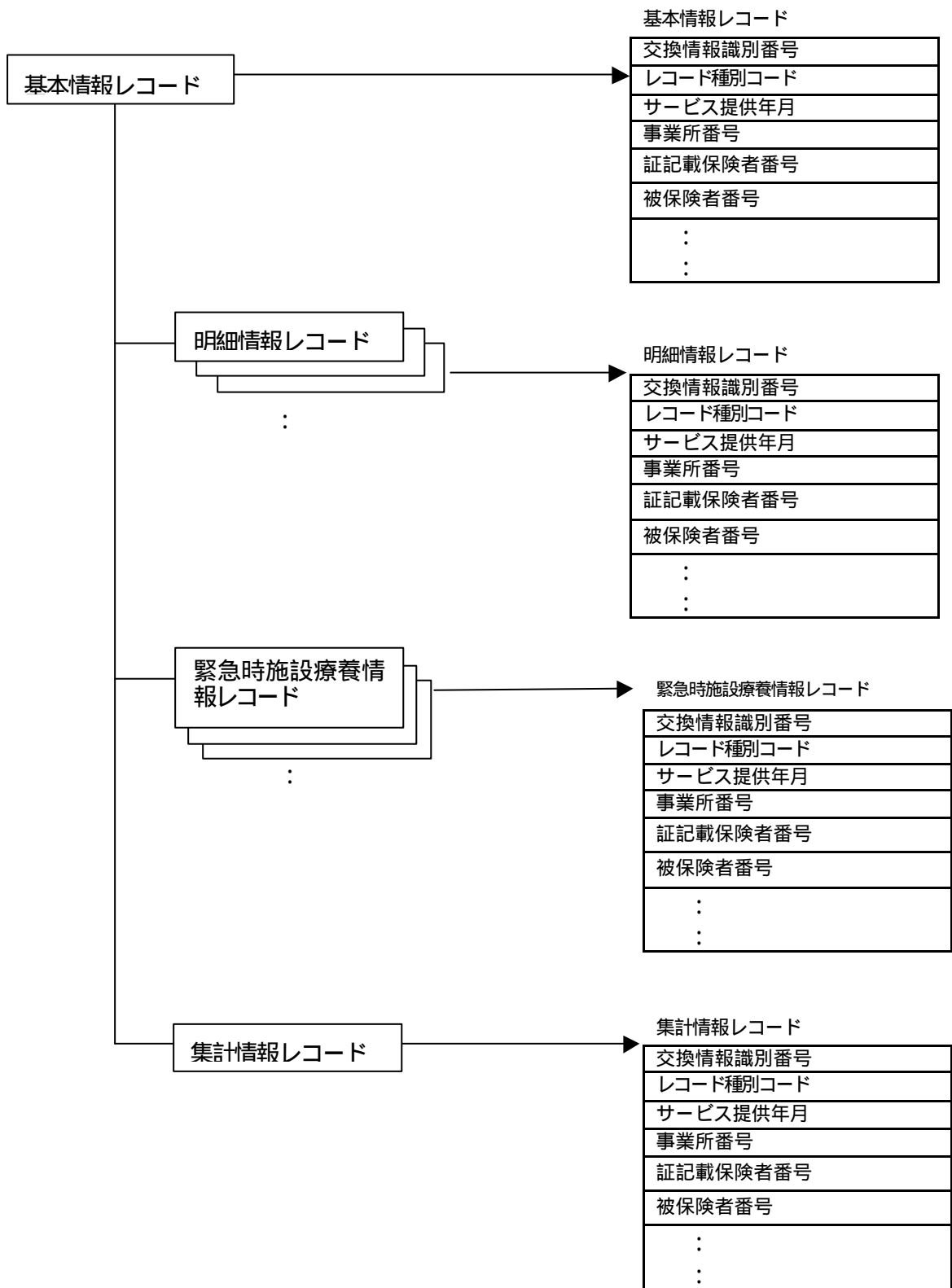
レコード構成図

様式第三：居宅サービス介護給付費明細書（短期入所生活介護）



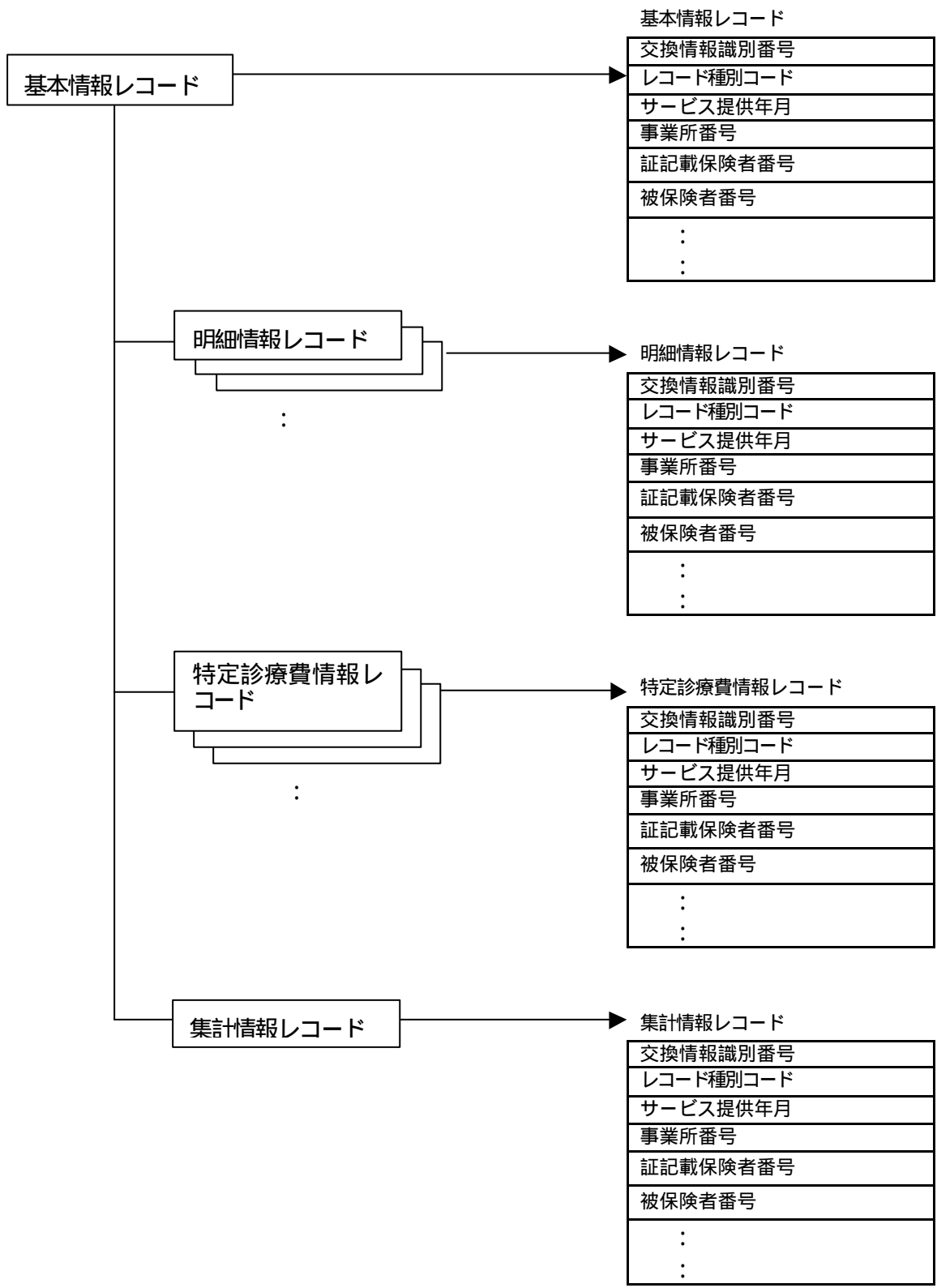
レコード構成図

様式第四：居宅サービス介護給付費明細書
 (介護老人保健施設における短期入所療養介護)



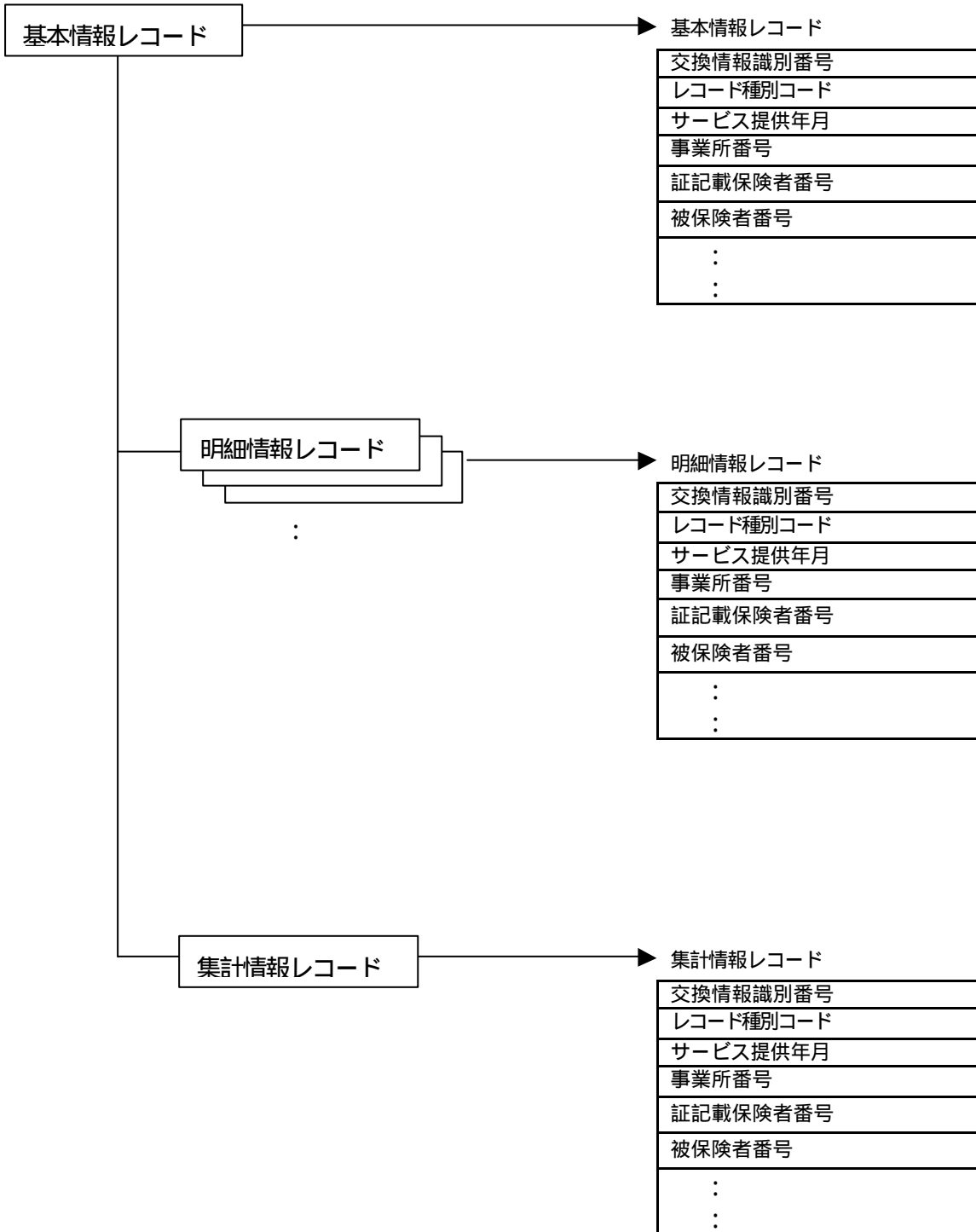
レコード構成図

様式第五：居宅サービス介護給付費明細書
 (病院または診療所における短期入所療養介護)



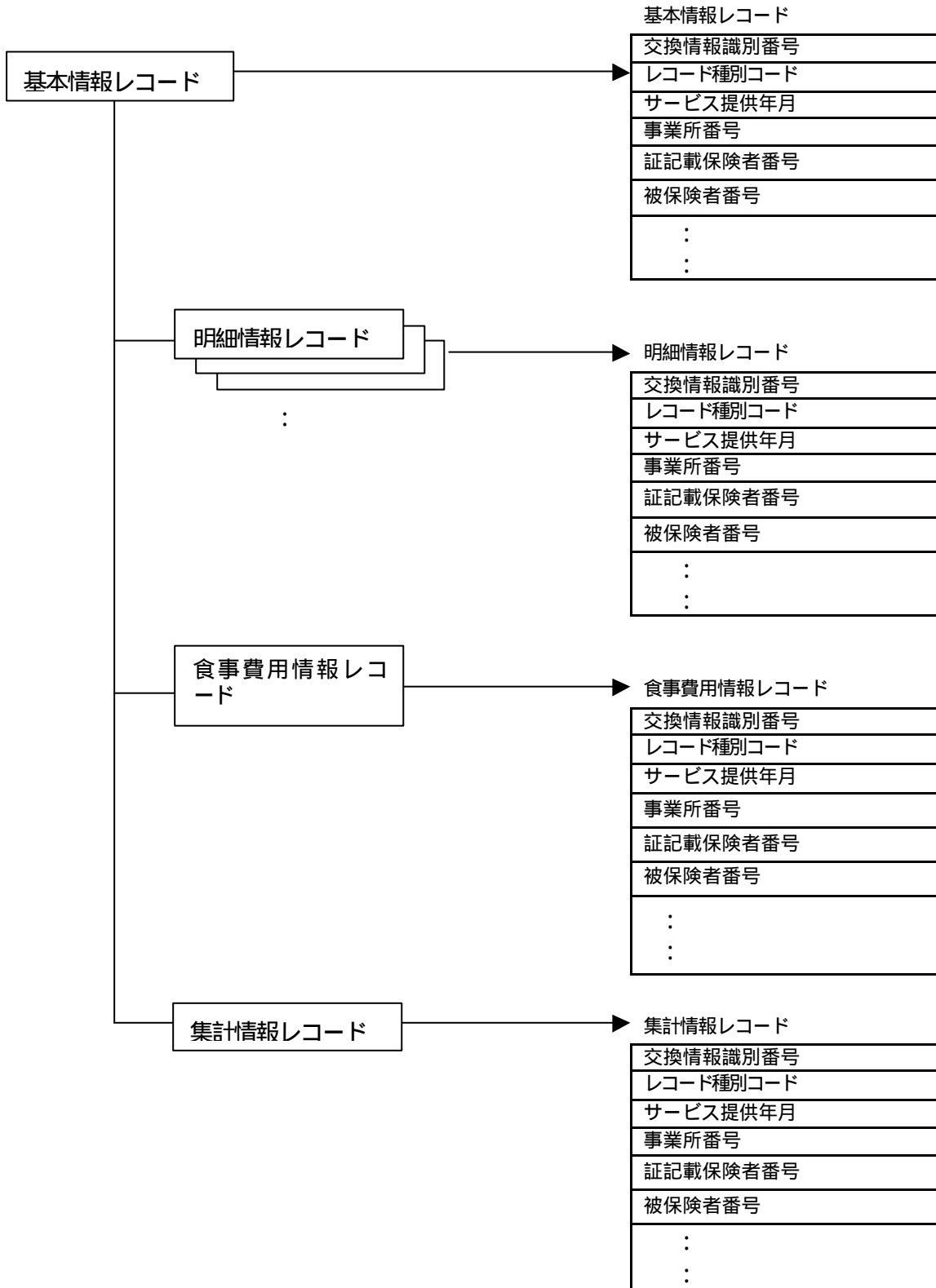
レコード構成図

様式第六：居宅サービス介護給付費明細書
 (痴呆対応型共同生活介護・特定施設入所者生活介護)



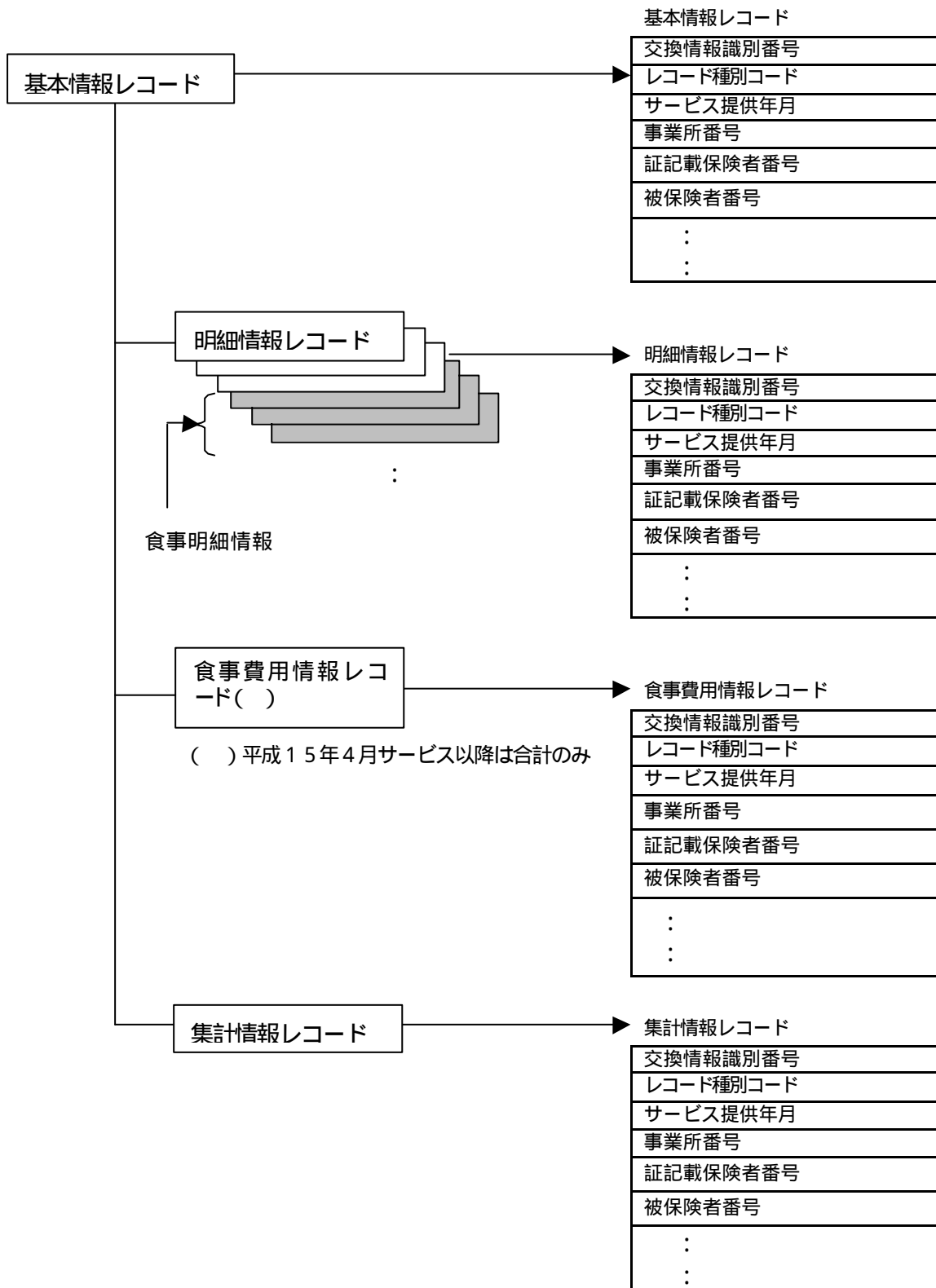
レコード構成図

様式第八：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年3月以前の場合
(介護老人福祉施設)



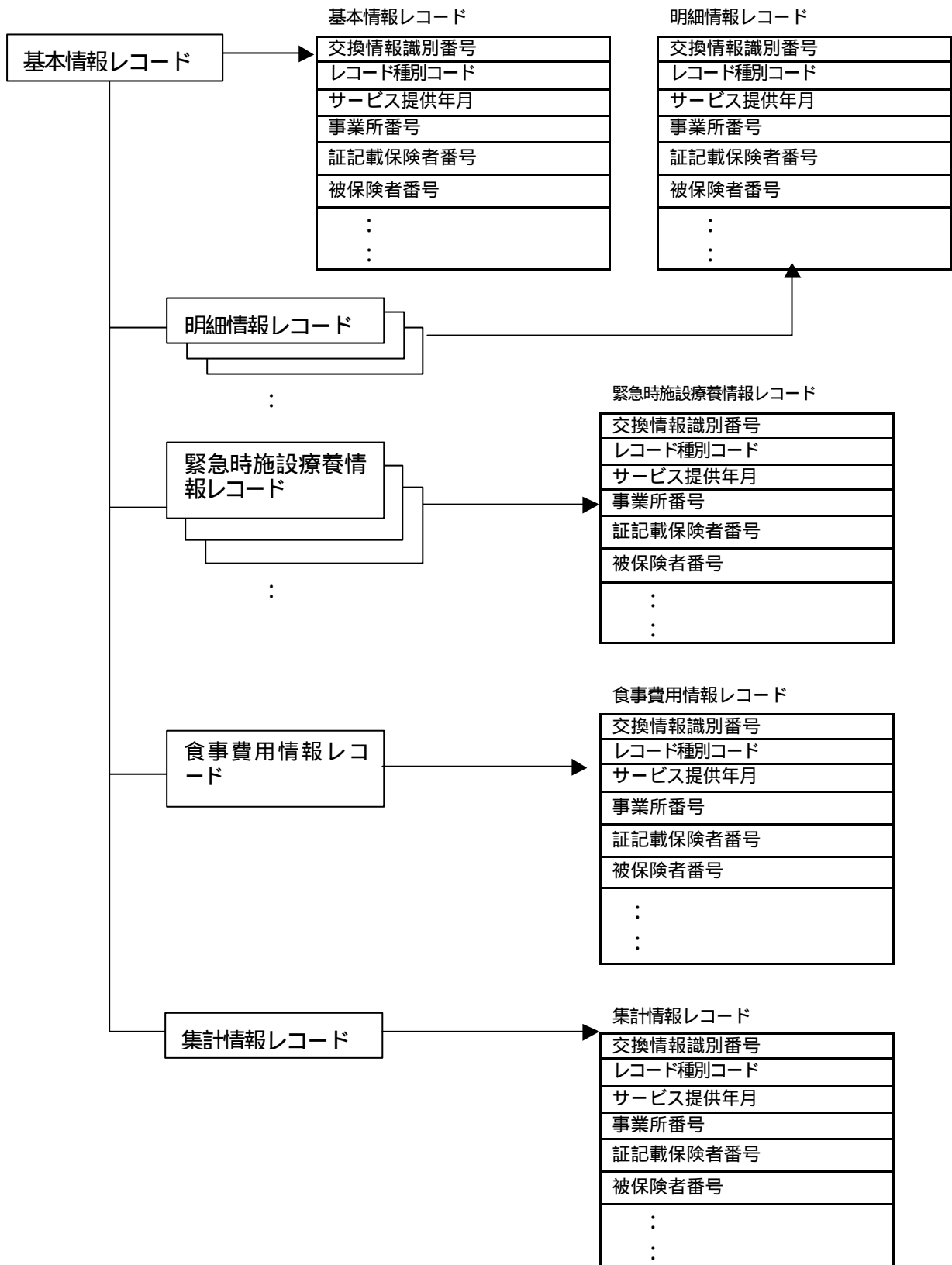
レコード構成図

様式第八：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合
(介護老人福祉施設)



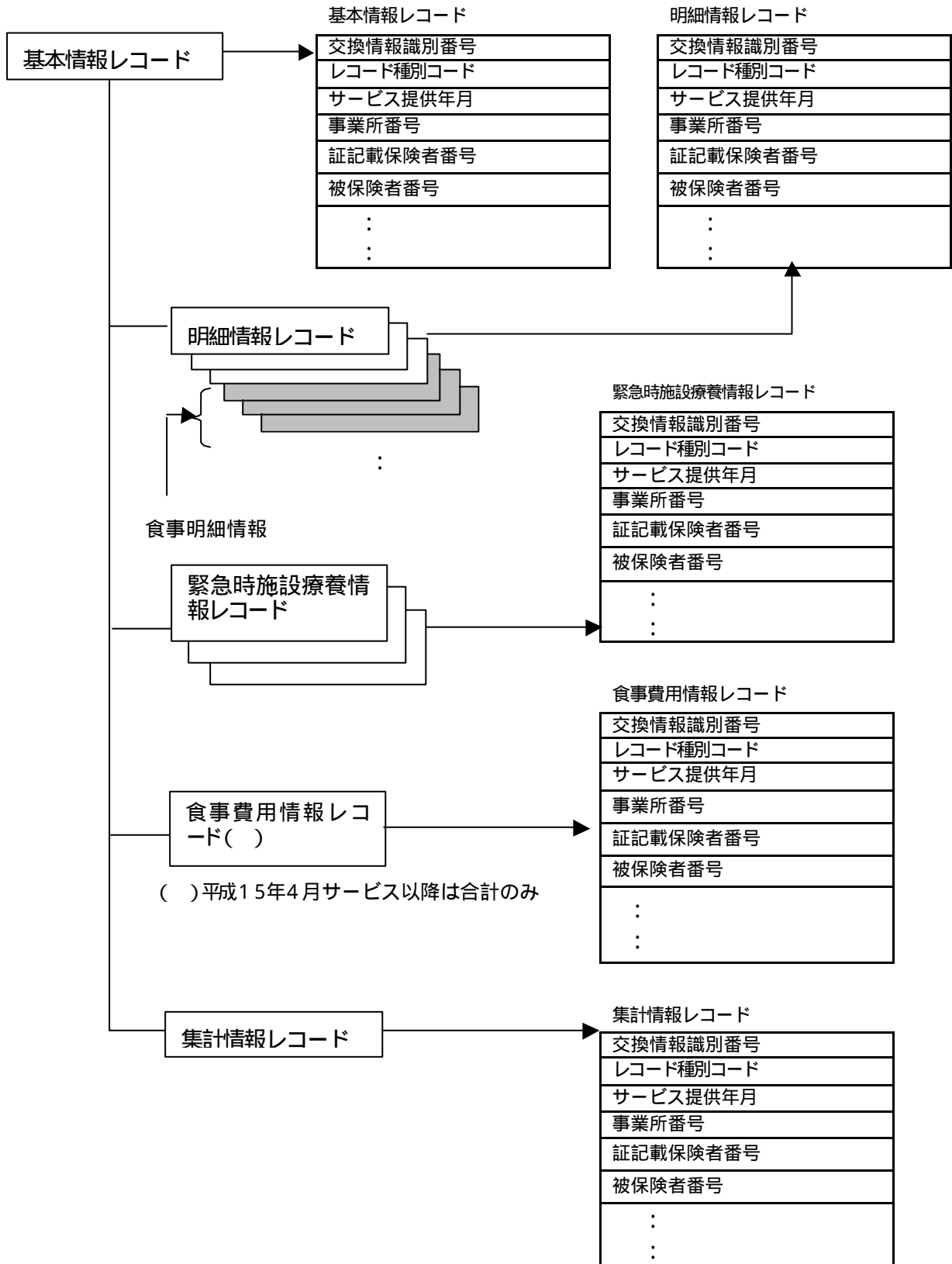
レコード構成図

様式第九：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年3月以前の場合
(介護老人保健施設)



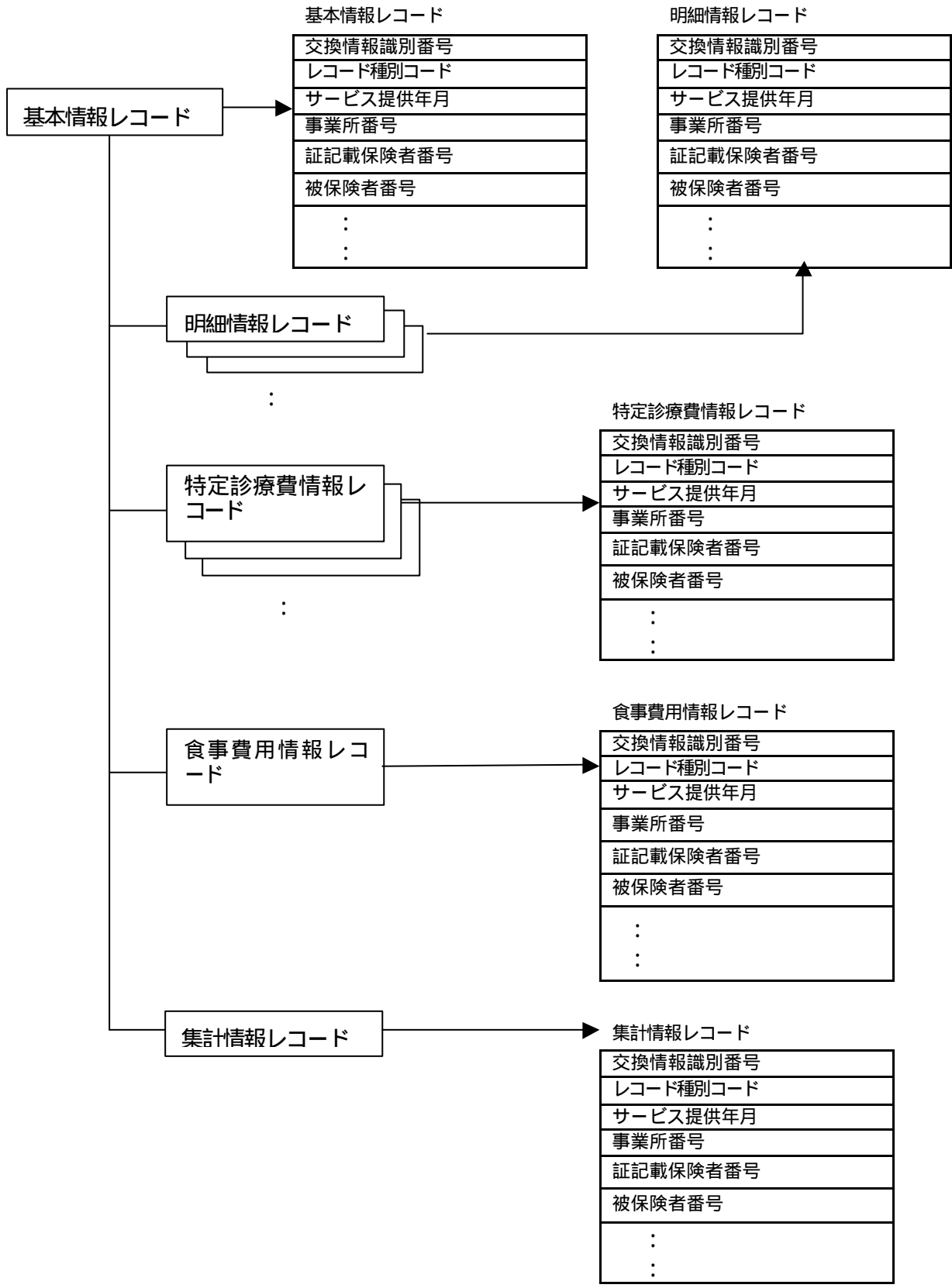
レコード構成図

様式第九：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合
(介護老人保健施設)



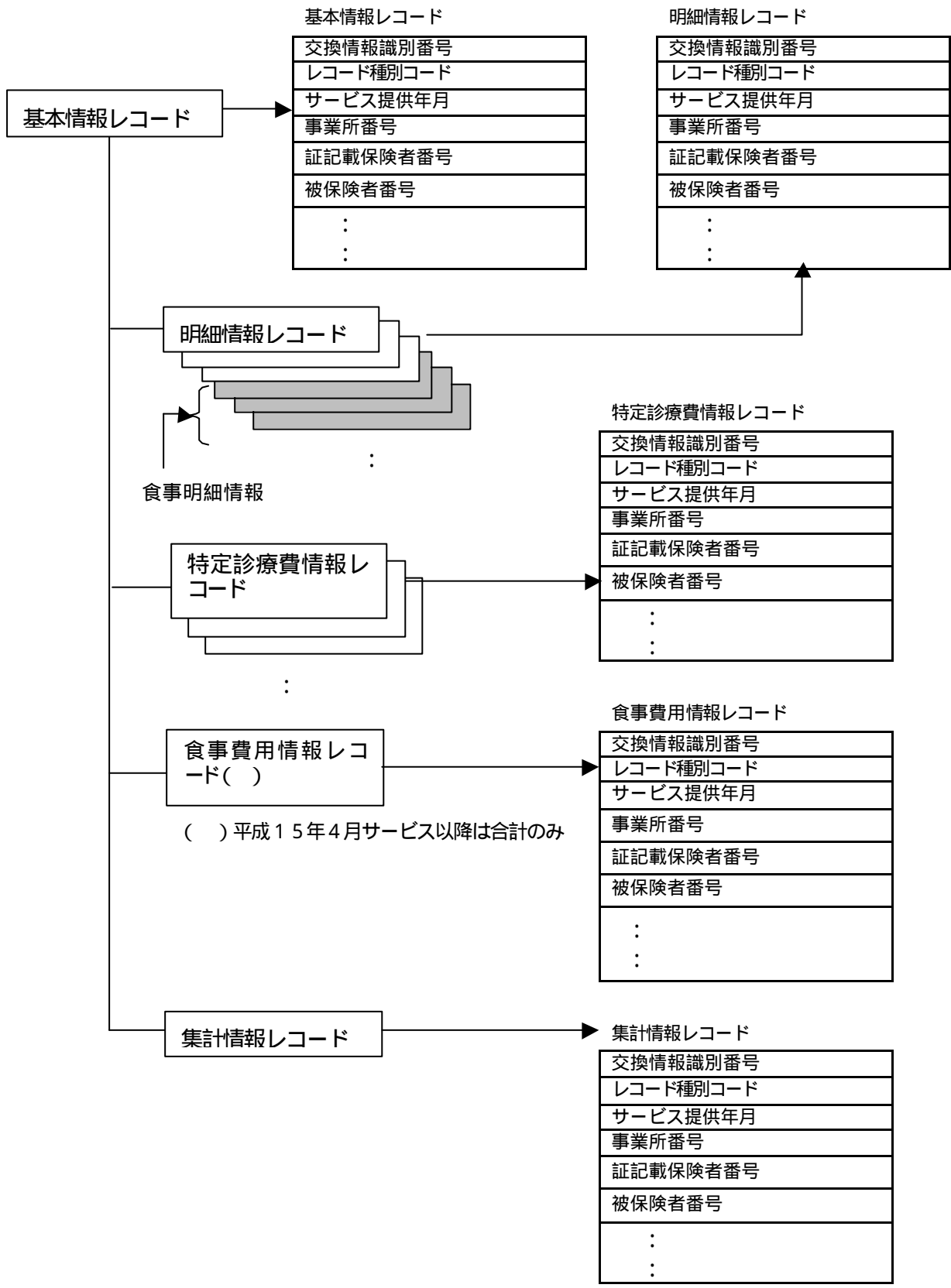
レコード構成図

様式第十：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年3月以前の場合
(介護療養型医療施設)



レコード構成図

様式第十：施設介護給付費請求明細書 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合
(介護療養型医療施設)



・基本情報レコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1	
2	レコード種別コード	数字	2	0 1 を設定する（基本情報レコード）		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を設定する	2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する	3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号を設定する	3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3	
7	公費1	負担者番号	数字	8	公費1負担対象の場合公費1負担者番号を設定する	3
8		受給者番号	数字	7	公費1負担対象の場合公費1受給者番号を設定する	3
9	公費2	負担者番号	数字	8	公費2負担対象の場合公費2負担者番号を設定する	3
10		受給者番号	数字	7	公費2負担対象の場合公費2受給者番号を設定する	3
11	公費3	負担者番号	数字	8	公費3負担対象の場合公費3負担者番号を設定する	3
12		受給者番号	数字	7	公費3負担対象の場合公費3受給者番号を設定する	3
13	被保険者情報	生年月日	数字	8	被保険者の生年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	4
14		性別コード	数字	1	被保険者の性別を設定する	3
15		要介護状態区分コード	数字	2	要介護状態区分を設定する	3
16		旧措置入所者特例コード	数字	1	旧措置入所者特例の有無を設定する	3
17		認定有効期間 開始年月日	数字	8	認定有効期間の開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	4
18		認定有効期間 終了年月日	数字	8	認定有効期間の終了年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	4
19	居宅サービス計画	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅サービス計画作者の区分（作成者区分）を設定する	3
20		事業所番号（居宅介護支援事業所）	数字	10	居宅介護支援事業所番号を設定する。	項番19が「居宅介護支援事業所」のとき必須
21	開始年月日	数字	8	サービス開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	4	
22	中止年月日	数字	8	サービス中止年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	4	

項番	項目名	属性	バ イ ト 数	内容	備考		
23	中止理由コード	数字	1	中止理由を設定する	3		
24	入所(院)年月日	数字	8	施設への入所(院)年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	4 5		
25	退所(院)年月日	数字	8	施設の退所(院)年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	4 6		
26	入所(院)実日数	数字	2	入所(院)期間中の実入所(院)日数を設定する	S		
27	外泊日数	数字	2	入所(院)期間中の外泊として精算可能な日数を設定する	S		
28	退所(院)後の状態コード	数字	1	退所(院)後の状況を設定する	3		
29	保険給付率	数字	3	保険分給付率を設定する			
30	公費1給付率	数字	3	公費1分給付率を設定する			
31	公費2給付率	数字	3	公費2分給付率を設定する			
32	公費3給付率	数字	3	公費3分給付率を設定する			
33	保険	サービス単位数	数字	8	サービス単位数の合計を設定する	S	
34		請求額	数字	9	保険請求額の合計を設定する	S	
35		利用者負担額	数字	8	利用者負担額の合計を設定する	S	
36		緊急時施設療養費請求額	数字	9	緊急時施設療養費保険請求額の合計を設定する	S	
37		特定診療費請求額	数字	9	特定診療費保険請求額の合計を設定する	S	
38		食事提供費請求額	数字	8	食事提供費請求額の合計を設定する	S	
39		公費1	サービス単位数	数字	8	公費1対象のサービス単位数の合計を設定する	S
40	請求額		数字	8	公費1請求額の合計を設定する	S	
41	本人負担額		数字	8	公費1本人負担額の合計を設定する	S	
42	緊急時施設療養費請求額		数字	8	緊急時施設療養費公費1請求額の合計を設定する	S	
43	特定診療費請求額		数字	8	特定診療費公費1請求額の合計を設定する	S	
44	食事提供費請求額		数字	8	食事提供費請求額の公費1請求分を設定する	S	
45	公費2		サービス単位数	数字	8	公費2対象のサービス単位数の合計を設定する	S
46			請求額	数字	8	公費2請求額の合計を設定する	S
47		本人負担額	数字	8	公費2本人負担額の合計を設定する	S	
48		緊急時施設療養費請求額	数字	8	緊急時施設療養費公費2請求額の合計を設定する	S	

項番	項目名		属性	バイト数	内容	備考
49	公費2	特定診療費請求額	数字	8	特定診療費公費2請求額の合計を設定する	S
50		食事提供費請求額	数字	8	食事提供費請求額の公費2請求分を設定する	S
51	公費3	サービス単位数	数字	8	公費3対象のサービス単位数の合計を設定する	S
52		請求額	数字	8	公費3請求額の合計を設定する	S
53		本人負担額	数字	8	公費3本人負担額の合計を設定する	S
54		緊急時施設療養費請求額	数字	8	緊急時施設療養費公費3請求額の合計を設定する	S
55		特定診療費請求額	数字	8	特定診療費公費3請求額の合計を設定する	S
56		食事提供費請求額	数字	8	食事提供費請求額の公費3請求分を設定する	S

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 「35 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

5 サービス提供年月が平成14年1月以降の短期入所サービスについて、前月から継続して入所している場合はその入所日を設定、それ以外の場合は当該月の最初の入所日を設定する。

6 サービス提供年月が平成14年1月以降の短期入所サービスについて、当該月における最初の退所日を設定する。月末日において入所継続中の場合は設定不要。ただし、連続入所が30日を超える場合は、30日目を退所日とみなして設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・明細情報レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1
2	レコード種別コード	数字	2	02を設定する(明細情報レコード)	
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	2
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する	3
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを設定する	3 5
8	サービス項目コード	数字	4	サービス項目コードを設定する	3 5
9	単位数	数字	4	単位数を設定する 食事サービスの場合、単価を設定する	5 S
10	日数・回数	数字	2	日数または回数を設定する	5 S
11	公費1対象日数・回数	数字	2	公費1対象日数・回数	S
12	公費2対象日数・回数	数字	2	公費2対象日数・回数	S
13	公費3対象日数・回数	数字	2	公費3対象日数・回数	S
14	サービス単位数	数字	6	対象分のサービス単位数を設定する 食事サービスの場合、金額を設定する	5 S
15	公費1対象サービス単位数	数字	6	公費1対象分のサービス単位数を設定する	S
16	公費2対象サービス単位数	数字	6	公費2対象分のサービス単位数を設定する	S
17	公費3対象サービス単位数	数字	6	公費3対象分のサービス単位数を設定する	S
18	摘要	英数	20		

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 欠番

5 サービス提供年月が平成15年4月以降、食事サービスの該当情報を設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・緊急時施設療養情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1
2	レコード種別コード	数字	2	03を設定する(緊急時施設療養情報レコード)	
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	2
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の事業所番号を設定する	3
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3
7	緊急時施設療養情報レコード順次番号	数字	2	本レコードが複数になる場合、01～98の順次番号を設定する レコードが1件のみの場合、及び複数レコードの最後レコードには99を設定する	
8	緊急時傷病名1	漢字	40	緊急時傷病名1を設定する	
9	緊急時傷病名2	漢字	40	緊急時傷病名2を設定する	
10	緊急時傷病名3	漢字	40	緊急時傷病名3を設定する	
11	緊急時治療開始年月日1	数字	8	緊急時の治療開始年月日1(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	4
12	緊急時治療開始年月日2	数字	8	緊急時の治療開始年月日2(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	4
13	緊急時治療開始年月日3	数字	8	緊急時の治療開始年月日3(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	4
14	往診日数	数字	2	往診日数を設定する	5 S
15	往診医療機関名	漢字	40	往診医療機関名を設定する	
16	通院日数	数字	2	通院日数を設定する	5 S
17	通院医療機関名	漢字	40	通院医療機関名を設定する	
18	緊急時治療管理単位数	数字	6	緊急時治療管理の単位数を設定する	5 S
19	緊急時治療管理日数	数字	2	緊急時治療の日数を設定する	5 S
20	緊急時治療管理小計	数字	7	緊急時治療管理の小計を設定する	5 S
21	リハビリテーション点数	数字	7	リハビリテーションの点数を設定する	5 S
22	処置点数	数字	7	処置の点数を設定する	5 S
23	手術点数	数字	7	手術の点数を設定する	5 S

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
2 4	麻酔点数	数字	7	麻酔の点数を設定する	5 S
2 5	放射線治療点数	数字	7	放射線治療の点数を設定する	5 S
2 6	摘要 1	漢字	6 4	摘要を設定する	
2 7	摘要 2	漢字	6 4	摘要を設定する	
:	:	:	:	:	
4 5	摘要 2 0	漢字	6 4	摘要を設定する	
4 6	緊急時施設療養費合計点数	数字	8	緊急時施設療養費の合計点を設定する	5 S

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 「35 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

5 緊急時施設療養情報レコード順次番号が 9 9 のときのみ設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、 S が付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・特定診療費情報レコード（複数レコード）

サービス提供年月が平成15年3月以前の場合、以下の項目を設定する。

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1	
2	レコード種別コード	数字	2	04を設定する (特定診療費情報レコード)		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3	
7	特定診療費情報レコード 順次番号	数字	2	本レコードが複数になる場合、01 ～98の順次番号を設定する レコードが1件のみの場合、及び複数レコードの最後レコードには99を設定する		
8	傷病名	漢字	40	傷病名を設定する		
9	保 険	指導管理料等	数字	7	保険分の指導管理料等の単位数を設定する。	4 S
10		単純イクス線	数字	7	保険分の単純イクス線単位数を設定する	4 S
11		リハビリテーション	数字	7	保険分のリハビリテーション単位数を設定する	4 S
12		精神科専門療法	数字	7	保険分の精神科専門療法単位数を設定する	4 S
13		予備1	数字	7	未使用	
14		予備2	数字	7	未使用	
15		合計単位数	数字	8	保険分の合計単位数を設定する	4 S
16		公 費 1	指導管理料等	数字	7	公費1分の指導管理料等の単位数を設定する。
17	単純イクス線		数字	7	公費1分の単純イクス線単位数を設定する	4 S
18	リハビリテーション		数字	7	公費1分のリハビリテーション単位数を設定する	4 S
19	精神科専門療法		数字	7	公費1分の精神科専門療法単位数を設定する	4 S
20	予備1		数字	7	未使用	
21	予備2		数字	7	未使用	
22	合計単位数		数字	8	公費1分の合計単位数を設定する	4 S

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
23	公費2	指導管理料等	数字	7	公費2分の指導管理料等の単位数を設定する。	4 S
24		単純エックス線	数字	7	公費2分の単純エックス線単位数を設定する	4 S
25		リハビリテーション	数字	7	公費2分のリハビリテーション単位数を設定する	4 S
26		精神科専門療法	数字	7	公費2分の精神科専門療法単位数を設定する	4 S
27		予備1	数字	7	未使用	
28		予備2	数字	7	未使用	
29		合計単位数	数字	8	公費2分の合計単位数を設定する	4 S
30		公費3	指導管理料等	数字	7	公費3分の指導管理料等の単位数を設定する。
31	単純エックス線		数字	7	公費3分の単純エックス線単位数を設定する	4 S
32	リハビリテーション		数字	7	公費3分のリハビリテーション単位数を設定する	4 S
33	精神科専門療法		数字	7	公費3分の精神科専門療法単位数を設定する	4 S
34	予備1		数字	7	未使用	
35	予備2		数字	7	未使用	
36	合計単位数		数字	8	公費3分の合計単位数を設定する	4 S
37	摘要1		漢字	6	4	摘要を設定する
38	摘要2	漢字	6	4	摘要を設定する	
:	:	:	:	:		
56	摘要20	漢字	6	4	摘要を設定する	

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 特定診療費情報レコード順次番号が99のときのみ設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・特定診療費情報レコード（複数レコード）

サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、以下の項目を設定する。

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1	
2	レコード種別コード	数字	2	04を設定する (特定診療費情報レコード)		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3	
7	特定診療費情報レコード 順次番号	数字	2	本レコードが複数になる場合、01 ～98の順次番号を設定する レコードが1件のみの場合、及び複数レコードの最後レコードには99を設定する		
8	傷病名	漢字	100	傷病名を設定する		
9	識別番号	数字	2	識別番号を設定する	3	
10	単位数	数字	4	単位数を設定する	S	
11	保 険	回数	数字	2	回数を設定する	S
12		サービス単位数	数字	6	対象分のサービス単位数を設定する	S
13		合計単位数	数字	8	保険分の合計単位数を設定する	4 S
14	公 費 1	回数	数字	2	公費1対象分の回数を設定する	S
15		サービス単位数	数字	6	公費1対象分のサービス単位数を設定する	S
16		合計単位数	数字	8	公費1分の合計単位数を設定する	4 S
17	公 費 2	回数	数字	2	公費2対象分の回数を設定する	S
18		サービス単位数	数字	6	公費2対象分のサービス単位数を設定する	S
19		合計単位数	数字	8	公費2分の合計単位数を設定する	4 S
20	公 費 3	回数	数字	2	公費3対象分の回数を設定する	S
21		サービス単位数	数字	6	公費3対象分のサービス単位数を設定する	S
22		合計単位数	数字	8	公費3分の合計単位数を設定する	4 S
23	摘要	漢字	100			

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 特定診療費情報レコード順次番号が99のときのみ設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・ 食事費用情報レコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1	
2	レコード種別コード	数字	2	05を設定する (食事費用情報レコード)		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保険者番号を設定する	3	
7	基本食提供費用	提供日数	数字	2	基本食提供日数を設定する	4 S
8		提供単価	数字	4	基本食提供単価を設定する	4 S
9		提供金額	数字	6	基本食提供金額の合計を設定する	4 S
10	特別食提供費用	提供日数	数字	2	特別食提供日数を設定する	4 S
11		提供単価	数字	4	特別食提供単価を設定する	4 S
12		提供金額	数字	6	特別食提供金額の合計を設定する	4 S
13	食事提供延べ日数	数字	2	食事提供ののべ日数を設定する	S	
14	公費1対象食事提供延べ日数	数字	2	公費1対象分の食事提供の延べ日数を設定する	S	
15	公費2対象食事提供延べ日数	数字	2	公費2対象分の食事提供の延べ日数を設定する	S	
16	公費3対象食事提供延べ日数	数字	2	公費3対象分の食事提供の延べ日数を設定する	S	
17	食事提供費合計	数字	6	食事提供費の合計金額を設定する	S	
18	標準負担額(月額)	数字	5	食事提供費の標準負担額(月額)を設定する	S	
19	食事提供費請求額	数字	6	食事提供費請求額を設定する	S	
20	公費1食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費1請求分を設定する	S	
21	公費2食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費2請求分を設定する	S	
22	公費3食事提供費請求額	数字	6	食事費用の公費3請求分を設定する	S	
23	標準負担額(日額)	数字	4	食事提供費の標準負担額(日額)を設定する	S	

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

3 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

4 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、本項目の設定は不要とする。設定された場合、システムチェックは行わず、省略されたものとみなす。なお、サービス提供年月が平成15年3月以前のサービスについては、

従来通りのチェックを行なう。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、 Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・集計情報レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	1	
2	レコード種別コード	数字	2	10を設定する (集計情報レコード)		
3	サービス提供年月	数字	6	請求対象となるサービス提供年月 (西暦年月(YYYYMM))を設定する	2	
4	事業所番号	数字	10	請求を行ったサービス事業所等の 事業所番号を設定する	3	
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証記載の保険者番号を設定する	3	
6	被保険者番号	英数	10	被保険者証記載の被保険者の被保 険者番号を設定する	3	
7	サービス種類コード	数字	2	集計を行うサービス種類コードを 設定する	3	
8	サービス実日数	数字	2	該当サービス種類の実日数を設定 する	S 5	
9	計画単位数	数字	6	該当サービス種類の計画単位数を 設定する	S	
10	限度額管理対象単位数	数字	6	該当サービス種類の集計限度額管 理対象単位数を設定する	S	
11	限度額管理対象外単位数	数字	6	該当サービス種類の集計限度額管 理対象外単位数を設定する	S	
12	短期入所計画日数	数字	2	入所期間の計画日数を設定する	S	
13	短期入所実日数	数字	2	入所期間中の実入所日数を設定す る	S	
14	保険	単位数合計	数字	8	保険給付対象単位数を設定する	S
15		単位数単価	数字	4	単位数単価を設定する	4 S
16		請求額	数字	9	保険請求額を設定する	S
17		利用者負担額	数字	8	利用者負担額を設定する	S
18	公費 1	単位数合計	数字	6	公費1単位数合計を設定する	S
19		請求額	数字	9	公費1請求額を設定する	S
20		本人負担額	数字	6	公費1本人負担額を設定する	S
21	公費 2	単位数合計	数字	6	公費2単位数合計を設定する	S
22		請求額	数字	9	公費2請求額を設定する	S
23		本人負担額	数字	6	公費2本人負担額を設定する	S
24	公費 3	単位数合計	数字	6	公費3単位数合計を設定する	S
25		請求額	数字	9	公費3請求額を設定する	S
26		本人負担額	数字	6	公費3本人負担額を設定する	S

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
27	保険分出来高医療費	単位数合計	数字	8	緊急時施設療養費の場合保険分緊急時施設療養費点数合計を設定する 特定診療費の場合保険分特定診療費単位数合計を設定する	S
28		請求額	数字	9	緊急時施設療養費の場合緊急時施設療養費請求額を設定する 特定診療費の場合、保険分特定診療費請求額を設定する	S
29		出来高医療費利用者負担額	数字	8	緊急時施設療養費の場合保険分緊急時施設療養費利用者負担額を設定する 特定診療費の場合、保険分特定診療費利用者負担額を設定する	S
30	公費1分出来高医療費	単位数合計	数字	8	緊急時施設療養費の場合公費1分緊急時施設療養費点数合計を設定する 特定診療費の場合、公費1分特定診療費単位数合計を設定する	S
31		請求額	数字	9	緊急時施設療養費の場合公費1分緊急時施設療養費請求額を設定する 特定診療費の場合、公費1分特定診療費請求額を設定する	S
32		出来高医療費本人負担額	数字	8	緊急時施設療養費の場合公費1分緊急時施設療養費本人負担額を設定する 特定診療費の場合、公費1分特定診療費本人負担額を設定する	S

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
33	公費2分出来高医療費	単位数合計	数字	8	緊急時施設療養費の場合 公費2分緊急時施設療養費点数合計を設定する 特定診療費の場合、公費2分特定診療費単位数合計を設定する	S
34		請求額	数字	9	緊急時施設療養費の場合 公費2分緊急時施設療養費請求額を設定する 特定診療費の場合、公費2分特定診療費請求額を設定する	S
35		出来高医療費本人負担額	数字	8	緊急時施設療養費の場合公費2分緊急時施設療養費本人負担額を設定する 特定診療費の場合、公費2分特定診療費本人負担額を設定する	S
36	公費3分出来高医療費	単位数合計	数字	8	緊急時施設療養費の場合 公費3分緊急時施設療養費点数合計を設定する 特定診療費の場合、公費3分特定診療費単位数合計を設定する	S
37		請求額	数字	9	緊急時施設療養費の場合 公費3分緊急時施設療養費請求額を設定する 特定診療費の場合、公費3分特定診療費請求額を設定する	S
38		出来高医療費本人負担額	数字	8	緊急時施設療養費の場合公費3分緊急時施設療養費本人負担額を設定する 特定診療費の場合、公費3分特定診療費本人負担額を設定する	S

1 設定する内容は様式による。様式と交換情報識別番号の対応は P16 を参照のこと。

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「34 コード一覧」参照。(P.106)

4 「35 留意事項：「単位数単価」欄」参照。(P.113)

5 サービス提供年月が平成14年1月以降の短期入所サービスについて、請求明細書様式第三、第四、第五上の短期入所実日数を設定する。なお、サービス提供年月が平成13年12月以前のサービスについて設定があった場合、無視される。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

入力必須項目と様式の対応表

- 様式第二 ... 居宅サービス介護給付費明細書
 (訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・
 居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与)
- 様式第三 ... 居宅サービス介護給付費明細書
 (短期入所生活介護)
- 様式第四 ... 居宅サービス介護給付費明細書
 (介護老人保健施設における短期入所療養介護)
- 様式第五 ... 居宅サービス介護給付費明細書
 (病院または診療所における短期入所療養介護)
- 様式第六 ... 居宅サービス介護給付費明細書
 (痴呆対応型共同生活介護・特定施設入所者生活介護)
- 様式第八 ... 施設介護給付費請求明細書
 (介護老人福祉施設)
- 様式第九 ... 施設介護給付費請求明細書
 (介護老人保健施設)
- 様式第十 ... 施設介護給付費請求明細書
 (介護療養型医療施設)

基本情報レコード										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	公費1 負担者番号									
8		受給者番号								
9	公費2 負担者番号									
10		受給者番号								
11	公費3 負担者番号									
12		受給者番号								

項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
13	被保険者情報	生年月日								
14		性別コード								
15		要介護状態区分コード								
16		旧措置入所者特例								
17		認定有効期間開始年月日								
18		認定有効期間終了年月日								
19	計画 居宅サービス	居宅サービス計画作成区分コード								
20		事業所番号 (居宅介護支援事業所)								
21	開始年月日									
22	中止年月日									
23	中止理由コード									
24	入所(院)年月日			*1	*1	*1				
25	退所(院)年月日			*1	*1	*1				
26	入所(院)実日数									
27	外泊日数									
28	退所(院)後の状態コード									
29	保険給付率									
30	公費1給付率									
31	公費2給付率									
32	公費3給付率									
33	合計情報	保険	サービス単位数							
34			請求額							
35			利用者負担額							
36			緊急時施設療養費請求額							
37			特定診療費請求額							

項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考				
38	公費1 食事提供費請求額													
39		公費1 サービス単位数												
40			公費1 請求額											
41				公費1 本人負担額										
42					公費1 緊急時施設療養費請求額									
43						公費1 特定診療費請求額								
44							公費1 食事提供費請求額							
45	公費2 サービス単位数													
46		公費2 請求額												
47			公費2 本人負担額											
48				公費2 緊急時施設療養費請求額										
49					公費2 特定診療費請求額									
50						公費2 食事提供費請求額								
51							公費3 サービス単位数							
52	公費3 請求額													
53		公費3 本人負担額												
54			公費3 緊急時施設療養費請求額											
55				公費3 特定診療費請求額										
56					公費3 食事提供費請求額									

*1 サービス提供年月が平成14年1月以降のサービスについて、凡例に従い、入力必須もしくは請求内容により入力を必須とするよう変更する。なお、サービス提供年月が平成13年12月以前のサービスについて設定があった場合、無視される。

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

明細情報レコード(複数レコード)										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	サービス種類コード									
8	サービス項目コード									
9	単位数									
10	日数・回数									
11	公費1対象日数・回数									
12	公費2対象日数・回数									
13	公費3対象日数・回数									
14	サービス単位数									
15	公費1対象サービス単位数									
16	公費2対象サービス単位数									
17	公費3対象サービス単位数									
18	摘要									

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

緊急時施設療養情報レコード(複数レコード)										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	緊急時施設療養情報 レコード順次番号									
8	緊急時傷病名1									
9	緊急時傷病名2									
10	緊急時傷病名3									
11	緊急時治療開始年月 日1									
12	緊急時治療開始年月 日2									
13	緊急時治療開始年月 日3									
14	往診日数									
15	往診医療機関名									
16	通院日数									
17	通院医療機関名									
18	緊急時治療管理単位 数									
19	緊急時治療管理日数									
20	緊急時治療管理小計									
21	リハビリテーション点数									
22	処置点数									
23	手術点数									
24	麻酔点数									
25	放射線治療点数									

項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
2 6	摘要 1									
2 7	摘要 2									
:	:									
4 5	摘要 2 0									
4 6	緊急時施設療養費合計点数									

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

特定診療費情報レコード(複数レコード)										
サービス提供年月が平成15年3月以前の場合、以下の項目を設定する。										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	特定診療費情報レコード順次番号									
8	傷病名									
9	保険	指導管理料等								
10		単純イクス線								
11		リハビリテーション								
12		精神科専門療法								
13		予備1								
14		予備2								
15		合計単位数								
16		公費1	指導管理料等							
17	単純イクス線									
18	リハビリテーション									
19	精神科専門療法									
20	予備1									
21	予備2									
22	合計単位数									

項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
2 3	公費 2	指導管理料等								
2 4		単純イックス線								
2 5		リハビリテーション								
2 6		精神科専門療法								
2 7		予備 1								
2 8		予備 2								
2 9		合計単位数								
3 0	公費 3	指導管理料等								
3 1		単純イックス線								
3 2		リハビリテーション								
3 3		精神科専門療法								
3 4		予備 1								
3 5		予備 2								
3 6		合計単位数								
3 7	摘要 1									
3 8	摘要 2									
:	:									
5 6	摘要 2 0									

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

特定診療費情報レコード(複数レコード)										
サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、以下の項目を設定する。										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	特定診療費情報レコード順次番号									
8	傷病名									
9	識別番号									
10	単位数									
11	保険	回数								
12		サービス単位数								
13		合計単位数								
14	公費1	回数								
15		サービス単位数								
16		合計単位数								
17	公費2	回数								
18		サービス単位数								
19		合計単位数								
20	公費3	回数								
21		サービス単位数								
22		合計単位数								
23	摘要									

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

食事費用情報レコード										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	費用 基本食提供	提供日数					1	1	1	
8		提供単価					1	1	1	
9		提供金額					1	1	1	
10	費用 特別食提供	提供日数					1	1	1	
11		提供単価					1	1	1	
12		提供金額					1	1	1	
13	食事提供延べ日数									
14	公費1対象食事提供延べ日数									
15	公費2対象食事提供延べ日数									
16	公費3対象食事提供延べ日数									
17	食事提供費合計									
18	標準負担額(月額)									
19	食事提供費請求額									
20	公費1食事提供費請求額									
21	公費2食事提供費請求額									
22	公費3食事提供費請求額									
23	標準負担額(日額)									

1 サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、本項目の設定は不要とする。設定された場合、システムチェックは行なわず、省略されたものとみなす。なお、サービス提供年月が平成15年3月以前のサービスについては、従来通り(請求内容により設定する項目)とする。

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

集計情報レコード(複数レコード)										
項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号									
2	レコード種別コード									
3	サービス提供年月									
4	事業所番号									
5	証記載保険者番号									
6	被保険者番号									
7	サービス種類コード		21 固定	22 固定	23 固定	*1	51 固定	52 固定	53 固定	
8	サービス実日数		*2	*2	*2					
9	計画単位数		*2	*2	*2					
10	限度額管理対象単位数		*2	*2	*2					
11	限度額管理対象外単位数		*2	*2	*2					
12	短期入所計画日数		*3	*3	*3					
13	短期入所実日数		*3	*3	*3					
14	保険	単位数合計								
15		単位数単価								
16		請求額								
17	利用者負担額									
18	公費1	単位数合計								
19		請求額								
20		本人負担額								
21	公費2	単位数合計								
22		請求額								
23		本人負担額								
24	公費3	単位数合計								
25		請求額								
26		本人負担額								

項番	項目名	様式第二	様式第三	様式第四	様式第五	様式第六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
27	保険分出来高医療費	単位数合計								
28		請求額								
29		出来高医療費利用者負担額								
30	公費1分出来高医療費	単位数合計								
31		請求額								
32		出来高医療費本人負担額								
33	公費2分出来高医療費	単位数合計								
34		請求額								
35		出来高医療費本人負担額								
36	公費3分出来高医療費	単位数合計								
37		請求額								
38		出来高医療費本人負担額								

*1 痴呆対応型共同生活介護の場合32固定とする。特定施設入所者生活介護の場合33固定とする。

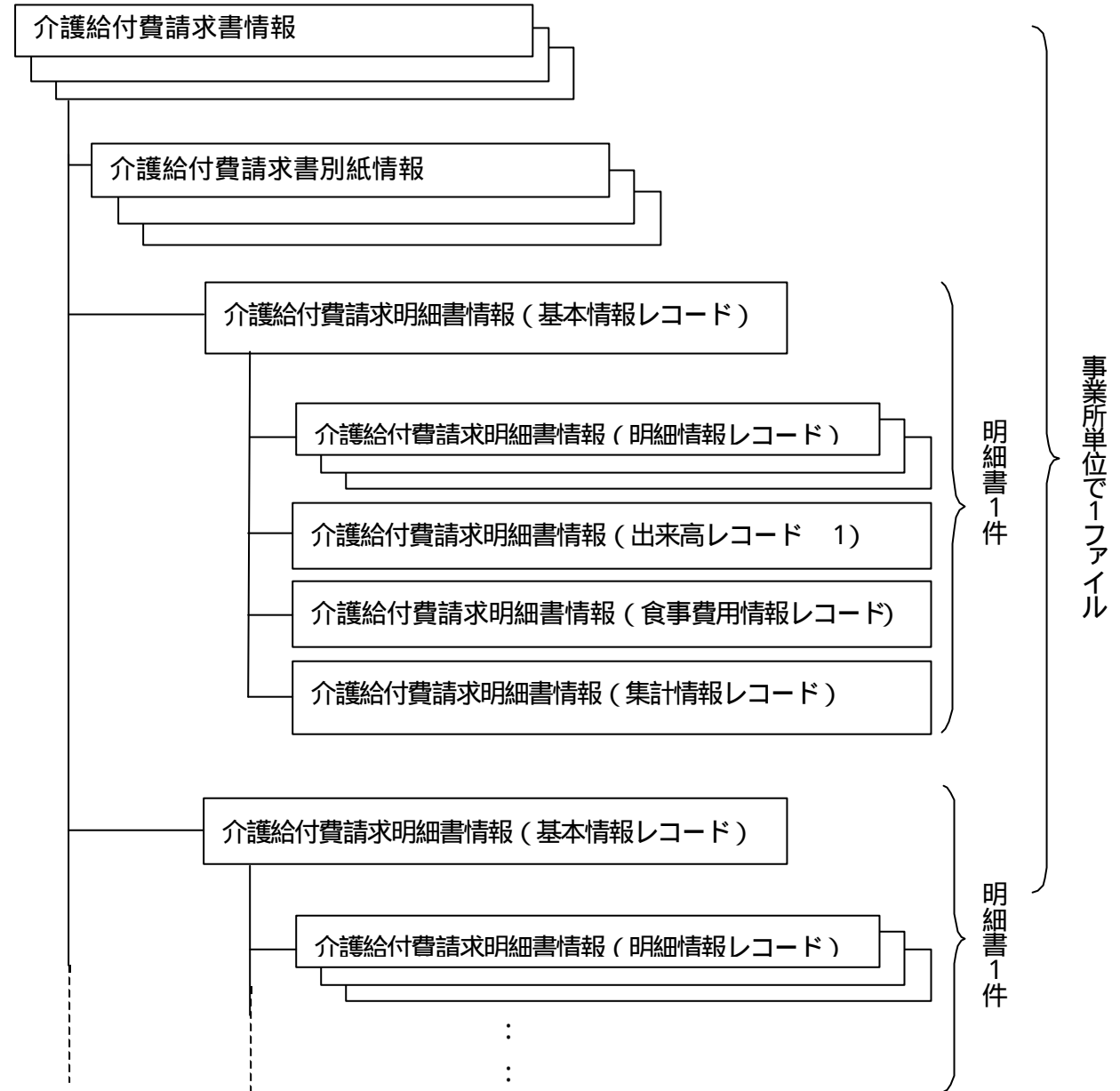
*2 サービス提供年月が平成14年1月以降の短期入所サービスについて、入力を必須とする。なお、サービス提供年月が平成13年12月以前のサービスについて設定があった場合、無視される。

*3 サービス提供年月が平成14年1月以降の短期入所サービスについて、入力を設定不要とする。設定があった場合には、無視される。なお、サービス提供年月が平成13年12月以前のサービスについては、従来通り(設定必須)とする。

凡例 ...必須項目 ...請求内容により設定する項目 空白...設定不要

レコード構成図

レコードの編綴（ファイル内の格納順序）



1 出来高レコードは、介護老人保健施設の場合、緊急時療養費情報レコードを指し、介護療養型医療施設の場合、特定診療費情報レコードのことを指す。

2.3.2 再審査・過誤申立情報

(1) 介護給付費再審査申立書情報

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	介護給付費再審査申立書の識別番号を設定する		5
2	申立年月日	数字	8	再審査の申立年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する		1
3	申立者区分コード	英数	1	申立者の区分コードを設定する		2
4	事業所番号	数字	10	事業所番号を設定する サービス事業所等申立の場合は、申立事業所番号 保険者申立の場合はサービス提供事業所番号		2
5	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号を設定する。 サービス事業所等申立の場合は、被保険者の所属する保険者番号 保険者申立の場合は申立保険者番号		2
6	被保険者番号	英数	10	再審査申立の対象となる被保険者番号を設定する		2
7	サービス提供年月	数字	6	再審査申立の対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する		3
8	サービス種類コード	数字	2	申立対象となるサービスのサービス種類コードを設定する		2
9	サービス項目コード	数字	4	申立対象となるサービスのサービス項目コードを設定する 特定診療費の場合は、識別番号を設定する		2 6
10	申立単位数	数字	8	申立単位数を設定する		S
11	再審査申立事由コード	英数	4	再審査申立の事由コードを設定する		2 4

1 「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

2 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

3 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

4 再審査の申立事由は、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

5 交換情報識別番号の対応は P17 を参照のこと。

6 識別番号を設定する場合は、上2桁に“00”を付与して設定する。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

2.3.3 増減単位数返戻通知情報

(1) 介護保険審査決定増減表情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7211”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1”固定	
3	事業所番号	数字	10	サービス事業所の事業所番号を出力する	4
4	事業所名	漢字	40	サービス事業所名を出力する	
5	審査年月	数字	6	審査年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	2
6	作成年月日	数字	8	作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	3
7	頁	数字	9	“1”固定	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	

1 欠番

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「35 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

4 「34 コード一覧」参照。(P.106)

・明細レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7211”固定	
2	帳票レコード種別	英数	2	“D1”固定		
3	保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号を出力する	2	
4	サービス提供年月	数字	6	審査対象となったサービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を出力する	1	
5	返戻	件数（介護）	数字	6	介護の返戻の件数を出力する	S
6		件数（食事）	数字	6	食事の返戻の件数（内数）を出力する	S
7		単位数（介護）	数字	9	介護の返戻の単位数を出力する	S
8		食事提供費	数字	9	食事提供費の返戻を出力する	S
9	査定増減	件数（介護）	数字	6	介護の査定増減の件数を出力する	S
10		件数（食事）	数字	6	食事の査定増減の件数（内数）を出力する	S
11		単位数（介護）	数字	10	介護の査定増減の単位数を出力する	S
12		食事提供費	数字	10	食事提供費の査定増減を出力する	S
13	保留分	件数（介護）	数字	6	介護の保留分の件数を出力する	S
14		件数（食事）	数字	6	食事の保留分の件数（内数）を出力する	S
15		単位数（介護）	数字	9	介護の保留分の単位数を出力する	S
16		食事提供費	数字	9	食事提供費の保留分を出力する	S
17	保留復活分	件数（介護）	数字	6	介護の保留復活分の件数を出力する	S
18		件数（食事）	数字	6	食事の保留復活分の件数（内数）を出力する	S
19		単位数（介護）	数字	9	介護の保留復活分の単位数を出力する	S
20		食事提供費	数字	9	食事提供費の保留復活分を出力する	S

1 「35 留意事項：「年月」欄」参照。（P.113）

2 「34 コード一覧」参照。（P.106）

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・トレーレコード

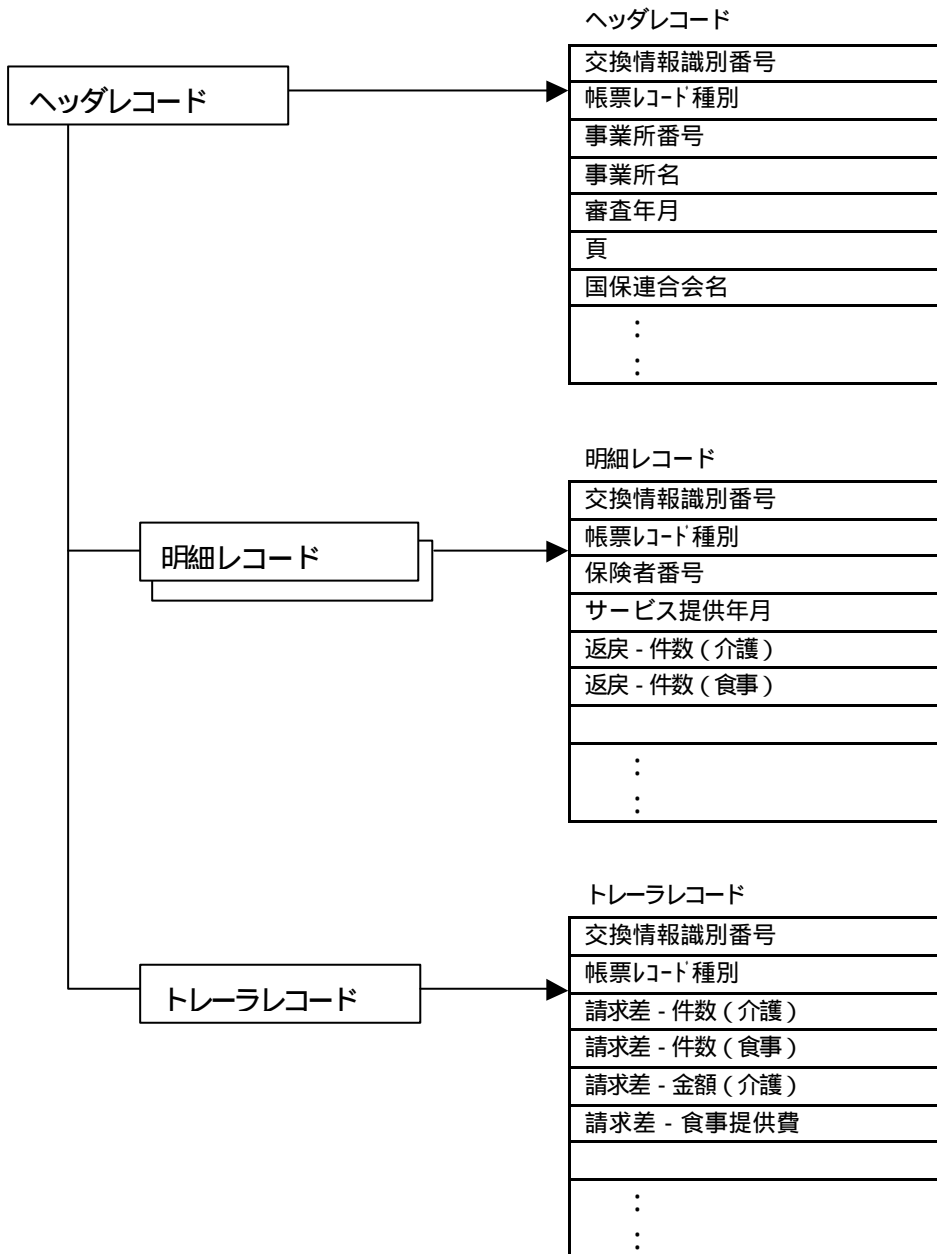
項番	項目名		属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号		英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7211”固定
2	帳票レコード種別		英数	2	“T1”固定	
3	請求差	件数（介護）	数字	6	介護の請求差のサービス事業所の合計件数を出力する	S
4		件数（食事）	数字	6	食事の請求差のサービス事業所の合計件数（内数）を出力する	S
5		金額（介護）	数字	9	介護の請求差のサービス事業所の合計金額を出力する	S
6		食事提供費	数字	9	食事提供費のサービス事業所の合計請求差を出力する	S
7	返戻	件数（介護）	数字	6	介護の返戻のサービス事業所の合計件数を出力する	S
8		件数（食事）	数字	6	食事の返戻のサービス事業所の合計件数（内数）を出力する	S
9		単位数（介護）	数字	9	介護の返戻のサービス事業所の合計単位数を出力する	S
10		食事提供費	数字	9	食事提供費のサービス事業所の合計返戻を出力する	S
11	査定増減	件数（介護）	数字	6	介護の査定増減のサービス事業所の合計件数を出力する	S
12		件数（食事）	数字	6	食事の査定増減のサービス事業所の合計件数（内数）を出力する	S
13		単位数（介護）	数字	10	介護の査定増減のサービス事業所の合計単位数を出力する	S
14		食事提供費	数字	10	食事提供費のサービス事業所の合計査定増減を出力する	S
15	保留分	件数（介護）	数字	6	介護の保留分のサービス事業所の合計件数を出力する	S
16		件数（食事）	数字	6	食事の保留分のサービス事業所の合計件数（内数）を出力する	S
17		単位数（介護）	数字	9	介護の保留分のサービス事業所の合計単位数を出力する	S
18		食事提供費	数字	9	食事提供費のサービス事業所の合計保留分を出力する	S
19	保留復活分	件数（介護）	数字	6	介護の保留復活分のサービス事業所の合計件数を出力する	S
20		件数（食事）	数字	6	食事の保留復活分のサービス事業所の合計件数（内数）を出力する	S
21		単位数（介護）	数字	9	介護の保留復活分のサービス事業所の合計単位数を出力する	S
22		食事提供費	数字	9	食事提供費のサービス事業所の合計保留復活分を出力する	S

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護保険審査決定増減表情報



(2) 介護保険審査増減単位数通知書情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7311”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1”固定	
3	事業所番号	数字	10	サービス事業所の事業所番号を出力する	3
4	事業所名	漢字	40	サービス事業所名を出力する	
5	審査年月	数字	6	審査を行った審査年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	1
6	作成年月日	数字	8	作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	2
7	頁	数字	5	“1”固定	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	
9	委員会名	漢字	30	委員会名を出力する	
10	連絡事項	漢字	1024	サービス事業所等への連絡事項を出力する	

1 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

2 「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

3 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

・明細レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7311”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“D1”固定	
3	保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号又は公費負担者番号を出力する	2
4	被保険者番号	英数	10	対象となる被保険者番号を出力する	2
5	被保険者カナ氏名	英数	25	対象となる被保険者カナ氏名（半角カタカナ）を出力する	半角カタカナ
6	サービス提供年月	数字	6	サービスを行ったサービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を出力する	1
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを出力する	2
8	サービス項目コード	数字	4	サービス項目コードを出力する	2
9	増減単位数	数字	10	対象となったサービスに対する増減単位数を出力する（被保険者番号・サービス提供年月・サービス種類コードが同じ場合、最後の行に増減単位数を出力する）	S
10	事由（査定事由）	英数	1	査定事由記号を出力する	3
11	内容1（査定事由）	漢字	48	査定事由記号の内容を出力する	
12	内容2（査定事由）	漢字	48	増減単位数の根拠を出力する “確定単位数（XXXXX単位）請求単位数（XXXXX単位）”	

1 「35 留意事項：「年月」欄」参照。（P.113）

2 「34 コード一覧」参照。（P.106）

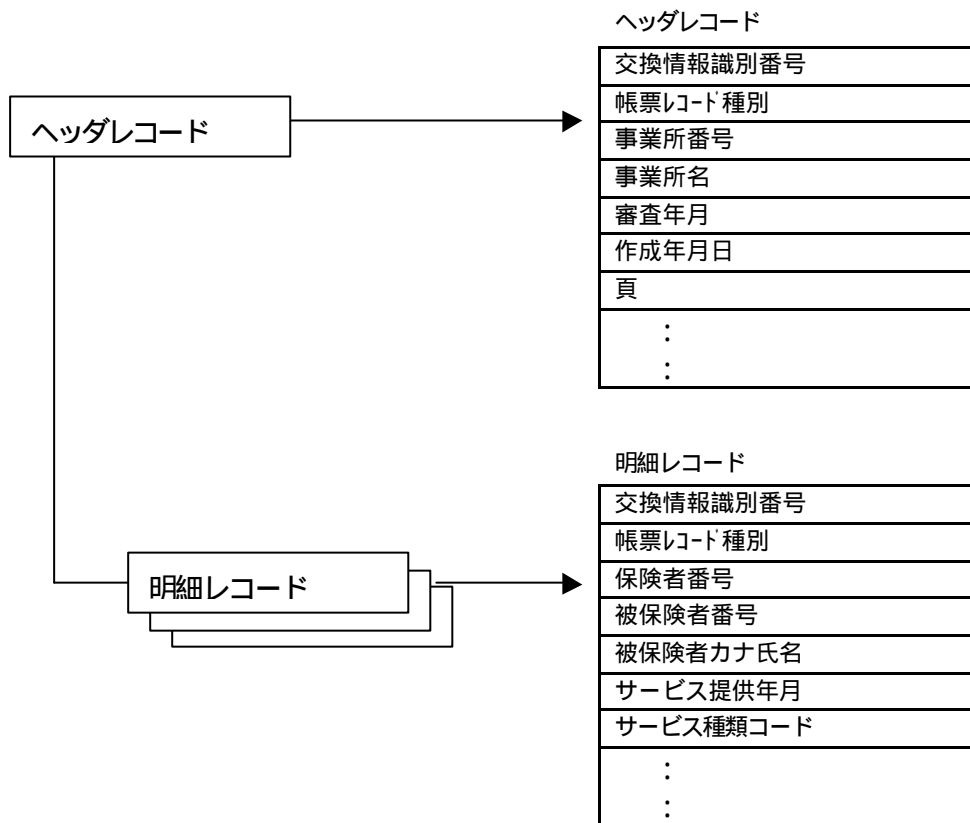
3 事由は、1桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。なお、内容については、審査及び統計の要件により定める。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護保険審査増減単位数通知書情報



(3) 請求明細書・給付管理票返戻(保留)一覧表情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7411”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1”固定	
3	事業所(保険者)番号	数字	10	サービス事業所の事業所番号を出力する	3
4	事業所(保険者)名	漢字	40	サービス事業所名を出力する	
5	審査年月	数字	6	審査を実施した審査年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	1
6	作成年月日	数字	8	作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	2
7	頁	数字	5	“1”固定	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名	

- 1 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)
- 2 「3.5 留意事項:「年月日」欄」参照。(P.113)
- 3 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

・明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	“7411”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“D1”固定	
3	保険者(事業所)番号	数字	10	被保険者証に記載された保険者番号又は公費負担者番号を出力する	2
4	保険者(事業所)名	漢字	40	被保険者証に記載された保険者名又は公費負担者名を出力する	
5	被保険者番号	英数	10	被保険者番号を出力する	2
6	被保険者カナ氏名	英数	25	被保険者カナ氏名(半角カタカナ)を出力する	半角カタカナ
7	種別(明細書)	漢字	2	種別を出力する サ:サービス計画費請求明細書 請:請求明細書 給:給付管理票	
8	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	1
9	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを出力する	2
10	単位数	数字	8	単位数を出力する	S
11	事由(返戻事由)	英数	1	返戻事由記号を出力する	3
12	内容(返戻事由)	漢字	60	返戻事由記号の内容を出力する	
13	備考(保留区分)	漢字	4	保留区分が「保留」のとき、「保留」を出力する	

1 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

2 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

3 事由は、1桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。なお、内容については以下の通りとする。

A:一次チェックでエラーのあるもの

B:受給者・事業所の資格チェックでエラーのあるもの

C:請求明細書に対する給付管理票と突合不一致のもの、又は、査定でエラーのあるもの

D:サービス計画費に対する給付管理票が未提出のもの

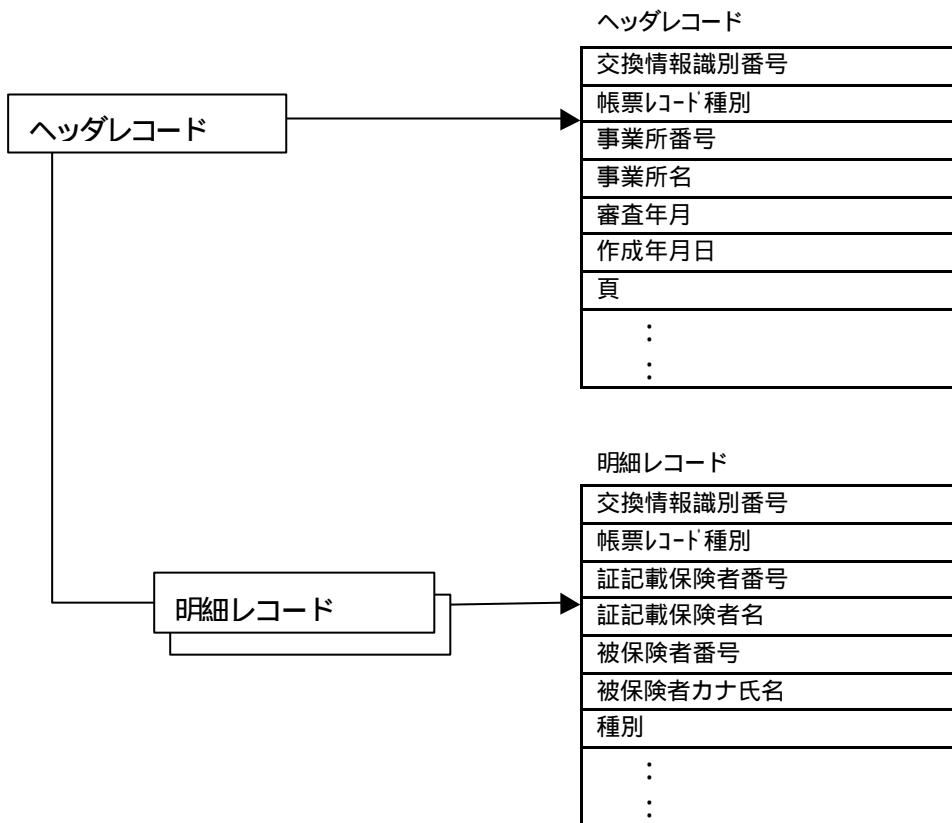
E:審査委員会の判定により却下、又は、時効により却下

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

請求明細書・給付管理票返戻(保留)一覧表情報



2.3.4 支払通知情報

(1) 介護給付費支払決定額通知書情報

・明細レコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	"7511"固定
2	帳票レコード種別	英数	2	"H1"固定	
3	審査年月	数字	6	支払対象となるサービス審査年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	1
4	郵便番号(3桁)	数字	3	支払を受けるサービス事業所等の郵便番号(上位3桁)を出力する	
5	郵便番号(4桁)	数字	4	支払を受けるサービス事業所等の郵便番号(下位4桁)を出力する	
6	住所	漢字	128	支払を受けるサービス事業所等の住所を出力する	
7	事業所名	漢字	40	支払を受けるサービス事業所等の事業所名を出力する	
8	開設者氏名	漢字	40	支払を受けるサービス事業所等の開設者氏名を出力する	
9	事業所番号	数字	10	支払を受けるサービス事業所等の事業所番号を出力する	2
10	振込金額	数字	12	支払決定金額を出力する	S
11	介護給付費支払額	数字	12	介護給付費支払額を出力する	S
12	主治医意見書作成料	数字	12	主治医意見書作成料を出力する	S
13	主治医意見書作成料消費税	数字	12	主治医意見書作成料の消費税を出力する	S
14	認定調査費委託料	数字	12	認定調査費委託料を出力する	S
15	認定調査費委託料消費税	数字	12	認定調査費委託料の消費税を出力する	S
16	合計金額	数字	12	支払決定金額の合計を出力する	S
17	金融機関名	漢字	28	支払を受けるサービス事業所等の金融機関名を出力する	
18	金融機関支店名	漢字	28	支払を受けるサービス事業所等の金融機関支店名を出力する	
19	作成年月日	数字	8	金融機関への振込日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	3
20	国保連合会名	漢字	30	支払を行なう国保連合会の連合会名を出力する	

1 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

2 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

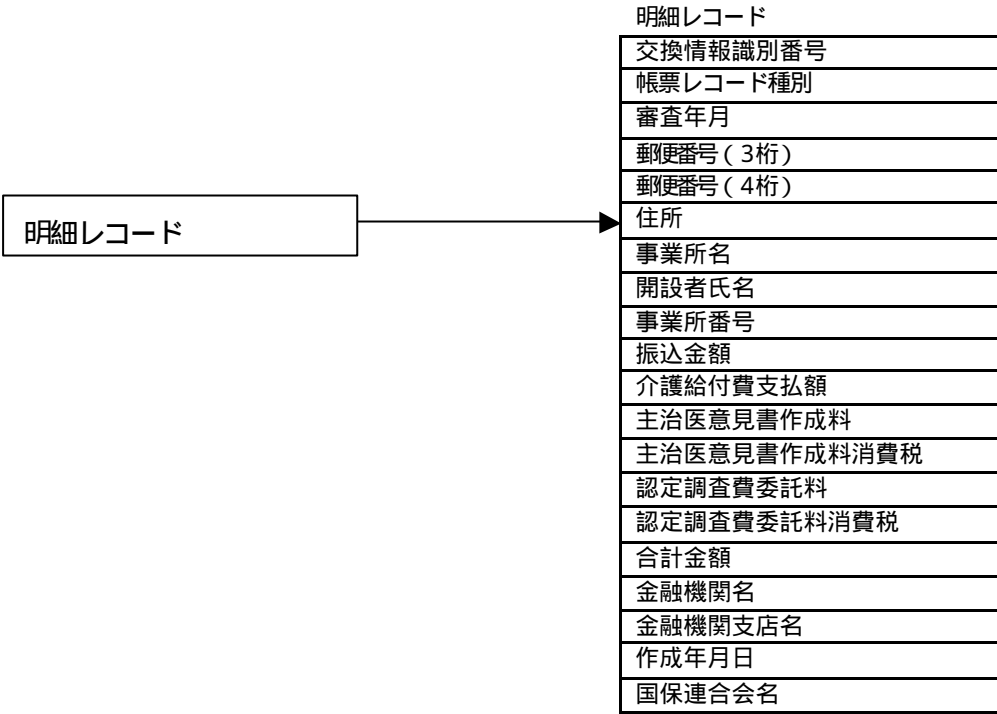
3 「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護給付費支払決定額通知書情報



(2) 介護給付費支払決定額内訳書情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7521”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1” 固定	
3	事業所番号	数字	1 0	サービス事業所の事業所番号を出力する	1
4	事業所名	漢字	4 0	サービス事業所の事業所名を出力する	
5	審査年月	数字	6	審査年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	2
6	作成年月日	数字	8	作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	3
7	頁	数字	5	“1” 固定	
8	国保連合会名	漢字	3 0	国保連合会名を出力する	

1 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

2 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

3 「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)

・明細レコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	"7521"固定
2	帳票レコード種別	英数	2	"D1" 固定	
3	保険者番号（公費負担者）	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号又は公費負担者番号を出力する	1
4	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を出力する	2
5	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを出力する	1
6	サービス種類名	漢字	2 4	サービス種類名を出力する	
7	介護サービス件数	数字	6	介護サービス費の件数を出力する	S
8	介護サービス日数	数字	8	介護サービス費の日数を出力する	S
9	介護サービス単位数	数字	1 1	介護サービス費の単位数を出力する	S
1 0	介護サービス金額	数字	1 2	介護サービス費の金額を出力する	S
1 1	介護給付費	数字	1 2	介護サービス費の保険者負担金額を出力する	S
1 2	食事提供件数	数字	6	食事提供費の件数を出力する	S
1 3	食事提供回数	数字	8	食事提供費の回数を出力する	S
1 4	食事提供費	数字	1 2	食事提供費の金額を出力する	S
1 5	介護給付費（食事提供費負担額）	数字	1 2	食事提供費の保険者負担額を出力する	S

1 「34 コード一覧」参照。(P.106)

2 「35 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・トレーラレコード1

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	"7521"固定
2	帳票レコード種別	英数	2	"T1" 固定	
3	介護サービス件数	数字	6	明細レコードの介護サービス件数の合計を出力する	S
4	介護サービス日数	数字	8	明細レコードの介護サービス日数の合計を出力する	S
5	介護サービス単位数	数字	11	明細レコードの介護サービス単位数の合計を出力する	S
6	介護サービス金額	数字	12	明細レコードの介護サービス金額の合計を出力する	S
7	保険者介護給付費負担額	数字	12	明細レコードの保険者介護サービス費の合計を出力する	S
8	食事提供件数	数字	6	明細レコードの食事提供件数の合計を出力する	S
9	食事提供回数	数字	8	明細レコードの食事提供回数の合計を出力する	S
10	食事提供費	数字	12	明細レコードの食事提供費の合計を出力する	S
11	保険者食事提供費負担額	数字	12	明細レコードの介護給付費（食事提供費負担額）の合計を出力する	S

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・トレーラレコード2

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	"7521"固定
2	帳票レコード種別	英数	2	"T2" 固定	
3	介護サービス件数	数字	6	介護サービス費の過誤調整件数を出力する	S
4	介護サービス日数	数字	8	介護サービス費の過誤調整日数を出力する	S
5	介護サービス単位数	数字	12	介護サービス費の過誤調整単位数を出力する	S
6	介護サービス金額	数字	13	介護サービス費の過誤調整金額を出力する	S
7	保険者介護給付費負担額	数字	13	介護サービス費の保険者負担過誤調整額を出力する	S
8	食事提供件数	数字	6	食事提供費の過誤調整件数を出力する	S
9	食事提供回数	数字	8	食事提供費の過誤調整回数を出力する	S
10	食事提供費	数字	13	食事提供費の過誤調整金額を出力する	S
11	保険者食事提供費負担額	数字	13	食事提供費の保険者負担過誤調整額を出力する	S

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、 Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・トレーラレコード3

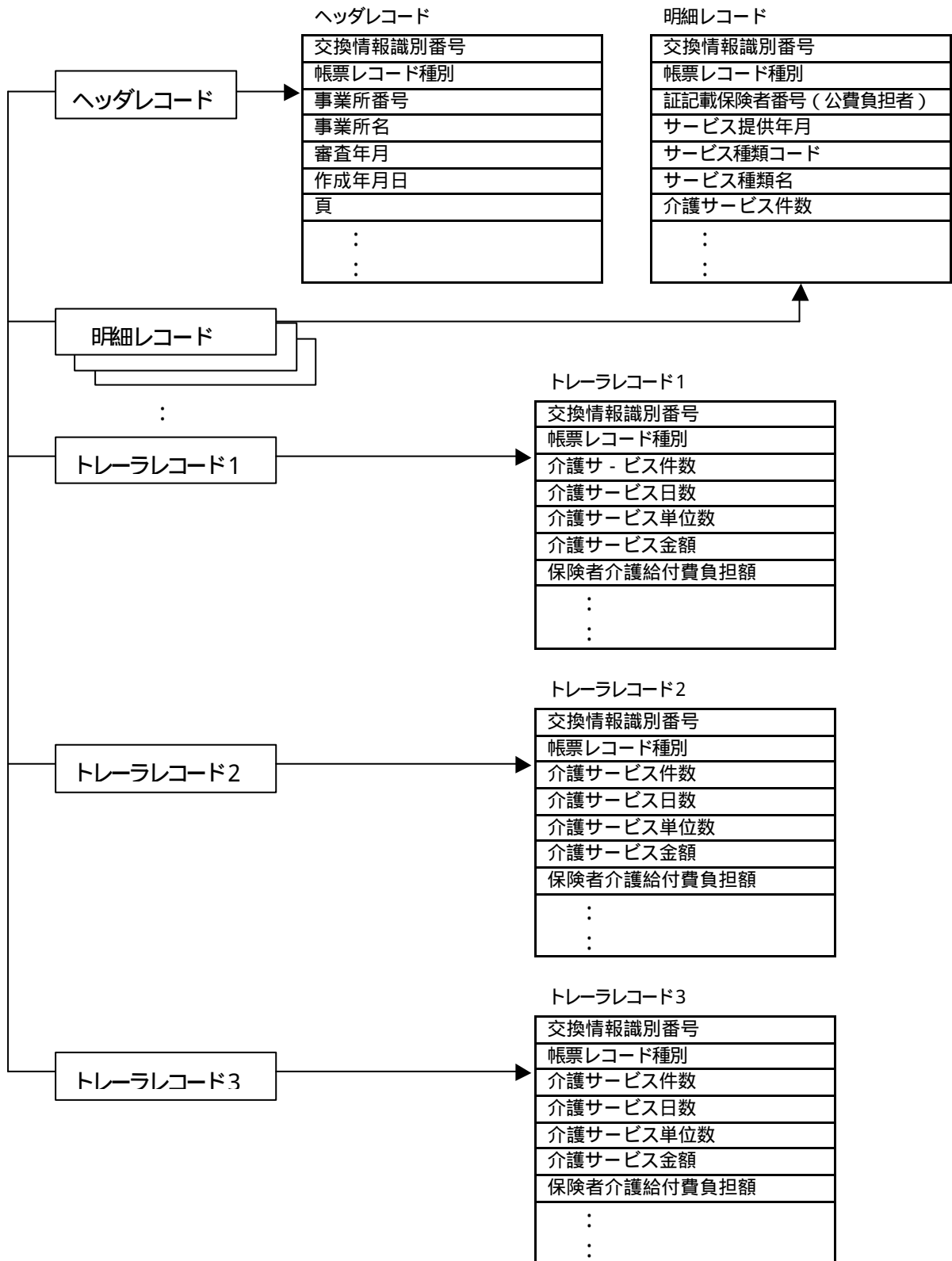
項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	"7521"固定
2	帳票レコード種別	英数	2	"T3" 固定	
3	介護サービス件数	数字	6	介護サービス費の支払決定件数を出力する (合計から過誤調整を引いた値)	S
4	介護サービス日数	数字	8	介護サービス費の支払決定日数を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
5	介護サービス単位数	数字	12	介護サービス費の支払決定単位数を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
6	介護サービス金額	数字	13	介護サービス費の支払決定金額を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
7	保険者介護給付費負担額	数字	13	保険者負担分の支払決定介護給付費を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
8	食事提供件数	数字	6	食事提供費の支払決定件数を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
9	食事提供回数	数字	8	食事提供費の支払決定回数を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
10	食事提供費	数字	13	食事提供費を支払決定金額出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S
11	保険者食事提供費負担額	数字	13	保険者負担分の支払決定食事提供費負担額を出力する(合計から過誤調整を引いた値)	S

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護給付費支払決定額内訳書情報



(3) 介護給付費過誤決定通知書情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7611”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1”固定	
3	取扱年月	数字	6	取扱年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	1
4	事業所番号	数字	10	介護給付費再審査決定通知の対象となるサービス事業所等の事業所番号を出力する	3
5	事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6	作成年月日	数字	8	データの作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	2
7	頁	数字	5	“1”固定	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	

- 1 「3.5 留意事項：「年月」欄」参照。(P.113)
- 2 「3.5 留意事項：「年月日」欄」参照。(P.113)
- 3 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

・明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7611”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“D1”固定	
3	証記載保険者番号	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号を出力する	1
4	保険者名	漢字	20	被保険者証に記載された保険者名を出力する	
5	被保険者番号	英数	10	被保険者番号を出力する	1
6	被保険者氏名	英数	25	被保険者カナ氏名を出力する	
7	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	2
8	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを出力する	1
9	サービス種類名	漢字	24	サービス種類名を出力する	
10	過誤申立事由コード	数字	4	過誤申立事由コードを出力する	1 3
11	過誤申立事由	漢字	28	過誤申立事由を出力する	
12	単位数	数字	13	単位数を出力する	S
13	保険者負担額	数字	13	保険者負担額を出力する	S

1 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

2 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

3 過誤の申立事由は、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・集計レコード

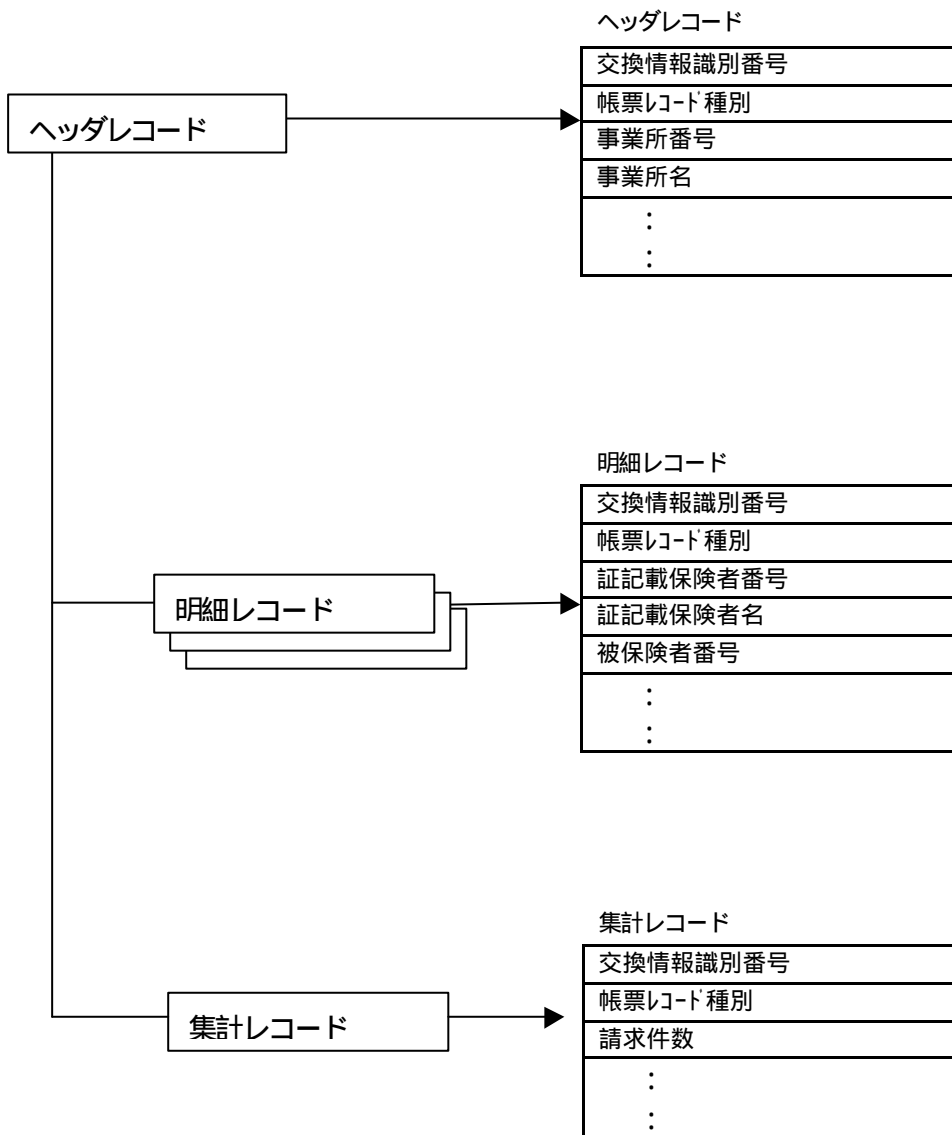
項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7611”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“T1”固定	
3	件数	数字	6	過誤件数を出力する	S
4	単位数	数字	13	過誤調整を行った単位数の合計を出力する	S
5	保険者負担額	数字	13	過誤調整を行ったサービスの保険者負担額の合計額を出力する	S
6	件数	数字	6	食事提供費の過誤件数を出力する	S
7	食事提供費	数字	13	過誤調整を行った食事提供費の合計を出力する	S
8	保険者負担額	数字	13	過誤調整を行った食事提供費の保険者負担額の合計額を出力する	S

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護給付費過誤決定通知書情報



(4) 介護給付費再審査決定通知書情報

・ヘッダレコード

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7621”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“H1”固定	
3	取扱年月	数字	6	取扱年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	2
4	事業所番号	数字	10	介護給付費再審査決定通知の対象となるサービス事業所等の事業所番号を出力する	1
5	事業所名	漢字	40	サービス事業所等の事業所名を出力する	
6	作成年月日	数字	8	データの作成年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	3
7	頁	数字	5	“1”固定	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	
9	審査委員会名	漢字	30	審査委員会名を出力する	

1 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

2 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

3 「3.5 留意事項:「年月日」欄」参照。(P.113)

・明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7621”固定
2	帳票レコード種別	英数	2	“D1”固定	
3	証記載保険者番号(公費負担者番号)	数字	8	被保険者証に記載された保険者番号又は公費負担者番号を出力する	1
4	証記載保険者名(公費負担者名)	漢字	20	被保険者証に記載された保険者名又は公費負担者名を出力する	1
5	被保険者番号	英数	10	被保険者番号を出力する	1
6	被保険者氏名	英数	25	被保険者氏名を出力する	半角カタカナ
7	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	2
8	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを出力する	1
9	サービス種類名	漢字	24	サービス種類名を出力する	
10	再審査申立事由コード	数字	4	再審査申立事由コードを出力する	1
11	再審査申立事由	漢字	24	再審査申立事由を出力する	
12	再審査結果コード	英数	2	再審査結果コードを出力する	3
13	当初請求単位数	数字	12	当初請求単位数を出力する	S
14	原審単位数	数字	12	原審時の決定単位数を出力する	S
15	申立単位数	数字	12	申立単位数を出力する	S
16	決定単位数	数字	12	決定単位数を出力する	S
17	調整単位数	数字	13	調整単位数を出力する	S
18	保険者負担額	数字	13	保険者負担額を出力する	S

1 「3.4 コード一覧」参照。(P.106)

2 「3.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.113)

3 再審査の結果コードは、2桁の英数字属性のコードである。なお、内容については、以下の通りとする。

01: 原審の決定通りとする

02: 再審査の結果、全部増点とする

03: 再審査の結果、全部減点とする

04: 再審査の結果、一部増点とする

05: 再審査の結果、一部減点とする

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

・集計レコード

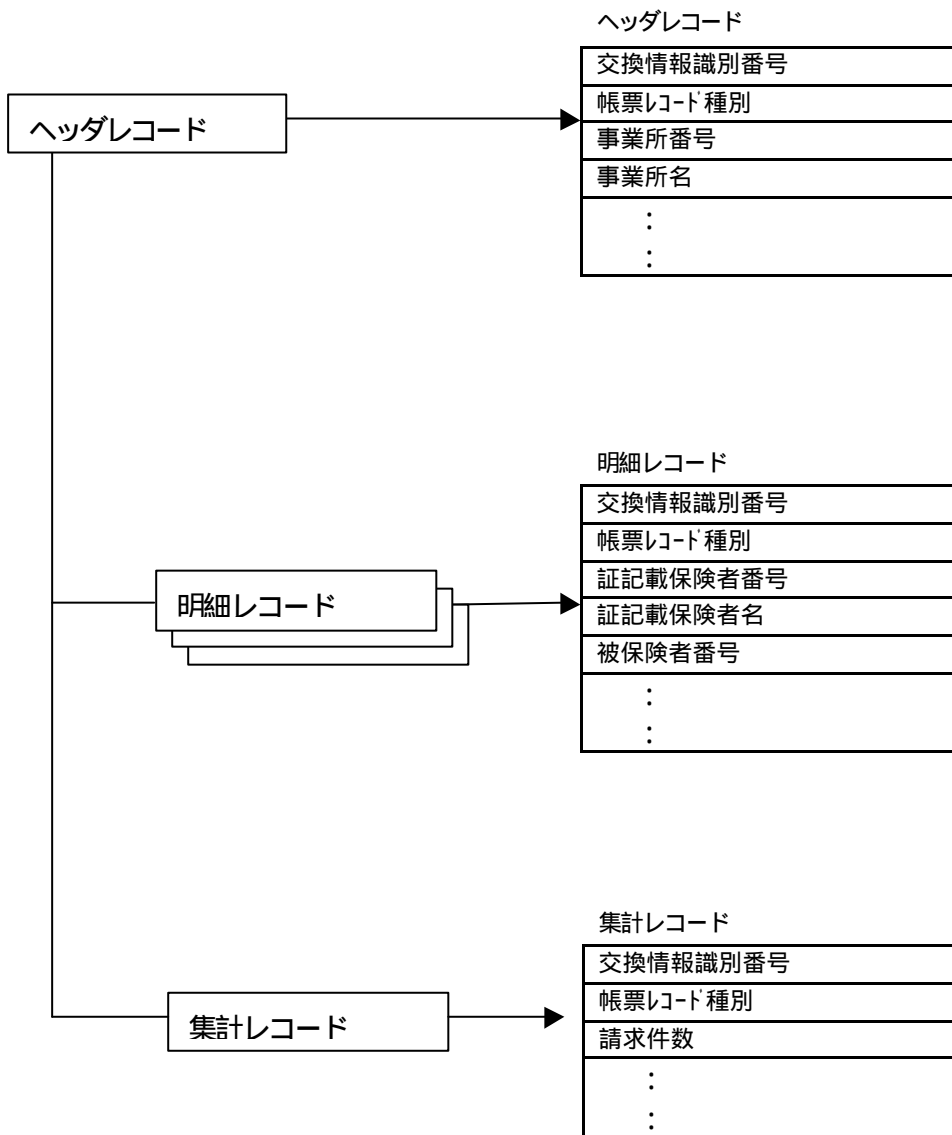
項番	項目名		属性	桁数	内容	備考	
1	交換情報識別番号		英数	4	交換情報識別番号を出力する	“7621”固定	
2	帳票レコード種別		英数	2	“T1”固定		
3	介護給付費	請求	件数	数字	6	再審査請求を行った件数を出力する	S
4			単位数	数字	12	再審査請求を行った単位数の合計を出力する。	S
5			保険者負担額	数字	12	再審査請求を行ったサービスの保険者負担額の合計額を出力する	S
6		決定	件数	数字	6	決定した件数を出力する	S
7			単位数	数字	12	決定した単位数の合計を出力する	S
8			保険者負担額	数字	12	決定した保険者負担額の合計額を出力する	S
9		調整	件数	数字	6	調整件数を出力する	S
10			単位数	数字	13	調整単位数の合計を出力する	S
11			保険者負担額	数字	13	保険者負担額の合計調整額を出力する	S
12	高額介護サービス費	請求	件数	数字	6	未使用	
13			単位数	数字	12	未使用	
14			保険者負担額	数字	12	未使用	
15		決定	件数	数字	6	未使用	
16			単位数	数字	12	未使用	
17			保険者負担額	数字	12	未使用	
18		調整	件数	数字	6	未使用	
19			単位数	数字	13	未使用	
20			保険者負担額	数字	13	未使用	

S 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。

なお、Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

レコード構成図

介護給付費再審査決定通知書情報



3 インタフェース規定

本節では 国保連合会と保険者、都道府県、居宅サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護保険施設とのインタフェースの一般的な規定について述べる。

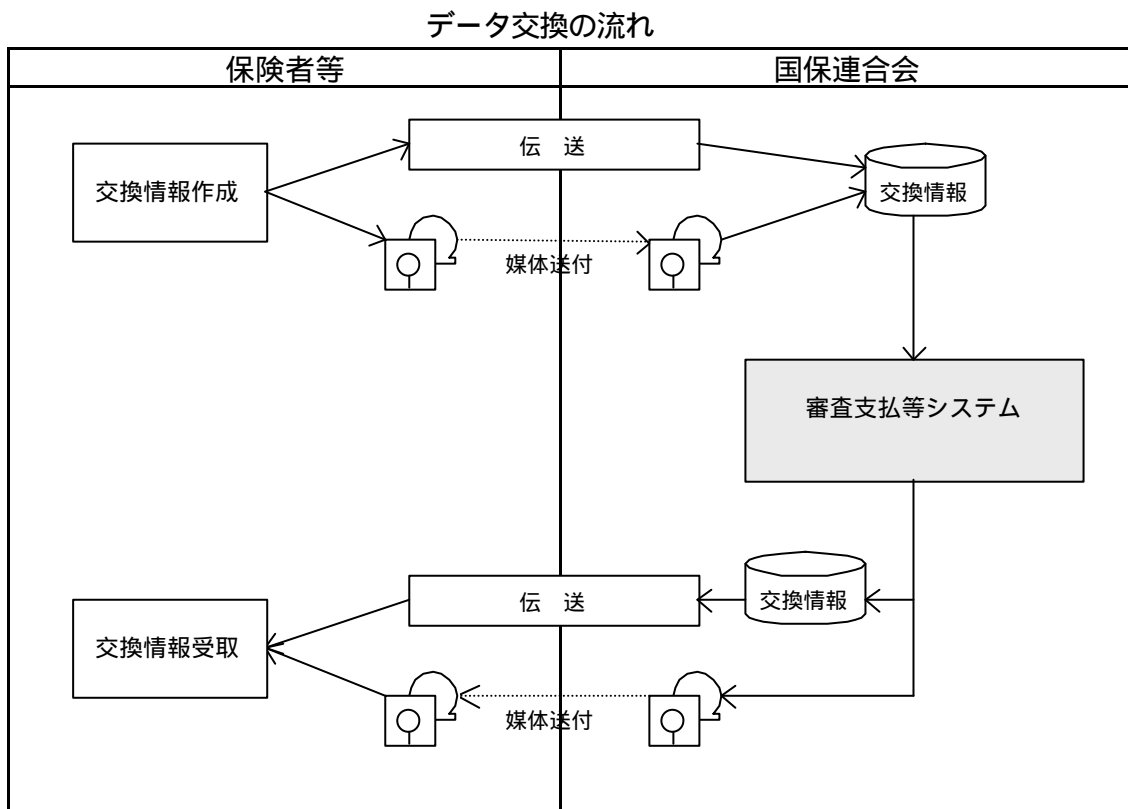
3.1 インタフェース方式概要

3.1.1 概要

保険者、都道府県、居宅サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護保険施設（以降、保険者等と呼ぶ）が作成した交換情報は、伝送または磁気媒体を介して国保連合会に送付される。国保連合会では、受領した交換情報を審査支払等システム内に読み込み、各業務処理を実行する。

また、審査支払等システムが作成した交換情報は、伝送または磁気媒体を介して各保険者等に送付される。

(1) データ交換の流れ



(2) 受付方法

国保連合会での交換情報（磁気媒体）の受付は次の方法にて行われる。

交換情報の受理

保険者等より提出される交換情報を格納した磁気媒体及び「送付票」を受理する。

送付票と媒体の確認

「送付票」に記載された媒体数と受理した磁気媒体の数を確認する。

送付票への受付印の押印

「送付票」の受付印欄に受付印を押印する。

交換情報のフォーマット変換
審査支払等システムにより交換情報のフォーマット変換を行う。
媒体エラーまたはフォーマットエラーの場合、保険者等へ交換情報の再作成依頼を行う。

(3) 送付方法

国保連合会での交換情報（磁気媒体）の送付は次の方法にて行われる。

送付票出力

「送付票」を出力する。

帳票枚数確認

「送付票」に記載された各種帳票の総枚数と送付する帳票の総枚数を確認する。

磁気媒体数確認

「送付票」に記載された磁気媒体の総数と送付する磁気媒体の総数を確認する。

発送

各種帳票及び磁気媒体を保険者等別に仕訳し、各々「送付票」に記載された帳票・磁気媒体の数と送付する帳票・磁気媒体の数を確認、決済を受け、各保険者等へ送付する。

(4) エラー処理

保険者等から国保連合会へのデータ交換において、交換情報にエラーが検出される場合として、次のようなものが考えられる。

・媒体エラー

磁気媒体そのものの不良により、交換情報の読みとりに失敗した場合。

・データフォーマットエラー

ファイルフォーマット、レコードフォーマットの不具合により、交換情報のフォーマット変換時にエラーが検出された場合。

・データ内容エラー

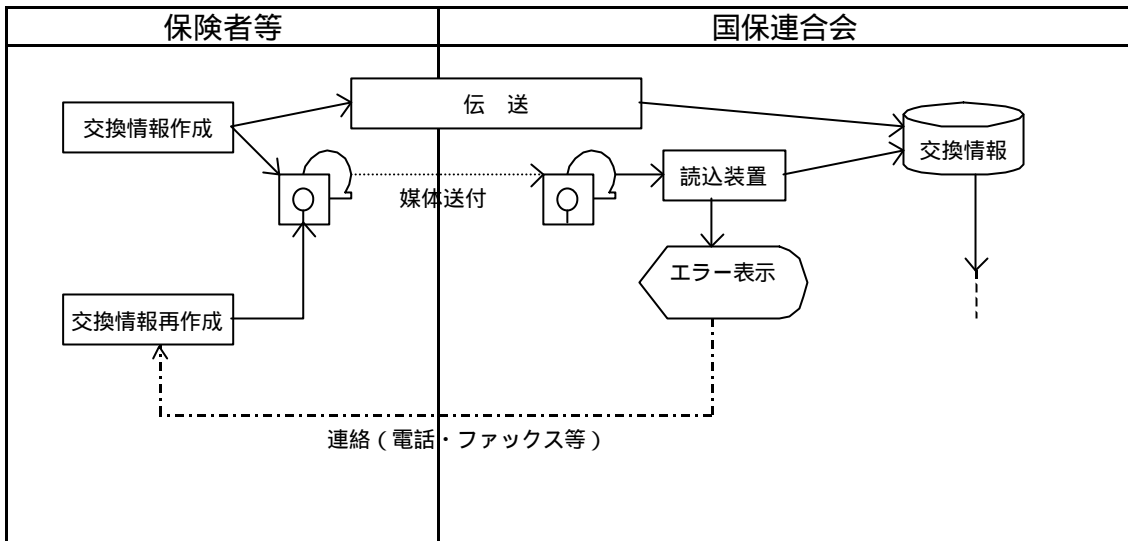
データ内容の不具合により、交換情報のフォーマット変換終了後、業務処理内でエラーが検出された場合。

媒体エラー、データフォーマットエラー及びデータ内容エラーが検出された場合、次のような流れに従いこれを処置する。

媒体エラー

媒体エラーによって磁気媒体の読みとりに失敗した場合は、電話・ファックス等によりその旨を送付元に連絡し、交換情報の再作成・再送付を依頼する。この際、必要に応じて送付媒体の返却を行う。

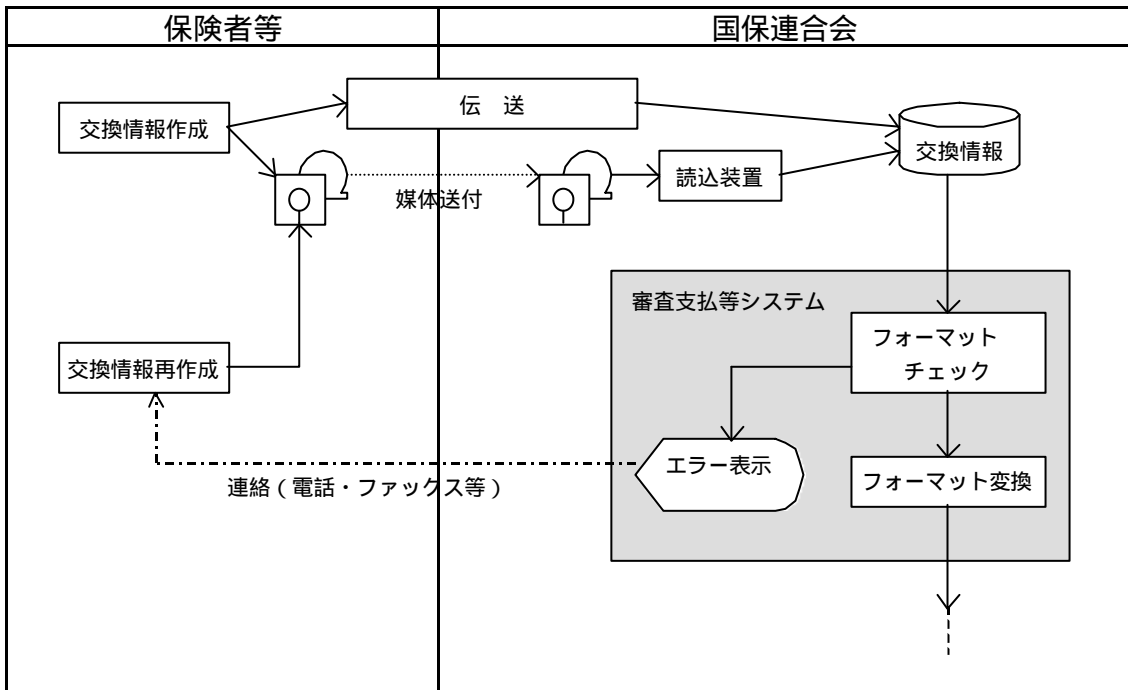
媒体エラー時の処理の流れ



データフォーマットエラー

データフォーマットチェックによりファイルフォーマット、レコードフォーマットのエラーが検出された場合は、電話・ファックス等によりその旨を送付元に連絡し、交換情報の再作成・再送付を依頼する。この際、必要に応じて送付媒体の返却を行う。

データフォーマットエラー時の処理の流れ



データ内容エラー

データ内容の不具合によるエラーが検出された場合は、各業務の要件に従い主に次のような流れで処置を実行する

- ・審査支払業務

業務の流れの中で、返戻処理として処置を行う場合と、修正画面によるデータ修正を行う場合とがある。

- ・給付系保険者事務共同処理業務

業務の要件により、交換情報のエラーとして、保険者等に問い合わせを行い、その回答を基に修正画面を使用してエラー修正を行う場合と、業務の流れの中で、返戻の処理として処置を行う場合とがある。

- ・資格系保険者事務共同処理業務

交換情報のエラーとして、その旨を保険者等に連絡し、エラーリストを返却して交換情報の再作成・再送付を依頼する。

- ・台帳管理業務

交換情報のエラーとして、保険者等に問い合わせを行い、その回答を基に各交換情報の修正画面を使用してエラー修正を行う。

- ・共通事項

交換情報が重複して読み込まれた場合は、各業務の流れの中でエラー処理を行い、後発のデータを無効データとして取り扱う。

3.1.2 データ交換の種類

保険者等と国保連合会との間で、交換情報の授受を実現するためのデータ交換方式は次の通りである。

- ・伝送によるデータ交換

- ・MT (磁気テープ) によるデータ交換

- ・MO (光磁気ディスク) 及びフロッピーディスクによるデータ交換

3.2 インタフェース仕様

3.2.1 交換情報の仕様

(1) 媒体仕様

伝送

使用回線サービス	I SDN (デジタル回線)
通信プロトコル	TCP/IP
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ファイル名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列に拡張子として".CSV"を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

MT

媒体	MT
媒体フォーマット	JIS X6104 又は JIS X6105 に規定する情報記録方式
データ形式	順編成ファイル形式
レコード形式	固定長レコード形式
ボリューム、ファイル名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列 (ラベルとファイル構成は JIS X0601 に準拠)
文字コード	JISコード

MTのラベルについては「(5)MTラベル形式(P.97)」を参照のこと。

MO及びフロッピーディスク

・MO

媒体	230MB、640MB MO
媒体フォーマット	MS-DOSフォーマット
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ボリューム名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列
ファイル名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列に拡張子として".CSV"を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

・フロッピーディスク

媒体	3.5インチFD(1.44MB)
媒体フォーマット	MS-DOSフォーマット
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ボリューム名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列
ファイル名	英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列に拡張子として".CSV"を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

JISコード、シフトJISコードについては「(6)文字コード(P.101)」を参照のこと。

交換情報のファイル名については、以下の形式とする。

1 MTのファイル名(ファイル識別名)

- ・保険者/事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合

JIS X0601 に準拠するファイル名の内、英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列とする。

例: J5310004

DATA01

- ・国保連合会から保険者/事業所等へ受け渡す交換情報の場合

コントロールレコード上のデータ種別(3桁)と、"00000"から始まる数字5桁の通番(注1)から

なる 8 桁の文字列とする。

- 例： 53300000 （受給者情報更新結果情報の場合）
- 75100000 （介護給付費支払決定額通知書情報の場合）

2 MO及びフロッピーディスクのファイル名

- ・保険者 / 事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合

MS-DOS フォーマットとして許容されるファイル名の内、英字で始まる半角英数字 8 桁以内の任意の文字列に、拡張子として ".CSV" を付加したものとする。

複数のファイルを 1 媒体に格納する場合は、各々のファイル名が一意となるように設定する。

- 例： J5310004.CSV
- DATA01.CSV

- ・国保連合会から保険者 / 事業所等へ受け渡す交換情報の場合

コントロールレコード上のデータ種別（3 桁）と、"00000" から始まる数字 5 桁の通番（注 1）からなる 8 桁の文字列に、拡張子として ".CSV" を付加したものとする。

- 例： 53300000.CSV （受給者情報更新結果情報の場合）
- 75100000.CSV （介護給付費支払決定額通知書情報の場合）

注 1：一回の操作にて複数データを出力する場合、"00000" ~ "99999" の連番が自動的に採番される。

(2) ファイルフォーマット

保険者等との交換情報のファイルは、以下の 3 種類のレコードから構成される。

- ・コントロールレコード

ファイルの先頭（第一レコード）に作成し、交換情報の識別、レコード件数、送付元等の制御情報を設定する。

- ・データレコード

ファイルの第二レコード以降に作成し、交換情報のデータを設定する。

- ・エンドレコード

ファイルの最終レコードとして作成し、交換情報の終端を表す。

コントロールレコード	}	ファイルの第一レコード
データレコード		
.....	}	ファイルの第二レコード以降のレコード
データレコード		
エンドレコード	}	ファイルの最終レコード

交換情報のファイルは、原則として1つのボリューム（媒体）に閉じて、シングルファイルボリュームまたはマルチファイルボリュームとして作成する。

ただし、交換情報の大きさとボリュームの容量との関係から1つのファイルが1ボリュームに格納しきれない場合には、例外的にマルチボリュームファイルとして作成することができる。

シングルファイルボリューム、マルチファイルボリューム及びマルチボリュームファイルについては「(4)磁気媒体のファイル構造(P.93-1)」を参照のこと。

(3) レコードフォーマット

伝送

各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ボリューム通番	数字	3	ボリュームに対して付与する番号 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番(1から始まる通番)を設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する
5	データ種別	英数	3	「36 データ種別一覧」参照(P.114-1)
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は0を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は0を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0を設定する
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は0を設定
10	媒体区分	英数	1	1(伝送)を設定

1 1	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する（注1） （例）2000年4月の場合、200004を設定する
1 2	ファイル管理番号	数字	6	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ 作成するファイル単位に一意的な値を設定（分割された 複数のファイルは全て同じ管理番号となる）
1 3	ブランク	英数	2	改行（16進コード`...0x0D0A`）を設定

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる 通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム 全体での通番となる
3	データ			交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照
4	ブランク	英数	2	改行（16進コード`...0x0D0A`）を設定

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる 通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム 全体での通番となる
3	ブランク	英数	2	改行（16進コード`...0x0D0A`）を設定

（データ設定例）

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、データ種別=999、事業所番号
=1111111111、処理対象年月=2000年4月、ファイル管理番号=1の場合のデータ設
定例を示す。（事業所からの申請例であるため、都道府県番号は0になる）

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
設定値	1	,	1	,	0	,	1	2	3	,	9	9	9	,	0	,	0	,	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	,	0	,	4	,	2	0	0	0	0	4	,
位置	41	42	43																																						
設定値	1	改行	コード																																						

・データレコード（2レコード目）設定例

位置	1	2	3	4
設定値	2	,	2	,	...データを設定...																								改行
																													コード

・エンドレコード（125レコード目）設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7																																	
設定値	3	,	1	2	5	改行	コード																																	

MT

各レコードは、項目ごとに固定長で作成する。

また、各レコードは全て同一のレコード長（ファイル中最大のレコードフォーマットを格納できる以上の長さ）とする。（固定長レコード形式）

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる通番）を前ゼロ詰で設定
3	ボリューム通番	数字	3	媒体の通番を前ゼロ詰で設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を前ゼロ詰で設定（コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない）
5	データ種別	英数	3	「36 データ種別一覧」参照（P.114-1）
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12（法別番号）を設定、福祉事務所以外の場合は00を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者（福祉事務所）以外の場合は000000を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0000000000を設定
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は00を設定
10	媒体区分	英数	1	3（MT）を設定
11	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する（注1） （例）2000年4月の場合、200004を設定する
12	ファイル管理番号	数字	6	作成するファイル単位に一意な値を前ゼロ詰で設定

上記項目の合計長がファイルのレコード長より小さい場合、本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース（16進ド…0x20）を補う。

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる通番）を前ゼロ詰で設定
3	データ			交換情報ごとに、固定長でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照

上記項目の合計長がファイルのレコード長より小さい場合、本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース（16進ド…0x20）を補う。

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を前ゼロ詰で設定

本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース(16進コード...0x20)を補う。

(データ設定例)

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、交換情報識別番号=999、事業所番号=1111111111、処理対象年月=2000年4月、ファイル管理番号=1、レコード長=80バイトの場合のデータ設定例を示す。(事業所からの申請例であるため、都道府県番号は0となる)

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
設定値	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80		
設定値	1	1	1	0	0	3	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1																								

・データレコード(2レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40						
設定値	2	0	0	0	0	0	0	0	2																																			...	データを設定...	
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80						
設定値																																													...	データを設定...

・エンドレコード(125レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40								
設定値	3	0	0	0	0	0	0	1	2	5																																						
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80								
設定値																																																

MO及びフロッピーディスク
各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ボリューム通番	数字	3	ボリュームに対して付与する番号 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番(1から始まる通番)を設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する
5	データ種別	英数	3	「36 データ種別一覧」参照(P.114-1)
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は0を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は0を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0を設定
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は0を設定
10	媒体区分	英数	1	2(MO)または4(FD)を設定
11	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する(注1) (例)2000年4月の場合、200004を設定する
12	ファイル管理番号	数字	6	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ 作成するファイル単位に一意な値を設定(分割された複数のファイルは全て同じ管理番号となる)
13	ブランク	英数	2	改行(16進コード`...0x0D0A)を設定

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	データ			交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照
4	ブランク	英数	2	改行(16進コード`...0x0D0A)を設定

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す 3 を設定
2	レコード番号 (連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番 (1 から始まる通番) を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	blank	英数	2	改行 (16 進コード ...0x0D0A) を設定

(データ設定例)

フロッピーディスクのシングルファイルボリュームで、データレコード件数 = 1 2 3、交換情報識別番号 = 9 9 9、事業所番号 = 1 1 1 1 1 1 1 1 1、処理対象年月 = 2 0 0 0 年 4 月、ファイル管理番号 = 1 の場合のデータ設定例を示す。(事業所からの申請例であるため、都道府県番号は 0 になる)

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	1	,	1	,	0	,	1	2	3	,	9	9	9	,	0	,	0	,	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	,	0	,	4	,	2	0	0	0	0	4	,
位置	41	42	43																																					
設定値	1	改行	コード																																					

・データレコード (2レコード目) 設定例

位置	1	2	3	4
設定値	2	,	2	,	...データを設定...																								改行	コード

・エンドレコード (125レコード目) 設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7
設定値	3	,	1	2	5	改行	コード

注 1 : 処理対象年月について

以下にコントロールレコードの処理対象年月の設定内容について記載する。

保険者 / 事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合
国保連合会での電算処理を実行する年月を設定する。

(審査、過誤調整等については電算処理の実行開始を要望する年月を設定する。)

例: ・ 2 0 0 0 年 4 月サービス提供分について 5 月に審査を実行するための情報を国保連合会に提出する場合は、"200005" を設定する。

・ 2 0 0 0 年 5 月異動分の異動連絡票情報を 2 0 0 0 年 6 月に国保連合会に提出する場合は、"200006" を設定する。

国保連合会から保険者 / 事業所等へ受け渡す交換情報の場合
国保連合会で電算処理を実行した年月が設定される。

(審査、過誤調整等については請求・支払を確定した年月が設定される。)

- 例： ・ 2000年4月サービス提供分について5月に審査を実行した結果情報を保険者・事業所に提供する場合は、"200005"が設定される。
- ・ 2000年5月異動分の更新結果情報を保険者に提供する場合は、"200006"が設定される。

(4) 磁気媒体のファイル構造

交換情報を格納する磁気媒体は、次の何れかのファイル構造をもつ。

・シングルファイルボリューム

1ボリューム内に1つのファイルだけが格納されているものをいう。

・マルチファイルボリューム

1ボリューム内に複数のファイルが格納されているものをいう。

・マルチボリュームファイル

1つのファイルが複数のボリュームにまたがって格納されているものをいう。

ただし、フロッピーディスク及びMOの場合は、上記「(3)レコードフォーマット(P.88)」(コントロールレコード)に示す規定に従い、複数のシングルファイルボリュームを論理的に結び付けて構成する。

また、MTの場合は、先頭のボリュームにのみコントロールレコードを格納し、最終のボリュームにのみエンドレコードを格納する。

MTのファイル構造については「(5)MTラベル形式(P.97)」を参照のこと。

シングルファイルボリュームのファイル構造

コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1 ボリューム通番 : 0 レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 99
エンドレコード	レコード番号 : 100

ファイル

シングルファイルボリューム

マルチファイルボリュームのファイル構造

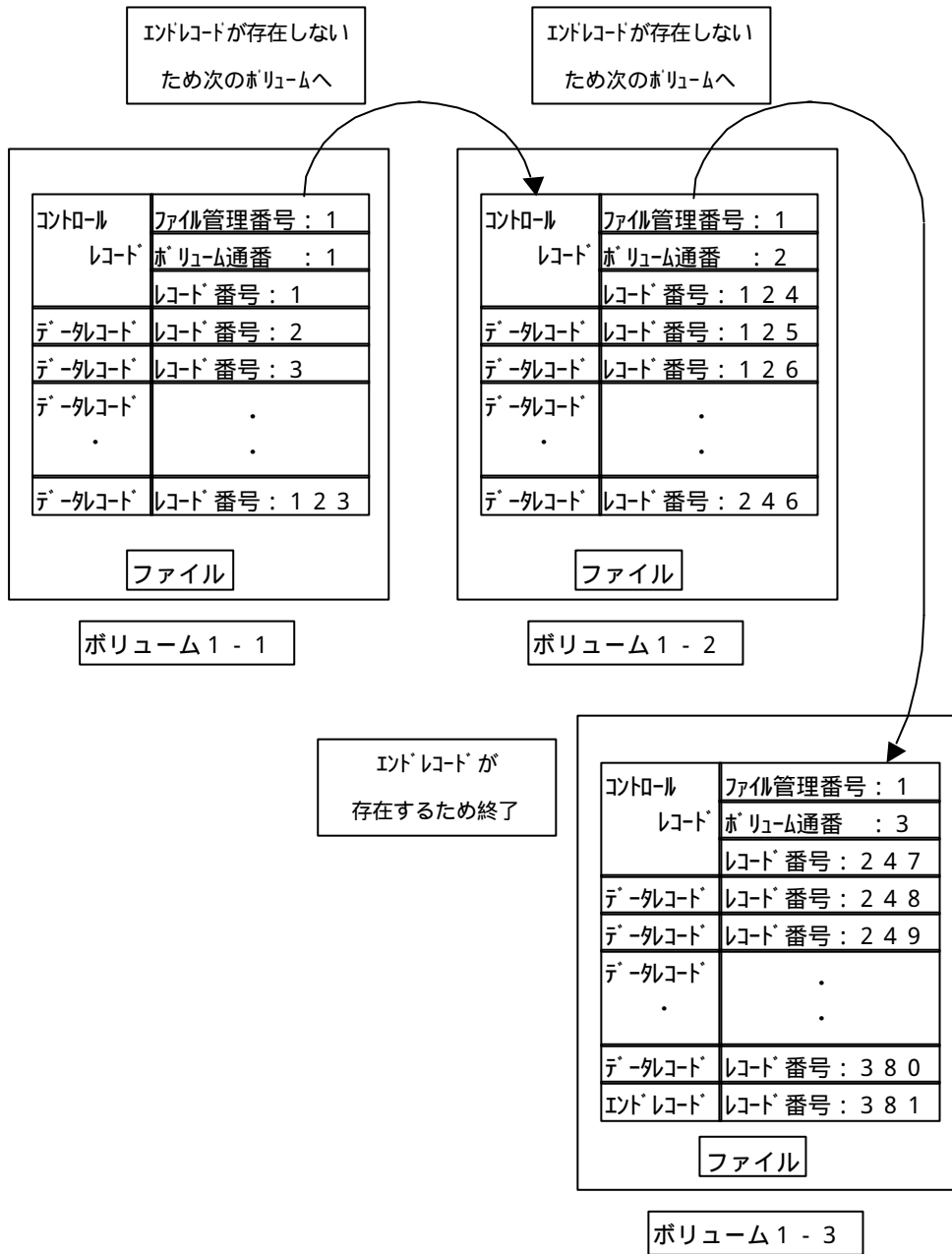
コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1 ボリューム通番 : 0 レコード番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1 ボリューム通番 : 0 レコード番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1 ボリューム通番 : 0 レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.	データレコード .	.	データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 38	データレコード	レコード番号 : 81	データレコード	レコード番号 : 73
エンドレコード	レコード番号 : 39	エンドレコード	レコード番号 : 82	エンドレコード	レコード番号 : 74

ファイル ファイル ファイル

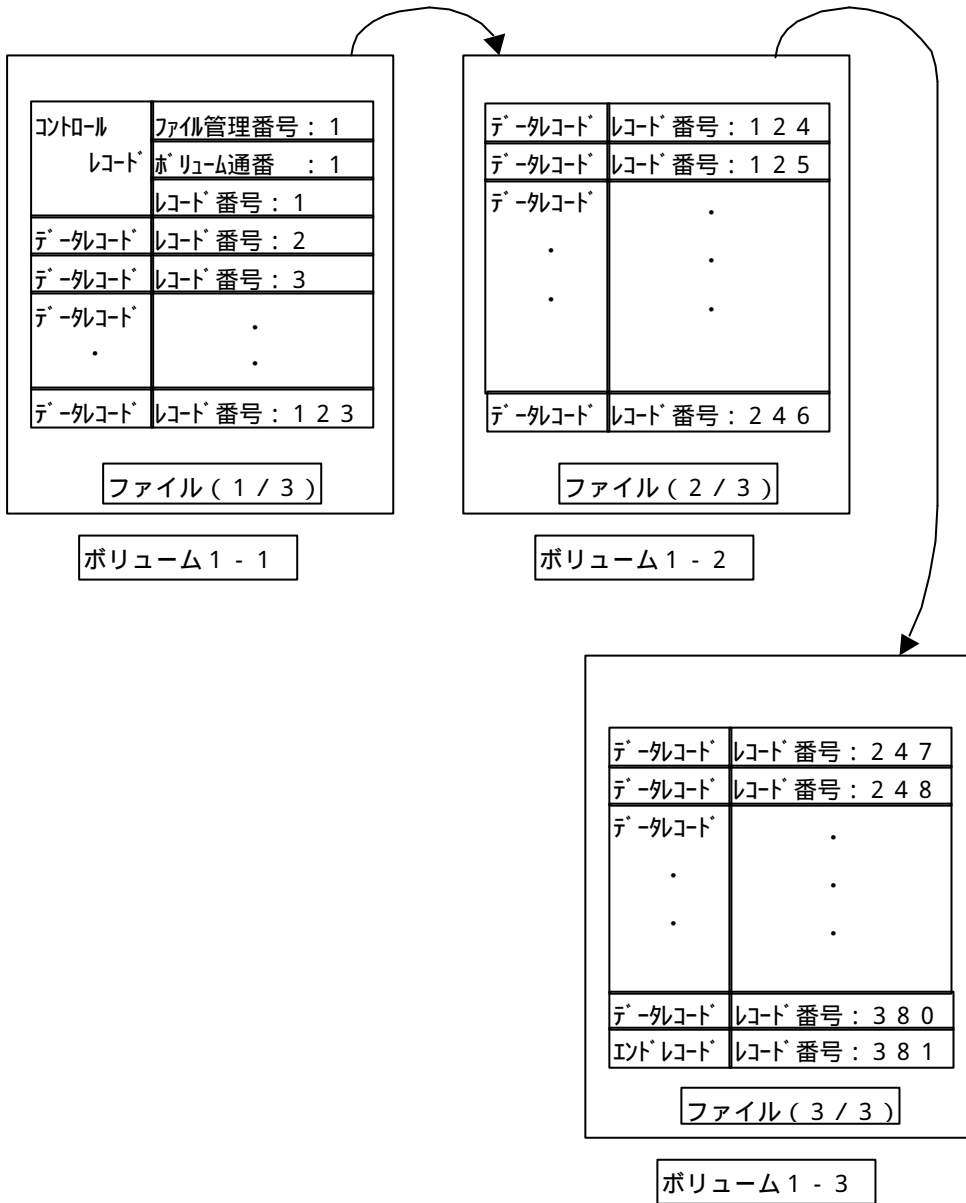
マルチファイルボリューム

マルチボリュームファイルのファイル構造

・フロッピーディスク及びMOの場合



・MTの場合



(5) MTラベル形式

交換情報を格納するMTは以下のラベル形式 (JIS X0601に準拠) をもつ。

シングルファイルボリュームのラベル形式

1つのファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

TM: テープマーク

マルチファイルボリュームのラベル形式

1つ目のファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----

----- (1つのボリューム内) -----

ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

最後のファイル

マルチボリュームファイルのラベル形式

1つのファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ボリューム 終わり ラベル1 (EOV 1)	ボリューム 終わり ラベル2 (EOV 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	---------------------------------	---------------------------------	----	----

・
・ (複数のボリューム)

1つのファイル (続き)

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

最後のボリュームのみラベル形式が異なる。

・ボリューム見出しラベル(VOL1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“VOL1”を設定
2	ボリューム識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
3	ボリュームアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
4	予備	英数	13	スペースを設定
5	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
6	所有者識別名	英数	14	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	予備	英数	28	スペースを設定
8	ラベル規格番号	英数	1	“3”を設定

・ファイル見出しラベル1(HDR1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	数字	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	数字	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代: “_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代: “0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	英数	6	000000を設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル見出しラベル2(HDR2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ファイル終わりラベル1 (EOF1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy : 西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd : 年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例) 2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル終わりラベル2 (EOF2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル1 (EOV1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy : 西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd : 年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例) 2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル2 (EOV2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	スペースを設定
12	予備	英数	41	スペースを設定

(6) 文字コード

JISコード

次の文字コード規格に準拠する。

JIS X0201

JIS X0202

JIS X0208-1997

JIS X0212-1990

ただし、本システムでは以下の範囲で使用することを原則とする。

このため、「補助漢字」等、対応していない文字を使用する場合には、別途変換等の処置が必要となる。

・文字コード範囲

項番	項目	内容	JIS規格
1	1バイト文字	1バイト文字はJIS8単位符号を使用し、使用可能文字は下表「JIS8単位符号」の通りである。なお、表中の空欄の箇所は使用不可とする。	JIS X0201-1997
2	2バイト文字	2バイト文字はJISコード(JIS第一水準、JIS第二水準)を使用し、使用可能文字は下表「JISコード使用可能文字」の通りである。	JIS X0208:1997

シフトJISコード

シフトJISコードは、日本工業規格(JIS X0208:1997 附属書1)で規定されているが、本システムではWindows標準で使用されているコード体系(JIS X0208の漢字文字集合を未使用領域にシフトさせたコード体系)で通常に使用できる文字を使用する。

ただし、本システムでは以下の文字を使用不可とする。

・使用不可能文字

項番	使用不可能文字	文字コード(16進表記)
1	'(シングルコーテーション)	27

外字

交換情報の被保険者等名及び住所の項目に外字が含まれる場合は、外字部分の文字コードをシフトJISの外字コードに変換して格納する。

ただし、審査支払等システムでは全ての外字を取り扱い対象外とするため、当該データが印

字対象となる場合はこれをスペースに置き換えて印字し、「外字空白印字リスト」によりこの処置を通知する。

したがって、審査支払等システムで外字を印字する場合は、保険者等と国保連合会との間で外字コードの取り扱いについての調整が必要となる。

外字コード

シフトJISコード上での外字コード領域は、16進コード...0xF040~0xF9FCの範囲で2バイト目が16進コード...0x40~0x7E及び0x80~0xFCの1880文字が割り当てられている。

(7) 特記事項

CSV形式ファイル

各レコードは可変長レコードとし、レコードの終わりには「改行コード(16進...0x0D0A)」を設定する。

各項目間には区切り(セパレータ)として「カンマ(16進コード...0x2C)」を設定する。

英数属性、数字属性および漢字属性の項目はデータの両側を「ダブルコーテーション(16進コード...0x22)」で囲む。ただし、各項目の内容に「カンマ」、「ダブルコーテーション」、「スペース(16進コード...0x20)」および漢字(2バイトコード)を含まない場合は、データの両側の「ダブルコーテーション」を省略することができる。

・英数属性の項目の内容に「ダブルコーテーション」を含む場合は、2つの「ダブルコーテーション」を連続して設定する。（1文字の「ダブルコーテーション」として扱われる。）

・数字属性の項目の内容がゼロの場合は、「ゼロ(16進H..0×30)」を設定する。

・各レコードには「改行コード」および漢字(2バイトコード)を除き、16進H..0×00~0×1Fの文字を使用しない。

・項目の入力を省略する場合は、データを省略して「カンマ」を連続させる。

・全ての桁に意味のある項目の場合は、内容に含まれるスペース、ゼロ等を省略しない。

固定長形式ファイル

・各レコードは固定長レコードとし、ファイル中最大のレコードフォーマットの長さに合わせてレコードの終わりにスペースを設定する。

・各項目間には区切り等をつけず、「バイト数」で示された固定長毎に項目値を設定する。

・数字属性の項目には符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式で項目値を設定する。

・漢字属性の項目には漢字シフトコードを付加しない。

・項目の入力を省略する場合は、英数属性の項目はスペース、数字属性の項目はゼロ、漢字属性の項目は漢字スペースをそれぞれ項目の長さに応じて設定する。

3.2.2 磁気媒体作成上の留意事項

(1) 全般

・磁気媒体上のファイル名については、審査支払等システムではチェックの対象外。ただし、原則として同一月の交換情報としては同一ファイル名は使用せず、送付元で識別できる名称とする。

・保険者と事業者、異なる保険者及び異なる事業所からの情報を1枚(1巻)の媒体に混在させてはならない。

(例) 保険者が居宅サービス事業所として請求明細等を提出する場合も別媒体にして提出する。

・事業所が他の事業所の媒体作成(送信)を代行する場合は、事業所毎に媒体を作成する。

・同一保険者または同一事業所から異なる様式の情報を同時期に提出する場合は、1枚(1巻)の磁気媒体に混在させることも可能とする。

(2) MT

・媒体の送付時は、送付票と併せて媒体内に格納されているファイルの一覧を添付する。

・オープンリールMT(JIS X6104、JIS X6105)は日本工業規格で幅12.7mm、9トラック仕様の標準テープを使用する。

・JIS X0601は日本工業規格で一般的に用いられている構成。

・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。

・EXCELファイル形式のデータ交換には使用できない。

(3) MO及びフロッピーディスク

・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。

3.2.3 伝送使用上の留意事項

(1) エラー時の対応

・伝送したファイルの読み込みエラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送信を行う。

(2) セキュリティ

・国保連合会と接続した機器及びLAN環境を同時に他のネットワークに接続しない。(ネットワーク同士の相互乗り入れを前提としたLAN間接続は行わない。)

・国保連合会との接続は、登録した電話番号から行い、各々のサービス事業所等に交付された事業所IDとパスワードによる認証を使用する。

・事業所IDは、請求及び受領に関する事業所届出時に請求方法が伝送の場合、国保連合会より払い出される。

・パスワードは、事業所IDの払い出し時に国保連合会側で設定されるが、最初の接続時にサービス事業所側の責任で任意な値に変更するものとする。パスワードの定期的変更はサービス事業所の責務とする。

・パスワードを忘失した場合は、迅速に国保連合会に届け出、再発行等の処置を受ける。

3.3 表記法

3.3.1 インタフェース一覧の表記について

(1) インタフェース一覧の内容

交換情報の一覧を表す。

項番

・業務毎の「項目説明」における各交換情報への対応を表す。

識別

・交換情報識別番号を表す。

情報名

・交換情報の情報名を表す。

内容

・交換情報の内容を表す。

ルート

・交換情報の送付元および送付先を表す。

周期

・情報交換の周期(月次、日次等の区別)または送付時期を表す。

媒体

・交換情報の送付媒体を表す。

出力形式

・国保連合会が送付する交換情報の出力形式を表す。

CSV : 伝送または磁気媒体にCSV形式(MTの場合は固定長形式)で出力可能な場合は“ ”で表す。

EXCEL : 伝送または磁気媒体にEXCELファイル(Excel97)形式で出力可能な場合は

“ ”で表す。

帳票形式：帳票（紙媒体）として出力可能な場合は“ ”で表し、出力される用紙の種別（汎用紙/専用紙）とサイズ等を付記する。

3.3.2 項目説明の表記について

(1) 項目説明の内容

交換情報のデータレコードに「データ」として設定する項目の内容を表す。

項番

・項目の連番。

C S V形式で交換情報を作成する場合は、この単位でデータの区切り（カンマ）を設定することを表す。

項目名

・項目名を表す。

属性

特に記載が無い限り、以下の形式でデータを設定することを表す。

英数： 半角の英字、数字、カナ文字1文字をそれぞれ1バイトで表す。半角の英小文字は使用できない。

固定長形式で設定する場合は、左詰で残りはスペースで埋める。

数字： 0, 1, 2, ~, 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。マイナスの数値の場合は左側に半角のマイナス（“-”）を付加する。

固定長形式で設定する場合は、符号付きアンパック（ゾーン）10進数形式とし、右詰で左側はゼロで埋める。

1 属性として数字となっているものは

0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。

2 マイナス数値については、C S V形式の場合は左側に半角の（“-”）を付加する。

ただし、この場合の“-”を含む設定値の桁数は、各交換情報の項目説明に示す項目長を超えてはならない。

例： マイナス10は「-10」で表現する。

3 プラス数値およびゼロ値については、C S V形式の場合は左側には何も付けない。

例： プラス10は「10」で表現する。

4 マイナス数値の固定長形式については、符号付きアンパック（ゾーン）10進数形式で表現する。

アンパック（ゾーン）10進数形式については、(3)を参照

5 プラス数値およびゼロ値の固定長形式については、C S V形式同様、符号なしの形式とするが、値が決定後に形式を確定することは困難であるため、マイナス値を取り得るものについては、符号付きアンパック

(ゾーン) 10進数形式とし、マイナス値を取り得ないものについては、符号なしアンパック(ゾーン) 10進数形式とする。

上記 2～ 5をまとめると下記の表になる。

数値の値	CSV形式	固定長形式	
マイナス	左側に半角(-)をつける	符号付きアンパック(ゾーン) 10進数形式	
プラス ゼロ	半角(-)はつけない	マイナス値を取り得る項目	符号付きアンパック(ゾーン) 10進数形式
		マイナス値を取り得ない項目	符号なしアンパック(ゾーン) 10進数形式

6 数字属性の項目にゼロが設定されているとき、特に断りがない場合は、マイナス値を取り得る項目については数値ゼロが入力されているものと見なし、マイナス値をとり得ない項目については値の入力が省略されているものと見なす。

例:

項目名	入力値
単位数(点数)	0(数値ゼロ)
日数	0(数値ゼロ)
金額	0(数値ゼロ)
年月日	省略
区分	省略
番号	省略

また、CSV形式の場合、設定値の全桁が"0"であるときは、その設定長に関わらず上記入力値の判定に従う。

例: 項目長 = 6バイトの「金額」項目については、以下の設定値は全て数値ゼロが設定されているものと見なす。

"0"、"000"、"000000"

項目長 = 6バイトの「年月」項目については、以下の設定値は全て入力が省略されているものと見なす。

"0"、"000"、"000000"

漢字 : 漢字1文字をそれぞれ2バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、漢字シフトコードを付加しない左詰とし、残りは漢字スペースで埋める。

- ・「英数」項目には漢字(2バイトコード)を混在させない。
- ・「漢字」項目には半角の英字、数字、カナ文字(1バイトコード)を混在させない。

バイト数

設定するデータの長さをバイト数で表す。

・CSV形式の場合は項目の最大長、固定長形式の場合は項目長（固定長）を表す。

内容

設定する項目の内容を表す。

必須入力

・入力が必要の項目を“ ”で表す。

特定の条件により入力が必要となる場合は、条件のマトリックスまたは注記として表末に記述する。

備考

設定するデータの形式、コード一覧の参照先等の特記事項を表す。

データレコードは、「項目説明」で表されるデータの先頭に「レコード種別」(= “ 2 ”)および「レコード番号(連番)」、データの最後に改行(CSV形式の場合)またはスペース(固定長形式の場合)を付加して作成する。(詳細は「3.2.1(3)レコードフォーマット(P.88)」参照)

(2) データ設定例

以下の交換情報のデータレコードにデータを設定する例を示す。

項番	項目名	属性	バイト数	必須入力	備考	設定値例
1	A(文字列)	英数	5			ABCD
2	B(数値)	数字	6			1542
3	C(漢字文字列)	漢字	8			介護
4	D(年月日)	数字	8			2000年4月1日
5	E(中間にスペースを含む文字列)	英数	4			XY Z
6	F(ゼロ)	数字	6			0
7	G(スペースのみ)	英数	6			
8	H(先頭にスペースを含む文字列)	英数	5			KLM
9	I(数値..金額等)	数字	6			987,654円

(レコード番号(連番) = 123とする。)

CSV形式の場合

以下のデータを設定する。(設定例1、設定例2の何れも同じ結果となる。)

・設定例1

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
設定値	2	,	1	2	3	,	A	B	C	D	,	1	5	4	2	,	"	介	護								"	,	2	0	0	0	0	4	0	1	,	"	X	Y	
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61																				
設定値	Z	"	,	0	,	,	"		K	L	M	"	,	9	8	7	6	5	4	改行コード																					

・設定例2

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	2	,	0	0	0	0	0	0	1	2	3	,	A	B	C	D	,	0	0	1	5	4	2	,	"	介	護					"	,	2	0	0	0			
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71									
設定値	0	4	0	1	,	"	X	Y		Z	"	,	0	,	,	"	K	L	M	"	,	9	8	7	6	5	4	改行コード												

固定長形式の場合

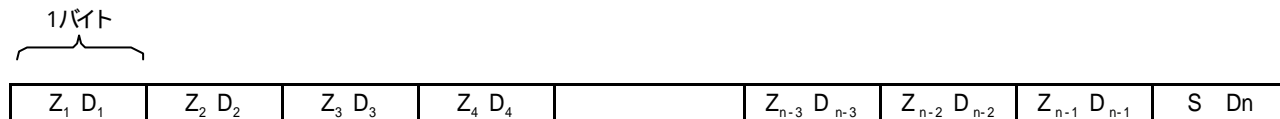
以下のデータを設定する。(レコード長=80バイトとする。)

・設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	A	B	C	D		0	0	1	5	4	2	介	護								2	0	0	0	0	4	0	1	X	Y
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
設定値	Z	0	0	0	0	0										K	L	M		9	8	7	6	5	4															

(3) アンパック(ゾーン)10進数形式について

アンパック(ゾーン)10進数形式は、符号を含む10進数の並びとして表現される。10進数1桁が1バイトで表される。個々のバイトは、最右端のバイトを除いて4ビットの数字部分と4ビットのゾーン部分とからなる。最右端のバイトは、数字と符号の重ね合わせが行われる。アンパック(ゾーン)10進数形式を下記に図示する。



Zはゾーンを示し、Dは数字を示し、Sは符号を示す。nは1からの連番である。

Z : Zの値は 3_{16} である。

D : $D_1 \sim D_{n-1}$ の値は $0_{16} \sim 9_{16}$ である。

D_n : 符号なし数字項目の場合は数字 $0_{16} \sim 9_{16}$ を表し、符号つき数字項目の場合は正負と最下位桁の値によって変化する。

S : Sの値は、符号なし数字項目の場合は数字 3_{16} であり、符号つき数字項目の場合は正負と最下位の桁の値によって変化する。符号つき数字項目の場合の符号の重ね合わせを次に示す。

最下位桁の値	符号					
	符号なし		正符号つき		負符号つき	
	S	D_n	S	D_n	S	D_n
0	3	0	7	B	7	D
1	3	1	4	1	4	A
2	3	2	4	2	4	B
3	3	3	4	3	4	C
4	3	4	4	4	4	D
5	3	5	4	5	4	E
6	3	6	4	6	4	F
7	3	7	4	7	5	0
8	3	8	4	8	5	1
9	3	9	4	9	5	2

上記の「正符号つき」および「負符号つき」を『符号つきアンパック(ゾーン)10進数形式』とする。

(例) 5桁の数字の場合

・符号なし: 12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	3	5	16進表記
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

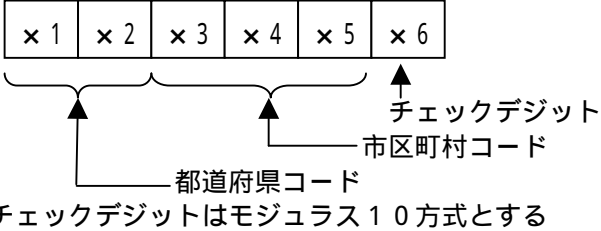
・符号つき(正): +12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	4	5	16進表記
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

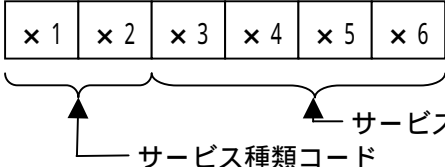
・符号つき(負): -12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	4	E	16進表記
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

3.4 コード一覧

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報を識別するための番号	
2	異動区分コード	数字	1	1:新規 2:変更 3:終了	
3	異動事由	受給者異動事由	数字	2	01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動（政令市における受給者の区間異動） 04:合併による新規 99:その他異動
		事業所異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		保険者異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		広域連合異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		市町村固有情報異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
	市町村特別給付異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）	
4	訂正区分コード	数字	1	1:（未使用） 2:修正 3:削除	
5	媒体区分コード	数字	1	1:伝送 2:MO 3:MT 4:FD （5:紙）	
6	保険者番号	数字	6	<p>介護保険の保険者番号</p>  <p>チェックデジットはモジュラス10方式とする</p>	
7	証記載保険者番号	数字	6	被保険者証記載の保険者番号 広域連合（政令市）の場合は市町村コード（行政区番号）	
8	市町村コード	数字	3	総務省にて定めるコード	
9	年号コード	数字	1	1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成	
10	保険者区分コード	数字	1	1:単独保険者 2:政令市 3:広域連合の保険者	
11	被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号 被保険者証記載の被保険者番号が10桁に満たない場合は右詰とし、左側を0で埋める 福祉事務所から提供される生活保護受給者については先頭の1桁を“H”とすること	
12	性別コード	数字	1	1:男 2:女	
13	みなし要介護区分コード	数字	1	1:通常の認定 2:みなし認定（旧措置入所者） 3:やむを得ない事由	
14	要介護状態区分コード	数字	2	01:非該当 11:要支援 21:要介護1 22:要介護2 23:要介護3 24:要介護4 25:要介護5	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
15	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅介護支援事業所作成又は自己作成の区分 1:居宅介護支援事業所作成 2:自己作成
16	減免申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み
17	申請種別コード	数字	1	1:新規申請 2:更新申請 3:変更申請 4:職権
18	変更申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み
19	標準負担区分コード	数字	1	1:標準負担 2:特定標準負担
20	利用者負担区分コード	数字	1	1:利用者負担 2:旧措置入所者利用者負担
21	世帯所得区分コード	数字	1	世帯の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税世帯非課税者等 3:生活保護
22	所得区分コード	数字	1	個人の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税非課税者等 3:生活保護
23	老齢福祉年金受給の有無	数字	1	1:受給無し 2:受給有り
24	事業所番号	数字	10	介護居宅介護支援事業所、指定サービス事業所、基準該当サービス事業所の事業所番号
25	受領委任の有無	数字	1	1: 受領委任契約無し 2: 受領委任契約有り
26	指定 / 基準該当等事業所区分コード	数字	1	1:指定事業所 2:基準該当事業所 3:相当サービス事業所 4:その他
27	法人等種別コード	数字	2	01:社会福祉法人(社協以外) 02:社会福祉法人(社協) 03:医療法人 04:民法法人(社団・財団) 05:営利法人 06:非営利法人(NPO) 07:農協 08:生協 09:その他法人 10:地方公共団体(都道府県) 11:地方公共団体(市町村) 12:地方公共団体(広域連合・一部事務組合等) 13:非法人 99:その他
28	居宅サービス区分コード	数字	1	1:訪問通所 2:短期入所

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
29	サービス種類コード	数字	2	11:訪問介護 12:訪問入浴介護 13:訪問看護 14:訪問リハビリテーション 15:通所介護 16:通所リハビリテーション 17:福祉用具貸与 21:短期入所生活介護 22:短期入所療養介護(介護老人保健施設) 23:短期入所療養介護(介護療養型医療施設等) 31:居宅療養管理指導 32:痴呆対応型共同生活介護 33:特定施設入所者生活介護 41:特定福祉用具購入 42:住宅改修 43:居宅介護支援 51:介護老人福祉施設サービス 52:介護老人保健施設サービス 53:介護療養型医療施設サービス 81~:その他(市町村特別給付等)
30	サービスコード	数字	6	 <p>* サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す</p>
31	福祉用具貸与種目コード	数字	2	01:車いす 02:車いす付属品 03:特殊寝台 04:特殊寝台付属品 05:じょく瘡予防用具 06:体位変換器 07:手すり 08:スロープ 09:歩行器 10:歩行補助つえ 11:痴呆性老人徘徊感知機器 12:移動用リフト
32	公費負担者番号	数字	8	
33	公費受給者番号	数字	7	
34	老人保健市町村番号	数字	8	
35	老人保健受給者番号	数字	7	
36	金融機関コード	数字	4	全銀協が定めたコード体系
37	金融機関支店コード	数字	3	全銀協が定めたコード体系
38	口座種目	数字	1	1:普通預金 2:当座預金 3:別段 9:その他
39	口座番号	数字	7	全銀協が定めたコード体系

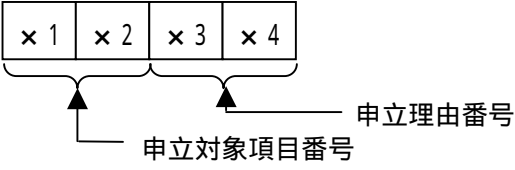
項番	コード名称	属性	バイト数	内容		
40	福祉用具購入費の種目コード	数字	2	01:腰掛便座 02:特殊尿器 03:入浴補助用具 04:簡易浴槽 05:移動用リフトのつり具の部分		
41	施設等の区分コード	数字	1	サービス種類	内容	
					平成15年3月以前	平成15年4月以降
				訪問介護1		1:身体介護 2:生活援助 3:通院等乗降介助
				訪問看護	1:訪問看護ステーション 2:病院または診療所	
				訪問リハビリテーション1		1:病院または診療所 2:介護老人保健施設
				通所介護	1:単独型 2:併設型	
				通所リハビリテーション	1:通常の医療機関 2:小規模診療所 3:介護老人保健施設	
				短期入所生活介護	1:単独型 2:併設型・空床型	1:単独型 2:併設型・空床型 3:単独型小規模生活単位型 1 4:併設型・空床型小規模生活単位型 1
				短期入所療養介護(老健)	1:介護老人保健施設	
				短期入所療養介護(診療所等)	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:痴呆疾患型 4:基準適合診療所型 5:介護力強化型 2	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:痴呆疾患型 4:基準適合診療所型
				特定施設入所者生活介護	1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム	
				介護老人福祉施設	1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設	1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設 3:小規模生活単位型介護福祉施設 1 4:小規模生活単位型小規模介護福祉施設 1
介護療養型医療施設	1:療養型 2:診療所型 3:痴呆疾患型 4:介護力強化型 2	1:療養型 2:診療所型 3:痴呆疾患型				

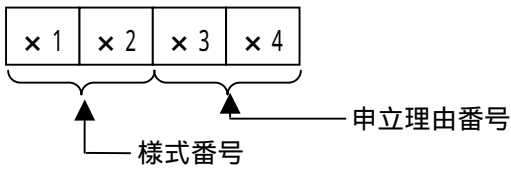
項番	コード名称	属性	バイト数	内容		
4 2	人員配置区分コード	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容	
					平成 15 年 3 月以前	平成 15 年 4 月以降
				通所介護 単独型 併設型	1: 痴呆型 2: 一般型	
				短期入所生活介護 単独型 併設型・空床型	1: 型 2: 型 3: 型	
				短期入所療養介護 介護老人保健施設	1: 型 2: 型	
				短期入所療養介護 病院療養型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型	2: 型 3: 型 4: 型
				診療所療養型 痴呆疾患型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型	1: 型 2: 型 3: 型
				介護力強化型 2	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型	
				介護老人福祉施設 介護福祉施設 小規模介護福祉 施設	1: 型 2: 型 3: 型	
				介護老人保健施設	1: 型 2: 型	
介護療養型医療施設 療養型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型	2: 型 3: 型 4: 型				
診療所型 痴呆型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型	1: 型 2: 型 3: 型				
介護力強化型 2	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型					
4 3	地域区分	数字	1	1:特別区 2:特甲地 3:甲地 4:乙地 5:その他		

項番	コード名称	属性	バリエーション数	内容	
44	特別地域加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
45	緊急時訪問看護加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
46	特別管理体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
47	機能訓練指導体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
48	食事提供体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
49	入浴介助体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
50	特別入浴介助体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
51	送迎体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
52	常勤専従医師配置の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
53	療養環境基準	数字	1	1:基準 2:減算型 3:減算型 4:減算型	
54	医師の配置基準	数字	1	1:基準 2:医療法施行規則第49条適用	
55	精神科医師定期的療養指導の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
56	夜間勤務条件基準	数字	1	平成15年3月以前	平成15年4月以降
				1:基準型 2:加算型 3:加算型 4:加算型 5:加算型 6:減算型	1:基準型 2:加算型 3:加算型 5:加算型 6:減算型
57	痴呆専門棟の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
58	食事提供の状況	数字	1	1:別表第二注1該当 2:別表第二注2イ該当 3:別表第二注2ロ該当	
59	審査方法区分コード	数字	1	1:審査依頼 2:審査済み	
60	生活保護法による指定の有無	数字	1	1:指定無し 2:指定有り	
61	リハビリテーション提供体制(総合リハビリテーション施設)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2	
62	リハビリテーション提供体制(理学療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2	
63	リハビリテーション提供体制(理学療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2	
64	リハビリテーション提供体制(作業療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2	
65	リハビリテーション提供体制(精神科作業療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
66	リハビリテーション提供体制(その他)の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
67	リハビリテーション加算状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2	
68	医師の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
69	看護職員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
70	理学療法士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
71	作業療法士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容											
72	介護職員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
73	介護支援専門員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
74	介護従業者の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
75	感染対策指導管理の有無	数字	1	1:無し 2:有り 2											
76	重症皮膚潰瘍指導管理の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
77	薬剤管理指導の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
78	障害者生活支援体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り											
79	保険・公費等区分コード	数字	1	1:保険請求 2:公費請求											
80	請求情報区分コード	数字	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保険・公費等区分コード</th> <th>法別番号</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険請求</td> <td>“0”固定</td> <td>01:居宅サービス・施設サービス 02:居宅介護支援</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">公費請求</td> <td>12:生活保護</td> <td>02:居宅介護支援</td> </tr> <tr> <td>12以外</td> <td>“0”固定</td> </tr> </tbody> </table>	保険・公費等区分コード	法別番号	内容	保険請求	“0”固定	01:居宅サービス・施設サービス 02:居宅介護支援	公費請求	12:生活保護	02:居宅介護支援	12以外	“0”固定
				保険・公費等区分コード	法別番号	内容									
				保険請求	“0”固定	01:居宅サービス・施設サービス 02:居宅介護支援									
公費請求	12:生活保護	02:居宅介護支援													
	12以外	“0”固定													
81	市町村特別給付用事業所番号	数字	10	<p>市町村特別給付を行う事業所の事業所番号</p> <table border="1"> <tr> <td>x1</td><td>x2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>x6</td><td>x7</td><td>x8</td><td>x9</td><td>x10</td> </tr> </table> <p> ↑ 都道府県コード ↑ ゼロ固定 ↑ 通番 ↑ チェックデジット 都道府県コードは事業所がサービスを行える都道府県とする チェックデジットはモジュラス10方式とする </p>	x1	x2	0	0	0	x6	x7	x8	x9	x10	
x1	x2	0	0	0	x6	x7	x8	x9	x10						
82	市町村特別給付用サービスコード	数字	6	<table border="1"> <tr> <td>8</td><td>1</td><td>x3</td><td>x4</td><td>x5</td><td>x6</td> </tr> </table> <p> ↑ 固定 ↑ サービス項目コード *サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す </p>	8	1	x3	x4	x5	x6					
8	1	x3	x4	x5	x6										
83	旧措置入所者特例のコード	数字	1	1:無し 2:有り											
84	中止理由コード	数字	1	1:非該当 2:介護施設 3:医療機関入院 4:死亡 5:その他											
85	退所(院)後の状態コード	数字	1	1:居宅 2:介護施設 3:医療機関入院 4:死亡 5:その他											
86	標準負担額減免の有無	数字	1	1.無し 2.有り											
87	申立者区分コード	英数	1	1:サービス事業所等申立 2:保険者申立 3:公費負担者申立											

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
88	給付管理票情報作成区分コード	数字	1	1:新規 2:修正 3:取消	
89	給付管理票種別区分コード	数字	1	1:訪問通所サービス給付管理票 2:短期入所サービス給付管理票 3:居宅サービス区分給付管理票	
90	款コード	数字	2	02:保険給付費	
91	項コード	数字	2	01:介護サービス等諸費 02:支援サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費	
92	目コード	数字	2	項コード	内容
				介護サービス等諸費	01:居宅介護サービス給付費 02:特例居宅介護サービス給付費 03:施設介護サービス給付費 04:特例施設介護サービス給付費 05:居宅介護福祉用具購入費 06:居宅介護住宅改修費 07:居宅介護サービス計画給付費 08:特例居宅介護サービス計画給付費
				支援サービス等諸費	01:居宅支援サービス給付費 02:特例居宅支援サービス給付費 03:居宅介護福祉用具購入費 04:居宅介護住宅改修費 05:居宅介護サービス計画給付費 06:特例居宅介護サービス計画給付費
				高額介護サービス等費	01:高額介護サービス費 02:高額居宅支援サービス費
				市町村特別給付費	01:市町村特別給付費
93	節コード	数字	2	01:負担金、補助及び交付金	
94	支給区分コード	数字	1	1:支給 2:不支給	
95	支払方法区分コード	数字	1	1:窓口払 2:口座払	
96	給付実績区分コード	数字	1	1:現物 2:償還	
97	給付実績情報作成区分コード	数字	1	1:新規 2:修正 3:取消	
98	公費負担上限額減額の有無	数字	1	1.無し 2.有り 生活保護受給者は2	
99	法別番号	数字	2	公費負担医療に係る法律を表した番号	
100	有料老人ホームの同意書の有無	数字	1	1:無し 2:有り	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容				
101	再審査申立事由コード	英数	4					
				申立対象項目番号 01：給付管理票修正（ 4 ） 10：サービス種類コードおよびサービス項目コードで示すサービス 11：緊急時施設療養費 緊急時療養管理 12：緊急時施設療養費 リハビリテーション 13：緊急時施設療養費 処置 14：緊急時施設療養費 手術 15：緊急時施設療養費 麻酔 16：緊急時施設療養費 放射線治療				
				<table border="1"> <tr> <td>平成 15 年 3 月以前</td> <td>平成 15 年 4 月以降</td> </tr> <tr> <td> 21：特定診療費 指導管理等 22：特定診療費 単純エックス線 23：特定診療費 リハビリテーション 24：特定診療費 精神科専門療法 </td> <td>20：特定診療費</td> </tr> </table>	平成 15 年 3 月以前	平成 15 年 4 月以降	21：特定診療費 指導管理等 22：特定診療費 単純エックス線 23：特定診療費 リハビリテーション 24：特定診療費 精神科専門療法	20：特定診療費
				平成 15 年 3 月以前	平成 15 年 4 月以降			
21：特定診療費 指導管理等 22：特定診療費 単純エックス線 23：特定診療費 リハビリテーション 24：特定診療費 精神科専門療法	20：特定診療費							
申立理由番号 01：固定単位数に誤りがある場合 02：計算に誤りがある場合 03：給付内容に疑義がある場合 04：審査内容に疑義がある場合 05：重複して請求されている場合 51：給付管理票の修正 99：その他の再審査請求								

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
102	過誤申立事由コード	英数	4		
				様式番号	10: 居宅サービス介護給付費明細書(訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与) 21: 居宅サービス介護給付費明細書(短期入所生活介護) 22: 居宅サービス介護給付費明細書(介護老人保健施設における短期入所療養介護) 23: 居宅サービス介護給付費明細書(病院又は診療所における短期入所療養介護) 30: 居宅サービス介護給付費明細書(痴呆対応型共同生活介護・特定施設入所者生活介護) 40: 居宅介護支援介護給付費明細書 50: 施設サービス等介護給付費明細書(介護老人福祉施設) 60: 施設サービス等介護給付費明細書(介護老人保健施設) 70: 施設サービス等介護給付費明細書(介護療養型医療施設)
				申立理由番号	01: 台帳誤り修正による保険者申立の過誤調整 02: 請求誤りによる実績取り下げ 09: 時効による保険者申立の取下げ 11: 台帳誤り修正による事業所申立の過誤調整 21: 台帳誤り修正による公費負担者申立の過誤調整 29: 時効による公費負担者申立の取下げ 32: 給付管理票取消による実績の取下げ(5) 90: その他の事由による台帳過誤 99: その他の事由による実績の取り下げ
103	時間延長サービス体制 1	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
104	個別リハビリテーション 提供体制 1	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
105	居住費対策 1	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
106	夜間ケアの有無 1	数字	1	1:無し 2:有り	
107	識別番号	数字	2	介護給付費等の記載要領で示される特定診療費の識別番号のうち、@を除く2桁の数字	
108	個別リハビリテーション提供体制 (総合リハビリテーション施設)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 3	
109	個別リハビリテーション提供体制 (理学療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 3	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
110	個別リハビリテーション提供体制(理学療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 3
111	個別リハビリテーション提供体制(作業療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り 3
112	個別リハビリ提供体制(言語聴覚療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り
113	個別リハビリ提供体制(言語聴覚療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り
114	リハビリテーション機能強化の有無	数字	1	1:無し 2:有り 3
115	言語聴覚士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り

- 1:平成15年3月以前の情報に設定されていた場合エラーとする。
- 2:平成15年4月以降の情報に設定されていた場合エラーとする。
- 3:平成15年3月以前の情報では設定不要とする。設定された場合、属性及び桁数等のシステムチェックは行わず、省略されたものとみなす。
- 4:再審査決定通知書にのみ表示(設定)される。
- 5:過誤決定通知書にのみ表示(設定)される。

3.5 留意事項

3.5.1 項目設定共通事項

(1) 「年月日」欄

・年月日を西暦年4桁、月2桁、日2桁の半角数字で表す。

・月、日が1桁の場合は、それぞれ直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 1日 の場合は、“20000401”を設定する。

(2) 「年月」欄

・年月を西暦年4桁、月2桁の半角数字で表す。

・月が1桁の場合は、直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 の場合は、“200004”を設定する。

(3) 「単位数単価」欄

・単位数の単価を整数部2桁、小数部2桁の半角数字で表す。

(例)

5.6円 の場合は、“0560”を設定する。

このページは空白です。